

第3次武豊町地域福祉計画策定に あたってのアンケート調査結果報告書

令和4年3月

武 豊 町

《 目 次 》

調査の概要

(1) 調査の目的	1
(2) 調査対象者・調査方法等	1
(3) 回収結果	1
(4) 図表の見方	1

第1章 一般調査（20歳以上）

1 基本属性	4
(1) 性別	4
(2) 年齢別	5
(3) 居住地区（小学校区）	6
(4) 居住地区（自治区）	7
(5) 自治区別回答者の属性	10
(6) 居住年数	11
(7) 家族構成	12
(8) 同居者（子どものいる世帯、高齢者・障がいのある人等のいる世帯）	13
(9) 幸福感	14
(10) 武豊町に暮らし続けたいか	17
2 地域意識について	19
(1) 近所付き合い	19
(2) 自治区の行事参加	21
(3) 自治区の行事に参加していない理由	23
(4) 自治区に期待する役割	27
(5) 困っている人への支援についての考え方	29
(6) 困っている人にできる支援	33
3 福祉サービスについて	35
(1) 相談相手	35
(2) 福祉サービスを利用するか	38
(3) 福祉サービスの利用に抵抗がある理由	40
4 ボランティア活動について	43
(1) 武豊町ボランティアセンターの認知度	43
(2) ボランティア活動への参加状況	45
(3) ボランティア活動への参加意向	47

(4) 参加したいボランティア活動	48
(5) ボランティア活動に参加しない理由	51
(6) ボランティア活動の参加条件	53
(7) 地域で安心して生活するために必要な支援	55
5 社会福祉協議会について	58
(1) 武豊町社会福祉協議会の認知度	58
(2) 武豊町社会福祉協議会の事業の認知度	60
(3) 武豊町社会福祉協議会に期待する事業	64
6 自由意見	67
(1) 地域活動	67
(2) 自治区・自治会	69
(3) 福祉全般	71
(4) 健康づくり・交流	72
(5) 高齢者支援	74
(6) 障がい者支援	76
(7) 子育て支援	77
(8) ボランティア	80
(9) 福祉教育	81
(10) 情報提供・相談	82
(11) まちづくり（歩道、公園等）	83
(12) 防災・防犯・交通安全	88
(13) 移動手段	89
(14) 町への要望	90
(15) 社会福祉協議会	91
(16) アンケート	91
(17) その他	92

第2章 中学生調査

1 基本属性	96
(1) 性別	96
(2) 居住区（小学校区別）	97
(3) 居住地区（自治区別）	98
(4) 同居者（子どものいる世帯、高齢者や要援護者のいる世帯）	99
(5) あいさつ	100

(6) 今後も武豊町に暮らし続けたいか	101
2 福祉教育について	102
(1) 福祉を学んだ経験	102
(2) 福祉意識の変化	103
(3) 意識を変えた体験	104
(4) 「福祉」のイメージ	106
3 ボランティア活動について	108
(1) ボランティア活動の参加状況	108
(2) ボランティア活動への参加意向	109
(3) 参加したいボランティア活動	110
(4) ボランティア活動に参加しない理由	112

資料（調査票）

◆一般調査（20歳以上）用	116
◆中学生調査用	124

調査の概要

(1) 調査の目的

この調査は、第3次武豊町地域福祉計画を策定するための基礎資料を得ることを目的として、町内にお住まいの20歳以上の人および町内の中学1年生を対象に実施しました。

20歳以上の人を対象とした一般調査では、近所付き合いや区の行事・活動への参加状況、ボランティア活動の参加状況、地域に必要な手助けやサービス、社会福祉協議会などについておたずねしました。

中学1年生を対象とした調査では、あいさつ、福祉教育、ボランティア活動などについておたずねしました。

(2) 調査対象者・調査方法等

区 分	一般調査	中学生調査
調 査 対 象 者	町内にお住まいの20歳以上の人	町内にお住まいの中学1年生
抽 出 方 法	無作為抽出	全 数
調査票の配布・回収	郵送配布・郵送回収	学校を通じて配布・回収
調 査 期 間	令和3年10月11日～令和3年10月29日	令和3年10月

(3) 回収結果

区 分	一般調査	中学生調査
配 布 数	2,000	410
回 収 数	958(47.9%)	391
有効回答数(率)	955(47.8%)	391(95.4%)

(注)回答が白紙または半分以下のものは無効とした

(4) 図表の見方

- ① 回答の比率は、その設問の回答数を基数(N)として算出しました。したがって、複数回答の設問については、すべての比率を合計すると100%を超えます。
- ② 回答率(%)は、小数点第2位以下を四捨五入しました。したがって、単数回答の場合であっても比率の合計が100%にならない場合があります。

-
- ③ 有効回答とした中には、性別、年齢、小学校区等の不詳があります。したがって、全体の回答数と属性別の回答数の合計が一致しない場合があります。
- ④ 選択肢が長いものについては、内容を損なわない範囲内で、要約して表記しているものがあります。
- ⑤ 平成28年度に実施した「第3次武豊町地域福祉計画策定にあたってのアンケート調査」のうち、同じ設問については、今回の調査と比較分析を行いました。この場合、「平成28年」とあるのは平成28年度に実施した調査をいい、「令和3年」とあるのは今回の調査をいいます。

第1章 一般調査（20歳以上）

1 基本属性

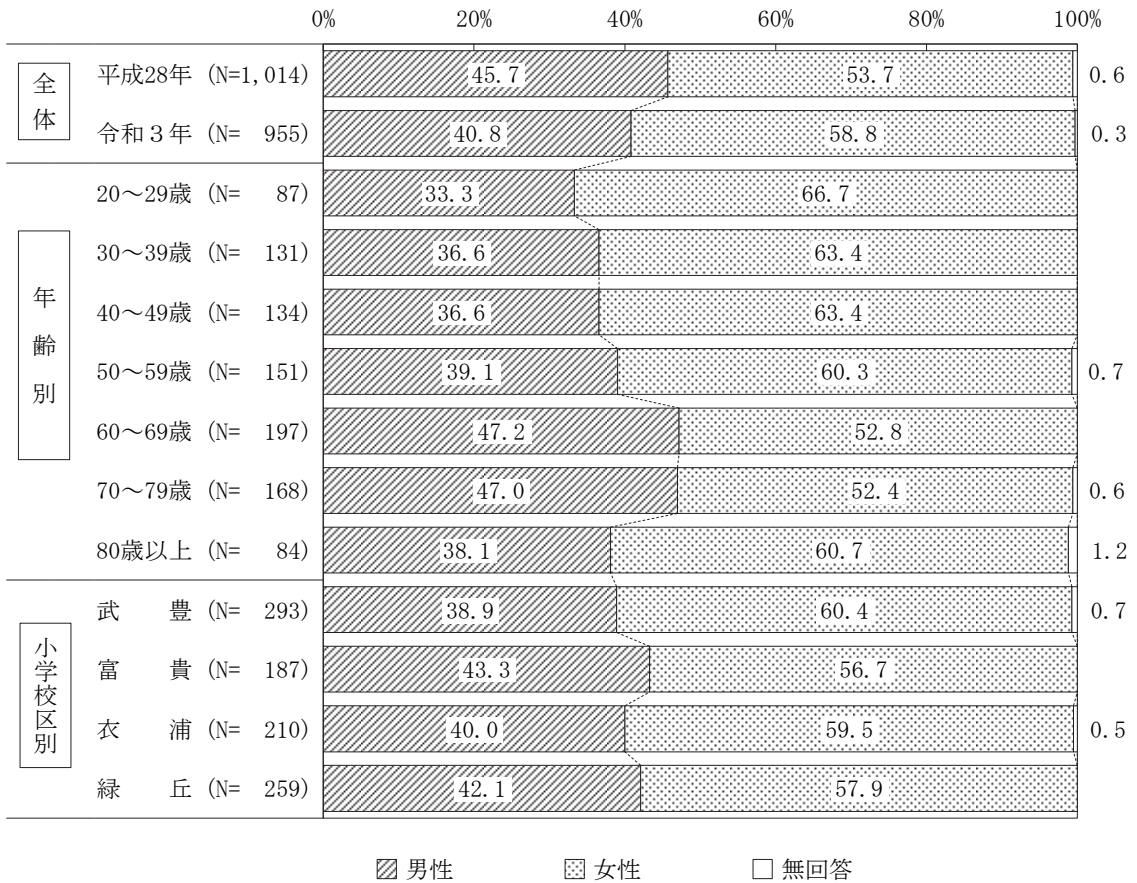
(1) 性別 [問1]

回答者の性別は、「女性」が58.8%を占め、「男性」を18.0ポイント上回っています。平成28年に比べると、女性の割合が高くなっています。

年齢別に見ると、いずれの年齢層においても「女性」の割合が高くなっています。特に、20～29歳、80歳以上では「女性」が60%以上を占めています。

小学校区別に見ると、いずれの小学校区も「女性」が「男性」を上回っており、武豊では「女性」が「男性」を21.5ポイント上回っています。

図表1-1 性別



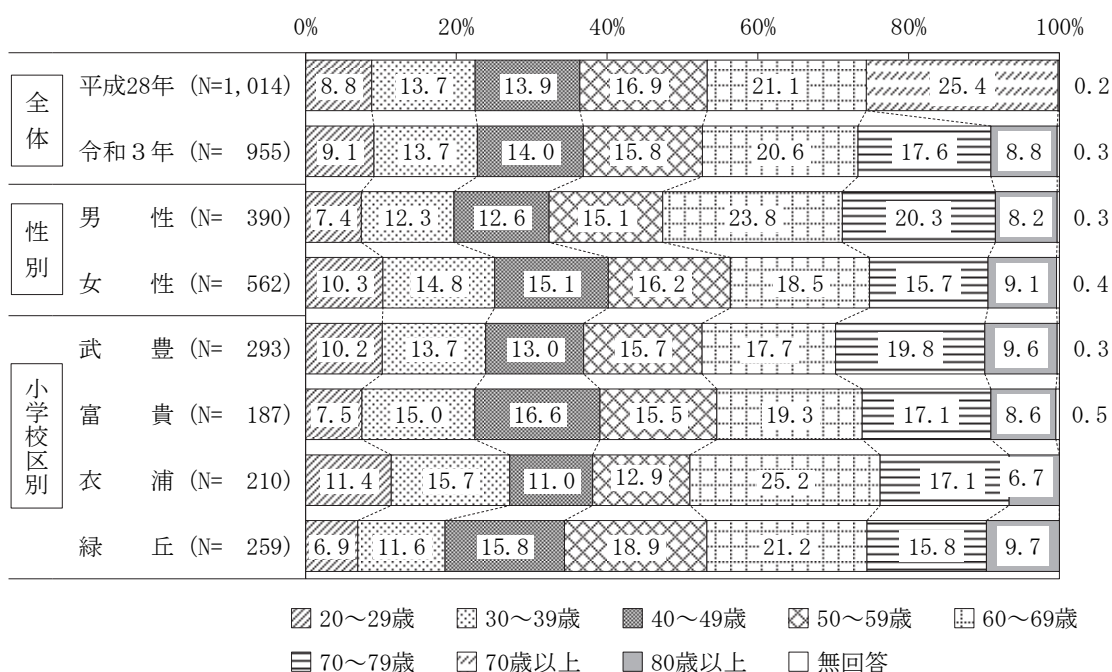
(2) 年齢別 [問2]

回答者の年齢は、「60～69歳」が20.6%と最も高く、これに「70～79歳」「80歳以上」を合わせた<60歳以上>が47.0%を占めています。平成28年と比べて大きな変化は見られません。

性別に見ると、男性は<60歳以上>が52.3%と過半数を占めています。女性は男性に比べて「20～29歳」「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」のいずれの年齢層も割合が高くなっています。

小学校区別に見ると、武豊は「70～79歳」が最も高く、そのほかの校区は「60～69歳」が最も高くなっています。「20～29歳」「30～39歳」の割合が最も高いのは衣浦です。

図表1-2 年齢別



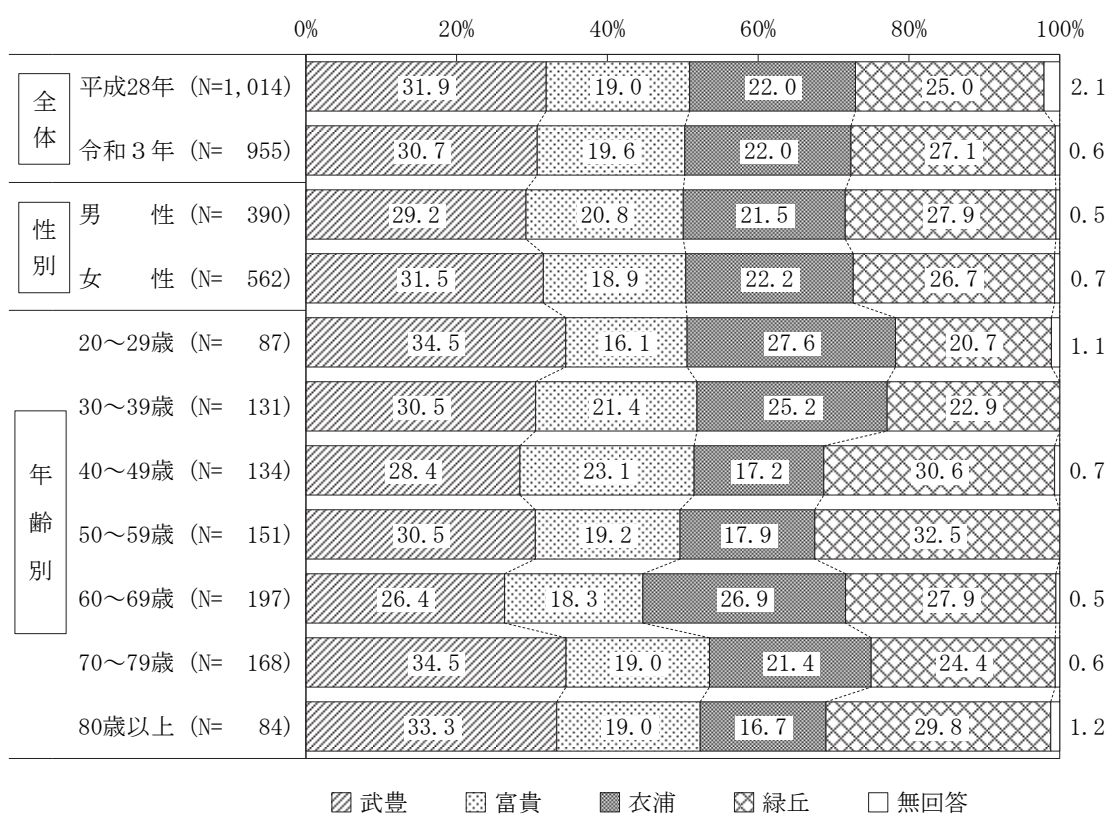
(3) 居住地区（小学校区）[問3]

回答者の居住地区を小学校区別に見ると、「武豊」が30.7%で最も高く、次いで「緑丘」（27.1%）、「衣浦」（22.0%）、「富貴」（19.6%）の順となっています。平成28年と比べると「緑区」が2.1ポイント高くなっています。

性別に見ると、男女ともに「武豊」が最も高く、「富貴」が最も低くなっています。特に女性の「富貴」は18.9%となっています。

年齢別に見ると、20～39歳、70歳以上は「武豊」が最も高く、40～59歳は「緑丘」が最も高くなっています。

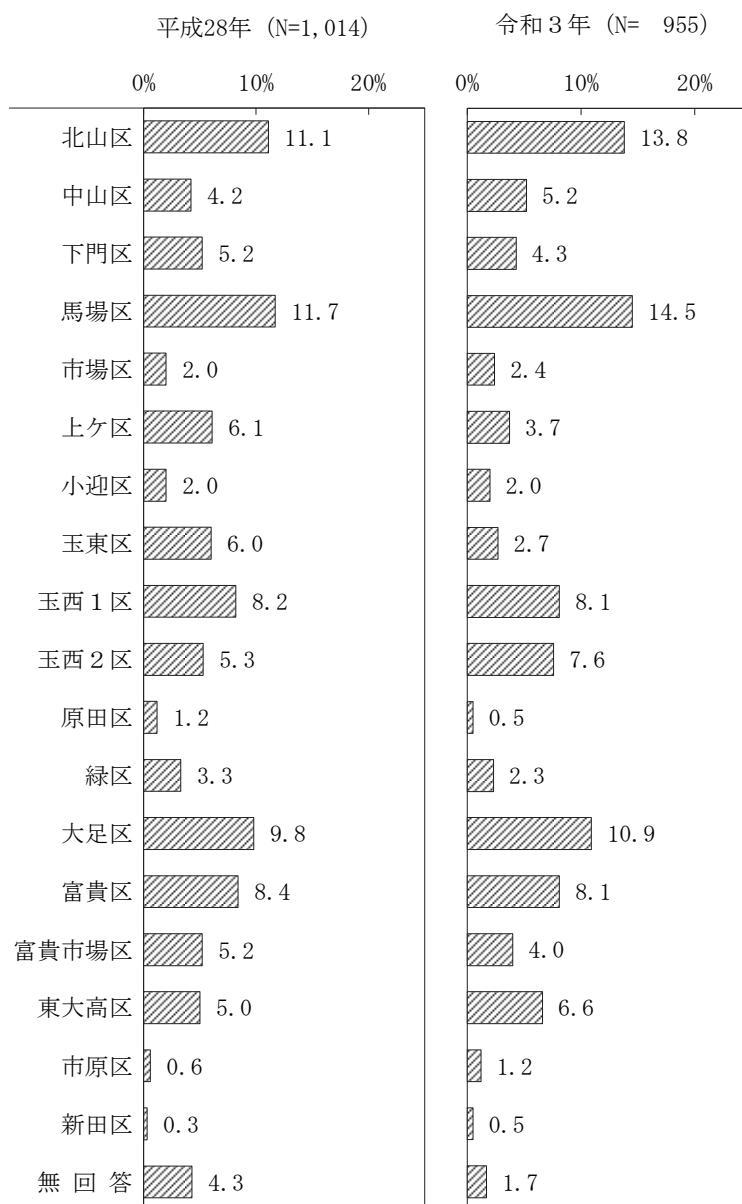
図表1-3 居住地区（小学校区別）



(4) 居住地区（自治区）〔問4〕

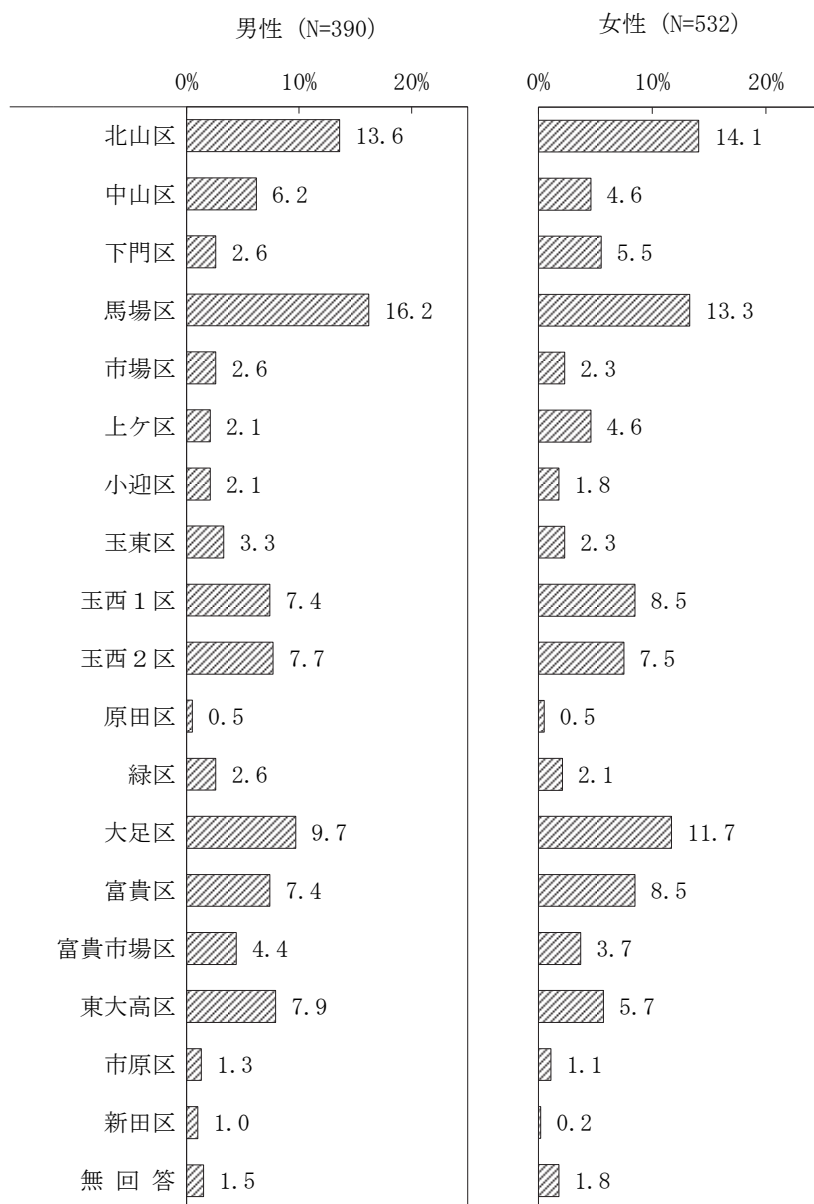
回答者の居住地区を自治区別に見ると、「馬場区」が14.5%で最も高く、次いで「北山区」が13.8%、「大足区」が10.9%の順となっており、最も低いのは「原田区」「新田区」の0.5%です。平成28年と比べると、2ポイント以上高いのは「北山区」「馬場区」「玉西2区」であり、2ポイント以上低いのは「上ヶ区」「玉東区」です。

図表1-4 居住地区（自治区別）



性別に見ると、男性は「馬場区」が16.2%で最も高く、女性は「北山区」が14.1%で最も高くなっています。

図表1-5 居住地区（自治区別）



年齢別に見ると、30～39歳、60～69歳、70～79歳は「馬場区」が最も高く、20～29歳、40～49歳、50～59歳、80歳以上は「北山区」が最も高くなっています。

家族構成別に見ると、一人暮らしは「大足区」が最も高く、夫婦のみ、二世帯世帯、三世帯世帯はいずれも「馬場区」が最も高くなっています。

図表1-6 自治区別（年齢別、家族構成別）

単位：Nは人、他は%

区 分	年 齢 別							家 族 構 成 別				
	20 ～ 29 歳	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 69 歳	70 ～ 79 歳	80 歳 以上	一 人 暮 ら し	夫 婦 の み	二 世 帯 世 帯	三 世 帯 世 帯	そ の 他
N	87	131	134	151	197	168	84	123	272	450	86	20
北山区	16.1	12.2	17.2	15.9	14.2	8.9	14.3	11.4	13.2	14.9	12.8	20.0
中山区	2.3	2.3	3.7	7.3	5.6	7.1	7.1	6.5	6.6	4.2	4.7	5.0
下門区	2.3	4.6	4.5	1.3	4.1	6.0	8.3	7.3	4.0	3.8	3.5	5.0
馬場区	10.3	17.6	15.7	13.2	16.2	16.1	6.0	10.6	14.0	15.1	19.8	10.0
市場区	4.6	3.1	1.5	2.6	2.5	1.2	2.4	1.6	3.3	2.4	1.2	-
上ヶ区	6.9	1.5	1.5	6.6	0.5	4.2	8.3	3.3	5.1	2.9	4.7	-
小迎区	-	3.1	2.2	3.3	0.5	1.2	4.8	2.4	1.5	2.2	-	10.0
玉東区	2.3	-	2.2	0.7	6.6	1.8	4.8	4.1	2.9	2.2	2.3	5.0
玉西1区	8.0	10.7	5.2	6.6	7.6	8.3	11.9	4.1	8.8	9.1	5.8	5.0
玉西2区	8.0	5.3	9.0	5.3	5.6	13.7	6.0	8.1	5.1	8.7	10.5	5.0
原田区	-	-	-	1.3	1.0	0.6	-	-	1.5	-	-	5.0
緑 区	2.3	4.6	5.2	2.0	1.5	0.6	-	2.4	0.4	3.6	1.2	5.0
大足区	14.9	11.5	8.2	11.3	13.7	8.9	7.1	14.6	13.2	9.6	5.8	10.0
富貴区	6.9	12.2	9.7	9.3	6.1	6.5	6.0	9.8	6.6	8.9	7.0	5.0
富貴市場区	4.6	1.5	6.0	5.3	4.6	3.0	2.4	2.4	3.7	4.2	7.0	-
東大高区	4.6	7.6	6.0	5.3	7.6	7.1	7.1	7.3	7.4	5.1	10.5	5.0
市原区	-	0.8	2.2	0.7	1.0	1.2	2.4	1.6	0.4	1.6	1.2	-
新田区	-	0.8	-	-	-	2.4	-	0.8	0.7	0.2	1.2	-
無回答	5.7	0.8	-	2.0	1.0	1.2	1.2	1.6	1.5	1.3	1.2	5.0

(5) 自治区別回答者の属性 [問4]

自治区別に見た回答者の属性を見ると、下門区、上ヶ区の男性の割合が女性に比べて非常に低いこと、下門区、玉東区の60歳以上の割合が高いことなどが特徴としてあげられます。

図表1-7 自治区別回答者の属性

単位：Nは人、他は%

区 分	N	性 別			年 齢 別							
		男 性	女 性	無 回 答	20 ～ 29 歳	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 69 歳	70 ～ 79 歳	80 歳 以上	無 回 答
全 体	955	40.8	58.8	0.3	9.1	13.7	14.0	15.8	20.6	17.6	8.8	0.3
北山区	132	40.2	59.8	-	10.6	12.1	17.4	18.2	21.2	11.4	9.1	-
中山区	50	48.0	52.0	-	4.0	6.0	10.0	22.0	22.0	24.0	12.0	-
下門区	41	24.4	75.6	-	4.9	14.6	14.6	4.9	19.5	24.4	17.1	-
馬場区	138	45.7	54.3	-	6.5	16.7	15.2	14.5	23.2	19.6	3.6	0.7
市場区	23	43.5	56.5	-	17.4	17.4	8.7	17.4	21.7	8.7	8.7	-
上ヶ区	35	22.9	74.3	2.9	17.1	5.7	5.7	28.6	2.9	20.0	20.0	-
小迎区	19	42.1	52.6	5.3	-	21.1	15.8	26.3	5.3	10.5	21.1	-
玉東区	26	50.0	50.0	-	7.7	-	11.5	3.8	50.0	11.5	15.4	-
玉西1区	77	37.7	62.3	-	9.1	18.2	9.1	13.0	19.5	18.2	13.0	-
玉西2区	73	41.1	57.5	1.4	9.6	9.6	16.4	11.0	15.1	31.5	6.8	-
原田区	5	40.0	60.0	-	-	-	-	40.0	40.0	20.0	-	-
緑 区	22	45.5	54.5	-	9.1	27.3	31.8	13.6	13.6	4.5	-	-
大足区	104	36.5	63.5	-	12.5	14.4	10.6	16.3	26.0	14.4	5.8	-
富貴区	77	37.7	62.3	-	7.8	20.8	16.9	18.2	15.6	14.3	6.5	-
富貴市場区	38	44.7	55.3	-	10.5	5.3	21.1	21.1	23.7	13.2	5.3	-
東大高区	63	49.2	50.8	-	6.3	15.9	12.7	12.7	23.8	19.0	9.5	-
市原区	11	45.5	54.5	-	-	9.1	27.3	9.1	18.2	18.2	18.2	-
新田区	5	80.0	20.0	-	-	20.0	-	-	-	80.0	-	-

(6) 居住年数 [問5]

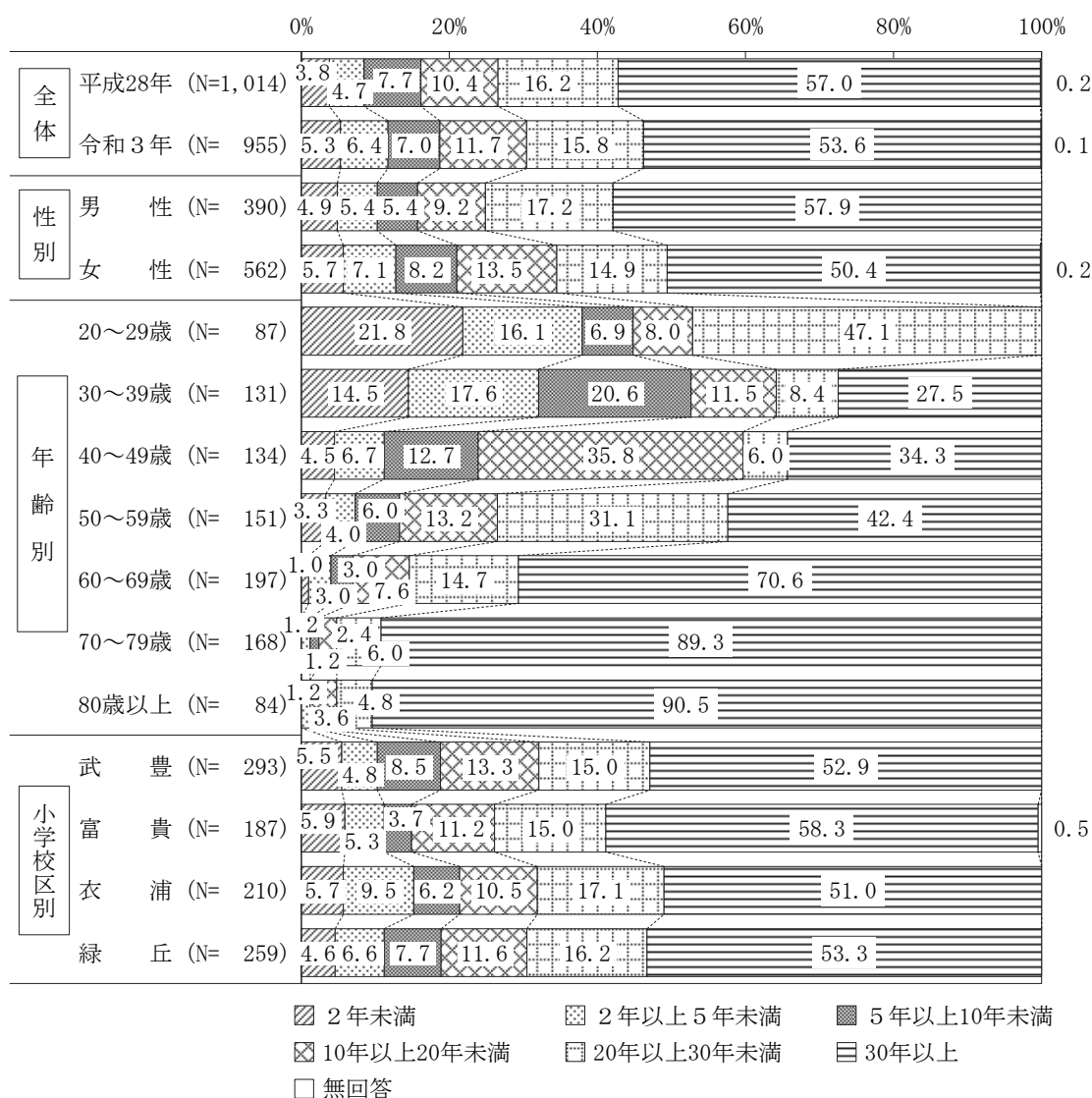
回答者の居住年数は、「30年以上」が53.6%を占めています。平成28年に比べると、「30年以上」が3.4ポイント低下し、「2年未満」「2年以上5年未満」「10年以上20年未満」がそれぞれ1ポイント以上高くなっています。

性別に見ると、男性は女性に比べて「20年以上30年未満」「30年以上」が高く、それ以外は女性が男性に比べて高くなっています。

年齢別に見ると、20～29歳では「20年以上30年未満」が最も高く、40～49歳は「10年以上20年未満」が最も高く、そのほかの年齢では「30年以上」が最も高くなっています。また「30年以上」は年齢が上がるにつれて高くなり、80歳以上では90%を上回っています。

小学校区別に見ると、いずれの校区も「30年以上」が50%以上を占めています。

図表1-8 居住年数



(7) 家族構成 [問6]

家族構成は、「二世代世帯」が47.1%と最も高く、次いで「夫婦のみ」(28.5%)、「一人暮らし」(12.9%)の順となっています。平成28年に比べると、「二世代世帯」が低下し、「夫婦のみ」「一人暮らし」が高くなっています。

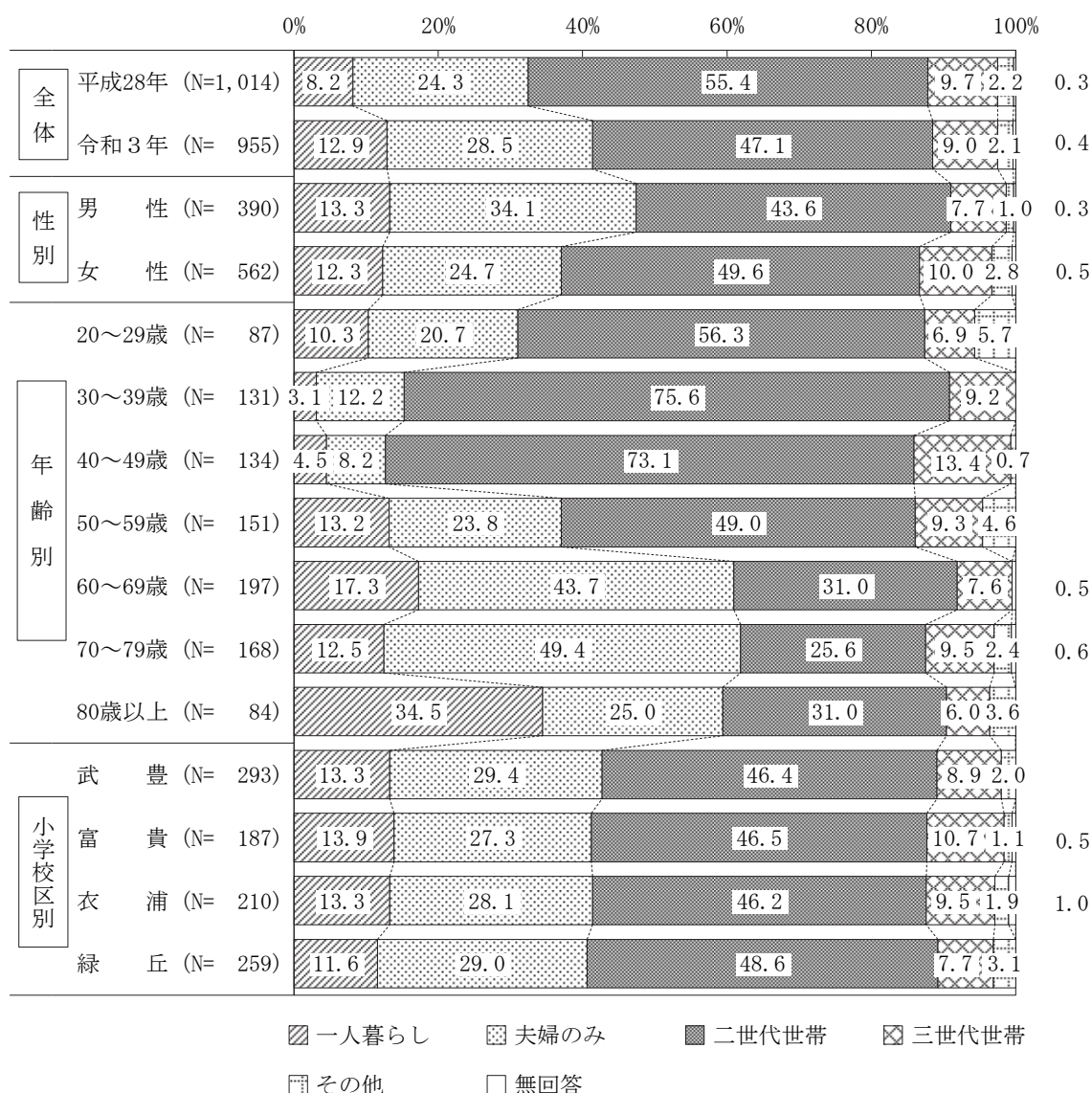
性別に見ると、男性は女性に比べて「夫婦のみ」が高く、女性は男性に比べて「二世代世帯」が高くなっています。

年齢別に見ると、20～59歳では「二世代世帯」が最も高く、60～69歳、70～79歳では「夫婦のみ」が最も高く、80歳以上では「一人暮らし」が最も高くなっています。

小学校区別に見ると、いずれの校区も「二世代世帯」が最も高くなっています。

「その他」として、「介護福祉施設(3件)」「きょうだい」「四世代世帯」「同棲」などが記載されていました。

図表1-9 家族構成



(8) 同居者（子どものいる世帯、高齢者・障がいのある人等のいる世帯）〔問7〕

「6歳未満の子（6歳未満）」のいる世帯は、年齢別では30～39歳が51.1%で最も高く、次いで20～29歳（21.8%）となっています。小学校区別では衣浦が14.8%で最も高くなっています。

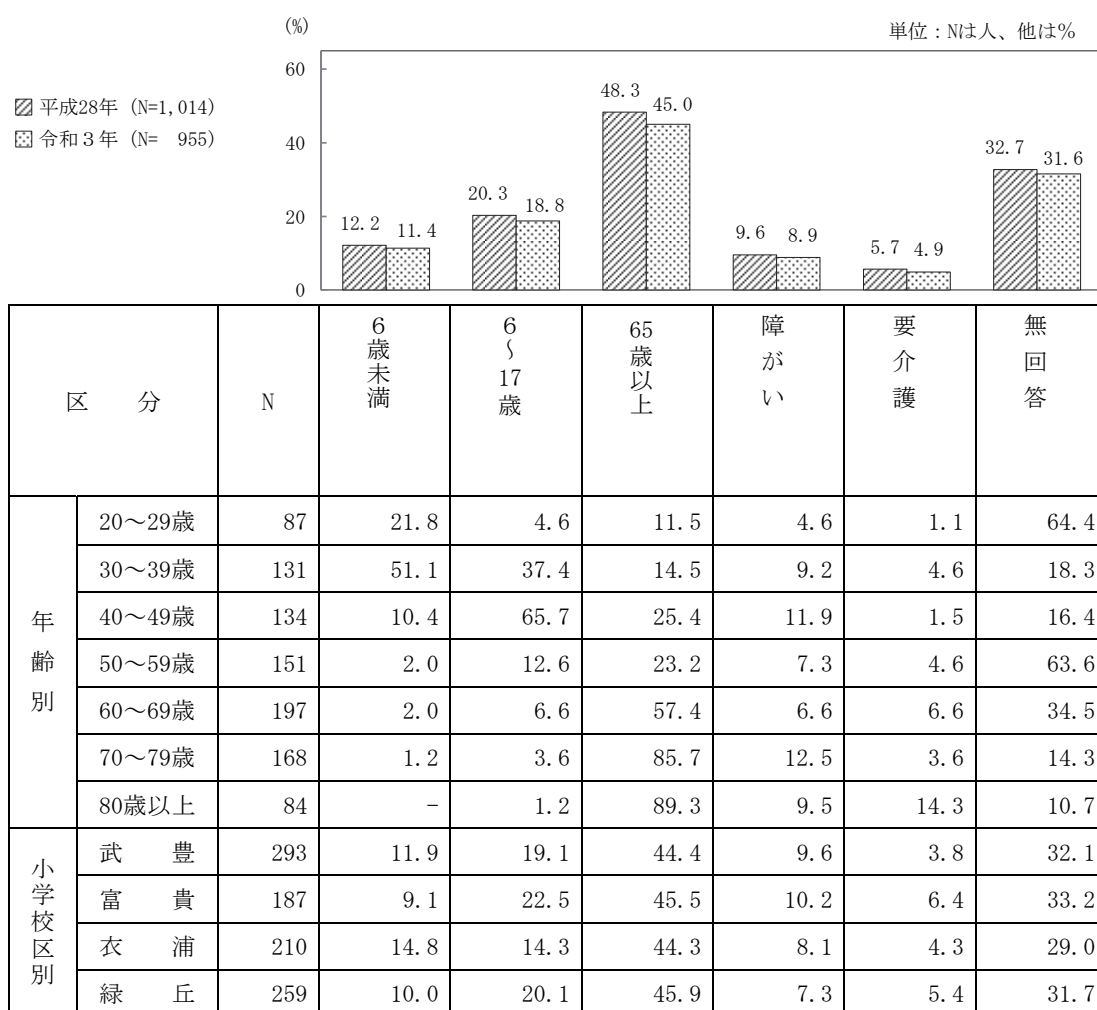
「6歳以上18歳未満の子（6～17歳）」のいる世帯は、40～49歳（65.7%）、富貴（22.5%）が最も高くなっています。

「65歳以上の方（65歳以上）」のいる世帯は、年齢別の20～29歳、30～39歳が10%台と低く、他の年齢では20%を超えています。小学校区別では、いずれも44～45%台と違いは見られません。

「障がいのある方（障がい）」のいる世帯は、年齢別の40～49歳、70～79歳、小学校区別の富貴で10%を超えています。

「介護が必要な方（要介護）」のいる世帯は、80歳以上で高くなっています。

図表1-10 同居者（子ども・高齢者・障がいのある人等のいる世帯、複数回答）



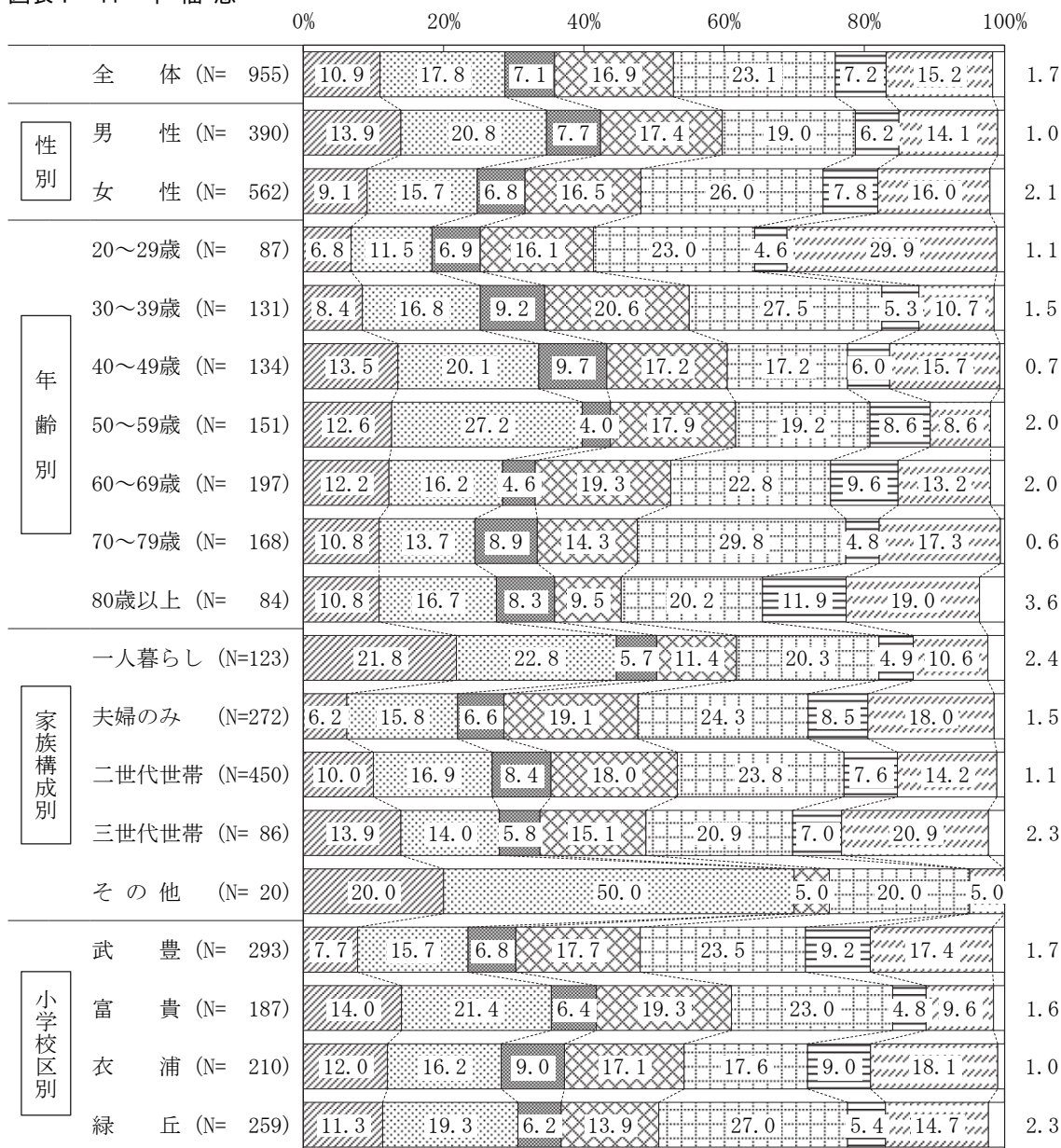
(9) 幸福 感 [問8]

図表1-11は、「あなたは現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点としてご記入ください）」という主観的な幸福感を問う設問に対する回答です。「8点」が23.1%と最も高くなっています。仮に6点以上を<幸せ>とすれば、<幸せ>は69.5%となります。

性別に見ると、男性は7点以下が女性より高く、女性は「8点」「9点」「10点（とても幸せ）」が男性より高くなっており、<幸せ>は女性が男性より高くなっています。

年齢別に見ると、「10点」は20～29歳が29.9%と他の年齢層に比べて高く、50～59歳が8.6%と低くなっています。

図表1-11 幸福 感



■ 0～4点 □ 5点 ■ 6点 ▨ 7点 ▩ 8点 ▪ 9点 ▫ 10点 □ 無回答

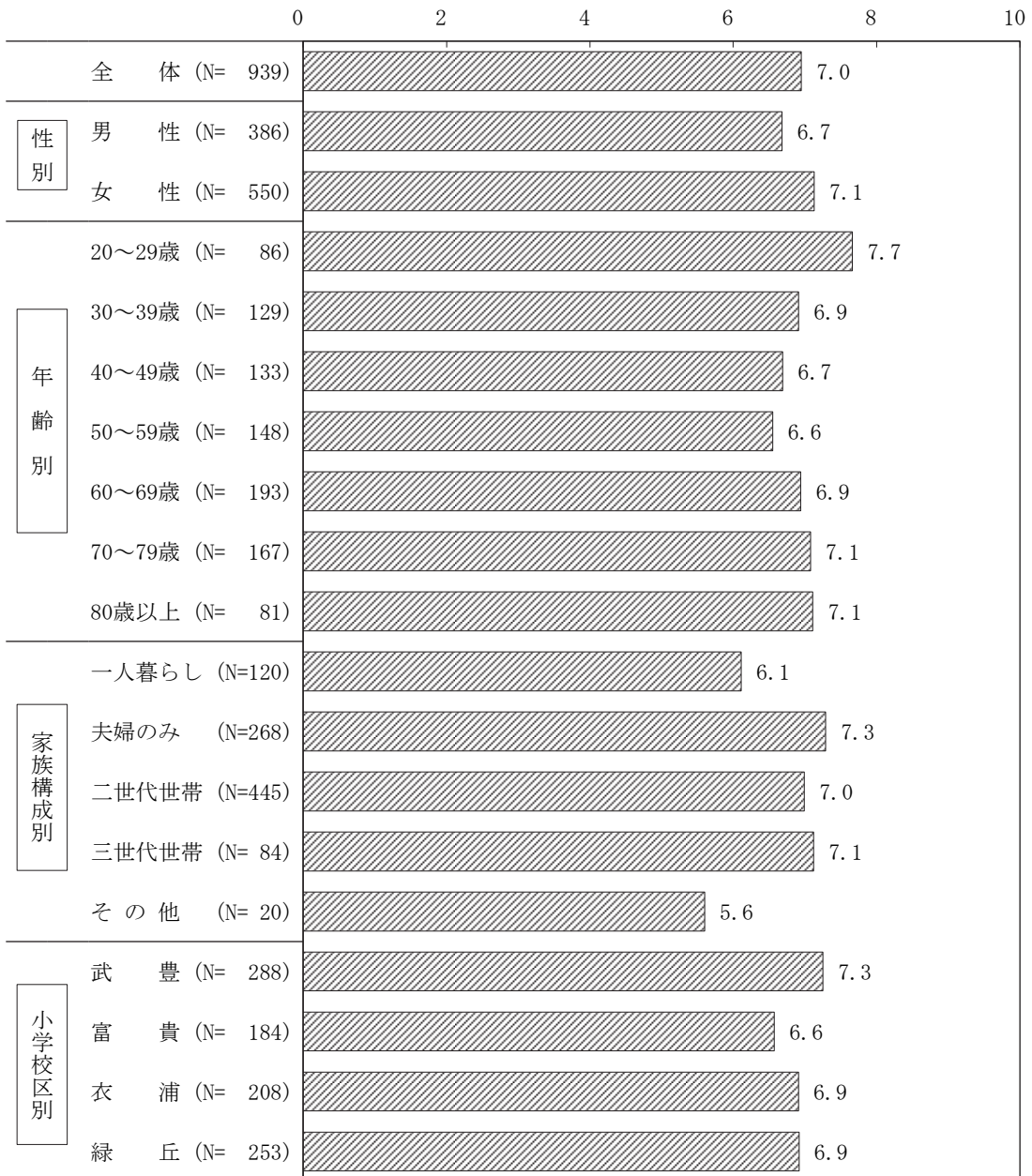
幸福感を平均点で見ると、全体では7.0点となっています。

性別では男性より女性が0.4点高く、年齢別では20～29歳が7.7点と最も高く、50～59歳が6.6点と最も低くなっています。

世帯類型別では一人暮らしが6.1点と低くなっています。

小学校区別では、武豊が7.3点で最も高く、そのほかの校区は6点台です。

図表1-12 幸福感（平均点、性別・年齢別・家族構成別、小学校区別）

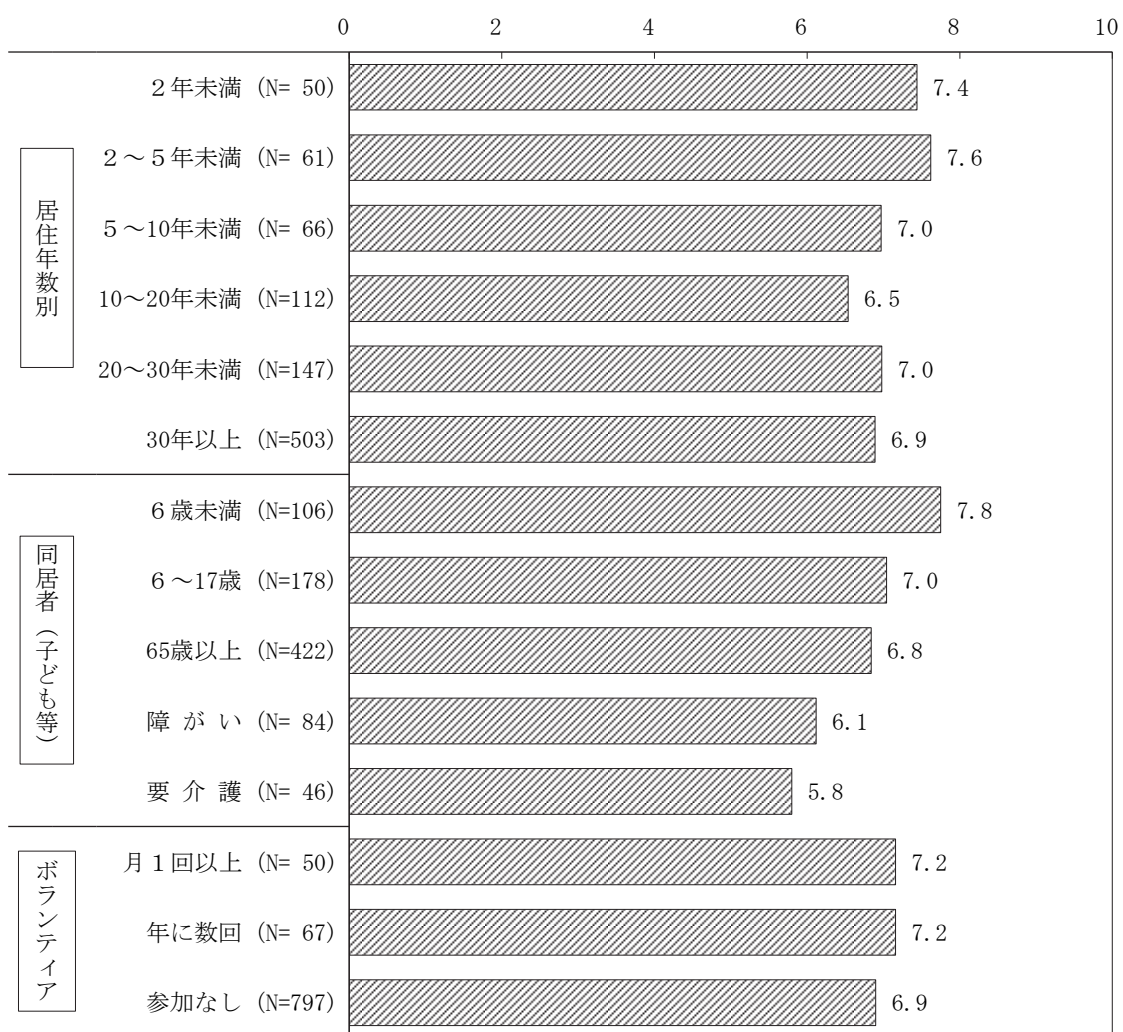


居住年数別に平均点を見ると、比較的短い「2年未満」「2～5年未満」が比較的高く、「10～20年未満」が最も低くなっています。

同居者（子どものいる世帯、高齢者や障がい者のいる世帯など）別に見ると、6歳未満の子がいる世帯が7.8点と最も高く、介護が必要な方がいる世帯（要介護）が5.8点、障がいのある方がいる世帯（障がい）が6.1点と低くなっています。

ボランティア活動の参加状況別では、大きな違いはありませんが、「参加なし」に比べると、「参加中」「以前参加」が0.3点高くなっています。

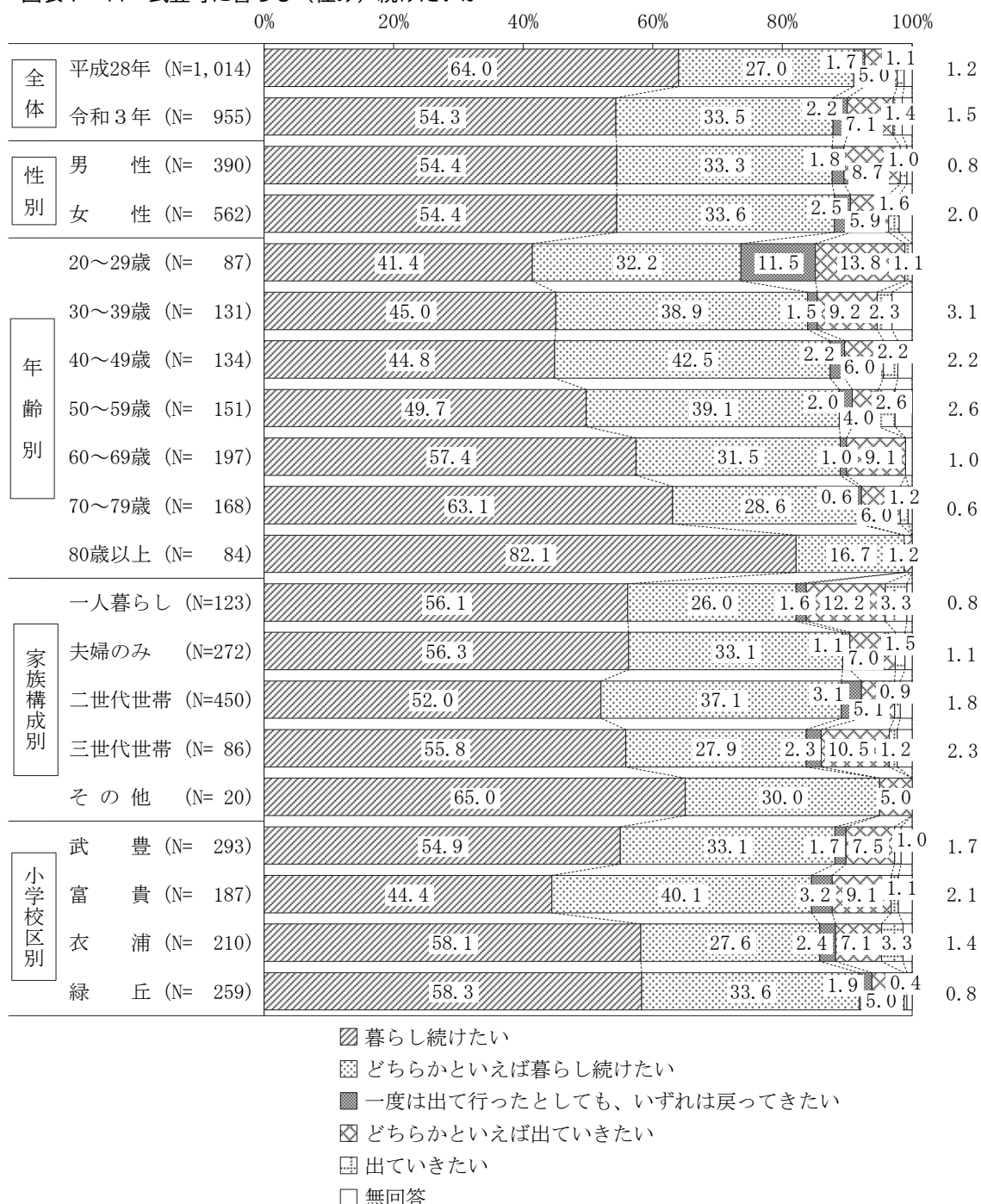
図表1-13 幸福感（平均点、居住年数別・同居者別・ボランティア活動の参加状況別）



(10) 武豊町に暮らし続けたいか [問9]

今後も武豊町に暮らし続けたいかたずねたところ、「暮らし続けたい」が54.3%を占めています。これに「どちらかといえば暮らし続けたい」(33.5%)を加えた<暮らし続けたい>87.8%になります。「どちらかといえば出ていきたい」(7.1%)と「出ていきたい」(1.4%)を合わせた<出ていきたい>は8.5%、「一度は出ていったとしても、いずれは戻ってきたい」は2.2%という結果です。平成28年に比べると、<暮らし続けたい>は3.2ポイント低下し、<出ていきたい>は2.4ポイント高くなっています。

図表1-14 武豊町に暮らし(住み)続けたいか



(注) 平成28年は「暮らし続けたい」を「住み続けたい」に読み替える。

年齢別に見ると、〈暮らし続けたい〉は20～29歳が73.6%と最も低く、年齢が上がるにつれて高くなり、70歳以上では90%を上回っています。20～29歳では、〈出ていきたい〉が14.9%、「一度は出ていったとしても、いずれは戻ってきたい」が11.5%となっています。

家族構成別では大きな違いは見られません。

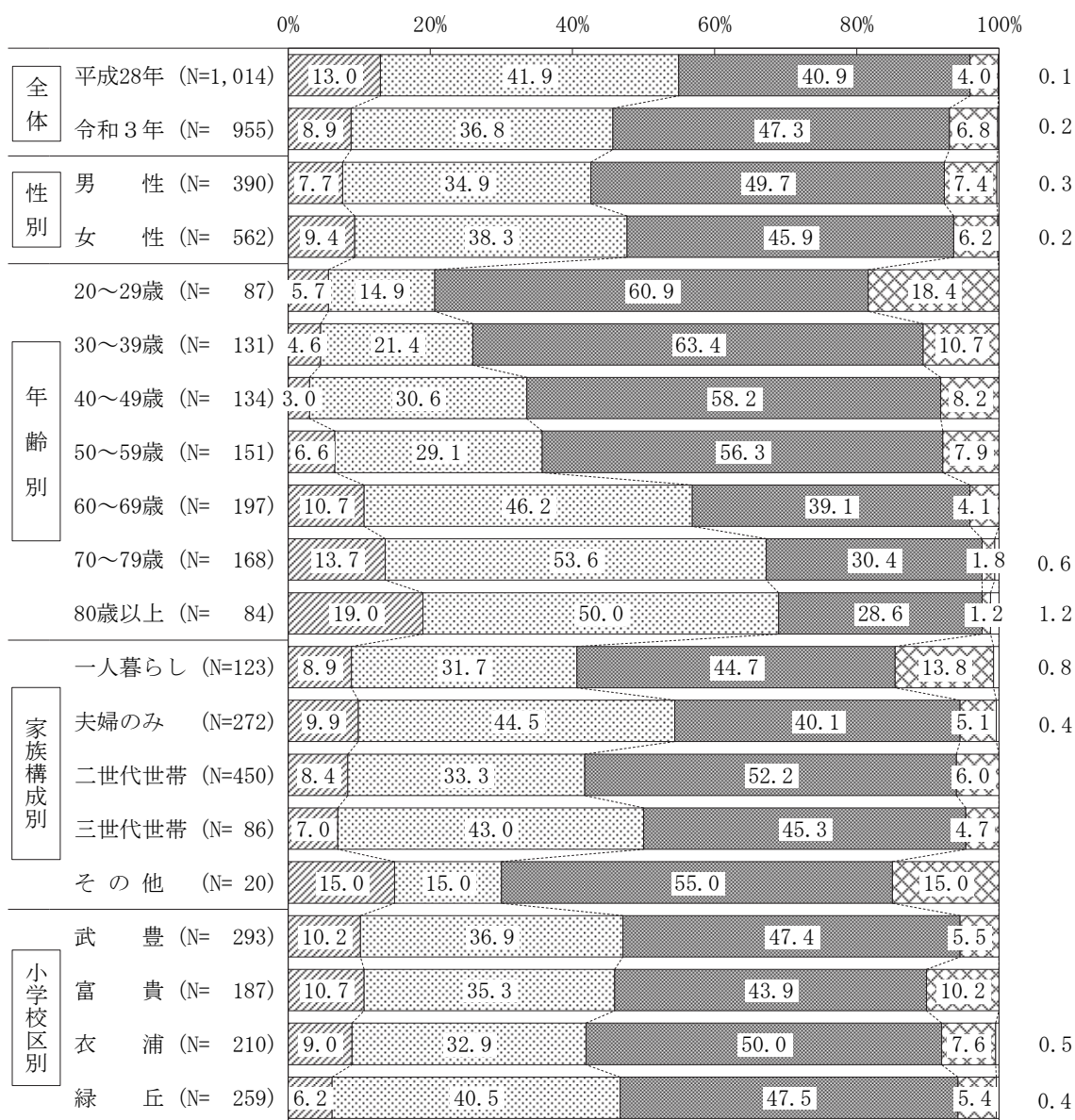
小学校区別に見ると、〈暮らし続けたい〉は緑丘が91.9%と最も高く、富貴が84.5%と最も低くなっています（図表1-14）。

2 地域意識について

(1) 近所付き合い [問10]

近所付き合いでは、「あいさつ程度の最小限の付き合いしかしていない」が47.3%で最も高く、次いで「日常的に立ち話をする程度の付き合いはしている」が36.8%となっています。平成28年と比べると、上記2項目の順位が逆転し、また、「(互いに) 相談したり日用品を貸し借りするなど、(生活面で) 協力しあっている人がある」「日常的に立ち話をする程度の付き合いはしている」を合計した比較的<濃い付き合い>が低下して

図表1-15 近所付き合い



- 相談したり日用品の貸し借りをするなど、協力しあっている人がある
- 日常的に立ち話をする程度の付き合いはしている
- あいさつ程度の最小限の付き合いしかしていない
- 付き合いは全くしていない
- 無回答

おり、付き合いの濃さは薄くなっていると言えます。

<濃い付き合い>は、性別で見ると女性が男性よりやや高く、年齢別に見ると、年齢が上がるにつれて高くなり、70歳以上では60%を上回っています。

家族構成別に見ると、<濃い付き合い>は夫婦のみ、三世代世帯で50%以上となっています。

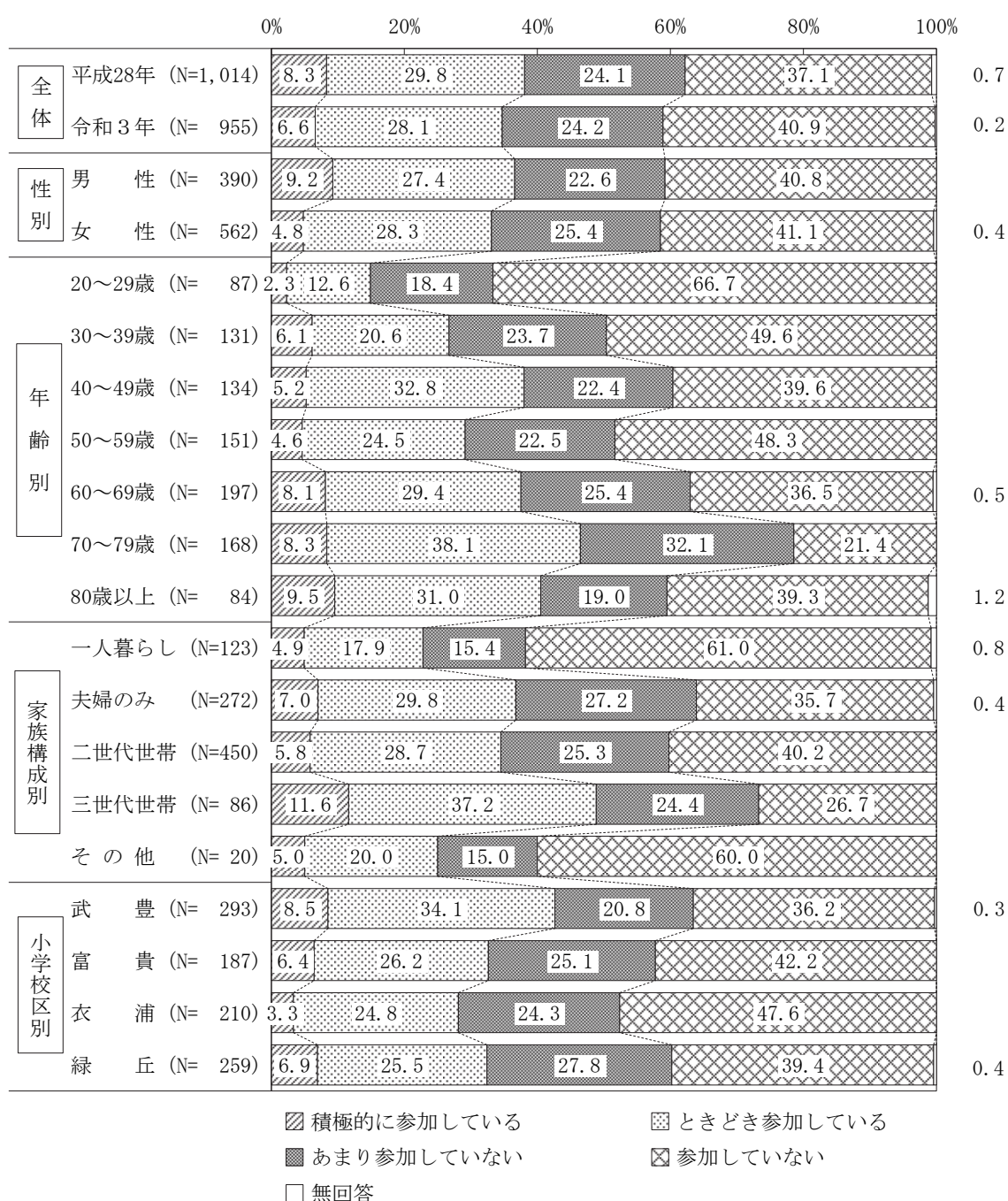
小学校区別では、大きな違いは見られません。

(2) 自治区の行事参加 [問11]

自治区の行事や活動（祭礼、盆踊り、運動会、老人クラブ、自主防災会など）にどの程度参加しているかたずねたところ、「参加していない」が40.9%で最も高くなっています。これに「あまり参加していない」(24.2%)を加えた<参加していない>は65.1%となります。「積極的に参加している」(6.6%)と「ときどき参加している」(28.1%)を合計した<参加している>は34.7%となっています。

平成28年と比べると、<参加していない>が3.9ポイント高くなり、<参加している>は3.4ポイント低下しています。

図表1-16 自治区の行事参加



性別に見ると、「積極的に参加している」は男性が9.2%で女性を4.4ポイント上回っています。

年齢別に見ると、＜参加している＞は70歳以上が比較的高く、40%を上回っています。

家族構成別では、＜参加している＞は三世帯世帯が最も高く、一人暮らしが最も低くなっています。

小学校区別に見ると、＜参加している＞は武豊が比較的高く、衣浦が低くなっています（図表1-16）。

自治区別に見ると、50人以上の回答があった自治区の中では、馬場区、中山区の＜参加している＞が50%近くの比較的高い割合となっています（図表1-17）。

図表1-17 自治区にみた行事参加

単位：Nは人、他は%

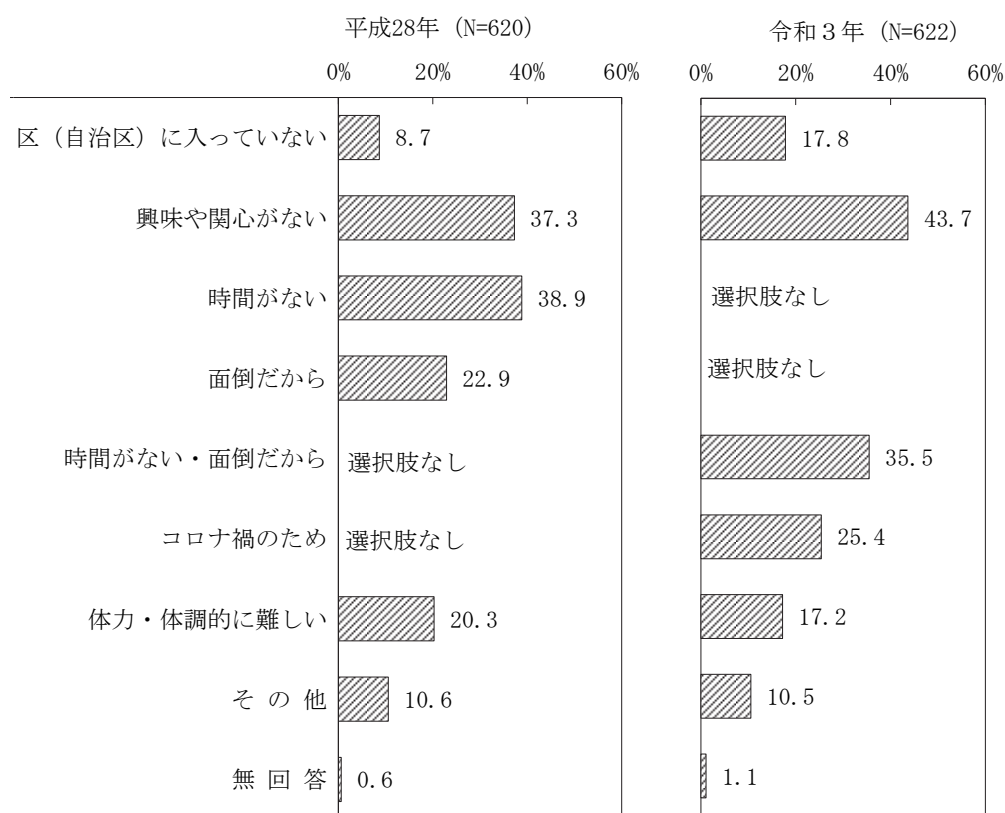
区 分	N	積極的に参加している	ときどき参加している	あまり参加していない	参加していない	無回答
全 体	955	6.6	28.1	24.2	40.9	0.2
北山区	132	6.1	23.5	28.0	42.4	-
中山区	50	16.0	32.0	24.0	28.0	-
下門区	41	7.3	34.1	14.6	43.9	-
馬場区	138	10.1	39.9	23.2	26.1	0.7
市場区	23	8.7	26.1	30.4	34.8	-
上ヶ区	35	8.6	34.3	5.7	51.4	-
小迎区	19	10.5	36.8	15.8	36.8	-
玉東区	26	11.5	11.5	34.6	42.3	-
玉西1区	77	2.6	28.6	26.0	41.6	1.3
玉西2区	73	2.7	23.3	34.2	39.7	-
原田区	5	-	60.0	20.0	20.0	-
緑 区	22	-	40.9	13.6	45.5	-
大足区	104	1.9	21.2	21.2	55.8	-
富貴区	77	1.3	27.3	23.4	48.1	-
富貴市場区	38	10.5	28.9	28.9	31.6	-
東大高区	63	9.5	20.6	27.0	42.9	-
市原区	11	9.1	45.5	27.3	18.2	-
新田区	5	20.0	20.0	20.0	40.0	-

(3) 自治区の行事に参加していない理由 [問12]

前問で自治区の行事に<参加していない>と答えた人に参加していない理由をたずねたところ、「興味や関心がない」が43.7%と最も高く、次いで「時間がない・面倒だから」「コロナ禍のため」の順となっています。

平成28年の調査とは選択肢が異なるため比較はできませんが、内容的には大きく変わっていません。ただし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、自治会行事の中止や縮小、実施方法の変更などもあり、少なからずその影響はあったと考えられます(図表1-18)。

図表1-18 自治区の行事に参加していない理由(複数回答)



性別に見ると、上位3項目は同じですが、男性は「興味や関心がない」が48.2%と高く、女性を7.6ポイント上回っています。

年齢別に見ると、20~29歳、60~69歳、70~79歳は「興味や関心がない」が最も高く、30~59歳は「時間がない・面倒だから」が最も高く、80歳以上は「体力・体調的に難しい」が高くなっています。

居住年数別に見ると、2年未満は「区(自治区)に入っていない」「コロナ禍のため」が最も高く、2~5年未満、20~30年未満、30年以上は「興味や関心がない」が最も高く、5~10年未満、10~20年未満は「時間がない・面倒だから」が最も高くなっています。

家族構成別に見ると、三世代世帯は「時間がない・面倒だから」が最も高く、そのほかの世帯は「興味や関心がない」が最も高くなっています。二世帯世帯は上記2項目が並んでいます。

小学校区別に見ると、いずれの区も「興味や関心がない」が最も高くなっています。そのほか、「区（自治区）に入っていない」は武豊が他の区に比べて高く、「コロナ禍のため」は緑丘が高くなっています（図表1-19）。

図表1-19 自治区の行事に参加していない理由（複数回答、属性別）

単位：Nは人、他は%

区 分		N	区(自治区)に入っていない	興味や関心がない	時間がない・面倒だから	コロナ禍のため	体力・体調的に難しい	その他	無回答
性別	男性	247	17.8	48.2	34.4	28.3	15.4	8.9	0.8
	女性	374	17.9	40.6	36.4	23.5	18.4	11.5	1.3
年齢別	20～29歳	74	23.0	43.2	39.2	27.0	1.4	13.5	-
	30～39歳	96	29.2	33.3	46.9	32.3	11.5	14.6	1.0
	40～49歳	83	13.3	45.8	48.2	30.1	6.0	13.3	-
	50～59歳	107	25.2	47.7	49.5	20.6	4.7	12.1	0.9
	60～69歳	122	13.9	52.5	29.5	23.8	21.3	9.8	0.8
	70～79歳	90	6.7	52.2	17.8	26.7	30.0	1.1	1.1
	80歳以上	49	10.2	16.3	4.1	14.3	65.3	6.1	6.1
居住年数別	2年未満	48	41.7	27.1	31.3	41.7	2.1	18.8	-
	2～5年未満	46	37.0	47.8	26.1	30.4	4.3	13.0	2.2
	5～10年未満	47	23.4	40.4	55.3	19.1	6.4	10.6	-
	10～20年未満	71	22.5	40.8	45.1	25.4	12.7	18.3	-
	20～30年未満	108	19.4	49.1	45.4	24.1	13.0	7.4	-
	30年以上	301	8.6	45.2	28.9	23.6	25.9	7.6	2.0
家族構成別	一人暮らし	94	29.8	39.4	30.9	10.6	22.3	10.6	2.1
	夫婦のみ	171	19.3	49.1	27.5	28.7	19.3	11.1	1.2
	二世帯世帯	295	15.9	42.0	42.0	28.5	14.2	9.5	1.0
	三世代世帯	44	4.5	40.9	43.2	25.0	15.9	13.6	-
	その他	15	6.7	53.3	6.7	20.0	20.0	6.7	-
小学校区別	武 豊	167	26.9	40.1	32.3	21.6	14.4	11.4	1.8
	富 貴	126	10.3	42.1	39.7	23.0	18.3	15.1	1.6
	衣 浦	151	18.5	43.0	37.7	25.8	15.2	10.6	0.7
	緑 丘	174	14.4	48.3	33.9	30.5	20.7	5.7	0.6

人数は少ないですが、自治区別に見ると、図表1-20のようになっています。

図表1-20 自治区別に見た自治区の行事に参加していない理由

単位：Nは人、他は%

区分	N	区（自治区）に入っていない	興味や関心がない	時間がな い・面倒 だから	コロナ禍 のため	体力・体 調的に難 しい	その他	無回答
全体	622	17.8	43.7	35.5	25.4	17.2	10.5	1.1
北山区	93	19.4	45.2	34.4	30.1	20.4	5.4	-
中山区	26	15.4	61.5	38.5	23.1	19.2	-	-
下門区	24	33.3	45.8	29.2	20.8	20.8	8.3	4.2
馬場区	68	27.9	39.7	30.9	19.1	13.2	13.2	1.5
市場区	15	20.0	46.7	33.3	20.0	6.7	13.3	-
上ヶ区	20	20.0	35.0	25.0	25.0	10.0	5.0	5.0
小迎区	10	10.0	40.0	10.0	30.0	20.0	30.0	-
玉東区	20	10.0	55.0	35.0	15.0	20.0	-	-
玉西1区	52	13.5	38.5	42.3	32.7	23.1	9.6	-
玉西2区	54	13.0	44.4	25.9	25.9	16.7	13.0	-
原田区	2	-	50.0	-	50.0	-	-	-
緑区	13	15.4	61.5	30.8	46.2	-	23.1	7.7
大足区	80	21.3	41.3	38.8	25.0	16.3	8.8	1.3
富貴区	55	12.7	49.1	40.0	25.5	10.9	14.5	-
富貴市場区	23	4.3	43.5	52.2	17.4	17.4	17.4	8.7
東大高区	44	15.9	29.5	40.9	27.3	27.3	11.4	-
市原区	5	-	40.0	40.0	-	40.0	-	-
新田区	3	-	66.7	33.3	33.3	-	33.3	-

「その他」として、図表1-21の理由が記載されていました。

図表1-21 自治区の行事に参加していない理由（その他）

【仕事のため】

- ・ 仕事をしているため。（6件）
- ・ 仕事で休みも少ない。
- ・ 仕事やプライベートな生活に時間を使い充実させたいから。
- ・ 介護、仕事のため。
- ・ 仕事しながらの難関資格勉強のため。
- ・ 日・祝が仕事のため。
- ・ 仕事が不規則なため。
- ・ 海外勤務のため。

【子どものため】

- ・ 小さな子どもがいるため。
- ・ 子どもが成長したため。
- ・ 子どものことで大変
- ・ 子育てが忙しいため。
- ・ 子どもがいないため参加しにくい。
- ・ 子がいないので、参加できそうな行事が限られる。
- ・ 子どもがいるため参加しにくいものもある。

【親が参加しているため】

- ・ 両親が参加しているため。（3件）
- ・ 義母にお願いしている。
- ・ 同居の義母が参加している。

【引っ越してきたばかり】

- ・ 引っ越してきたから。
- ・ 今の場所に引っ越したため。
- ・ 引っ越してきたばかりで機会がなかった。
- ・ 引っ越してきて間もないため。
- ・ 引っ越してきてから少ししか経っておらず、よくわかっていない。
- ・ 引っ越して間もないため開催されていない。機会がなかった。

【情報がない、機会がない】

- ・ 機会がない。
- ・ どんな取り組みをしているか知らない。

- ・ 情報が入ってこないため。
- ・ 参加の仕方がわからない。
- ・ 話がない。
- ・ 活動があまりないため。
- ・ 参加する活動がほとんどない。
- ・ あまり参加するものがない。

【体調が悪い】

- ・ 視覚障がいがあるため。
- ・ 足が不自由

【付き合いをしたくない】

- ・ 人との関りが苦手。
- ・ 大声で話していて迷惑。輪に入りたくない。
- ・ 区の役員に賛同できない。
- ・ 人付き合いが苦手。
- ・ 他の区の祭りに入っている。すごく閉鎖的でよそから来た人を入れない。親がやっている人の子しか入れないなど。どうかと思う。
- ・ 若いと雑用を押し付けられるため。
- ・ 今年2回美化に参加、草取り最悪。

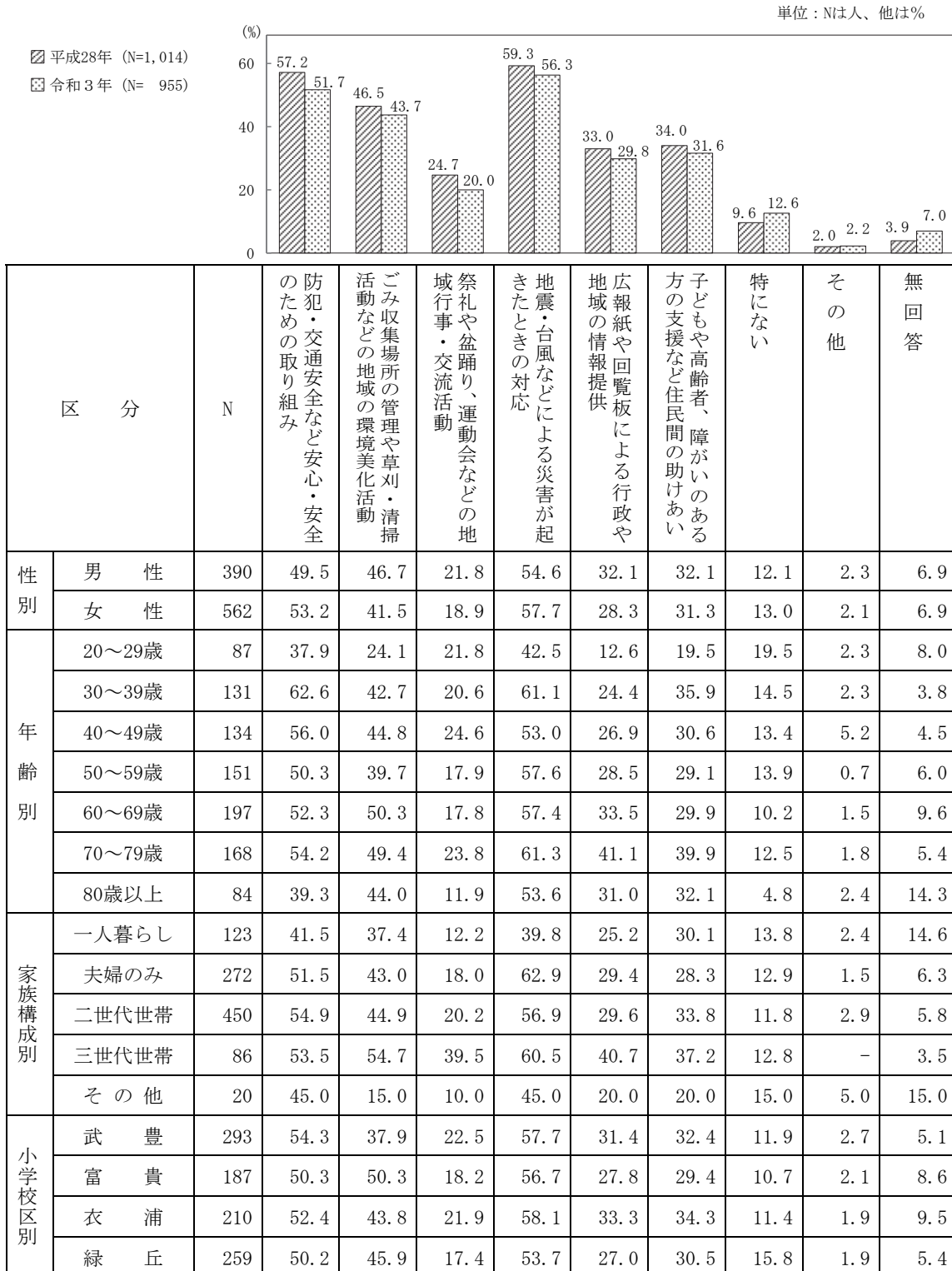
【その他】

- ・ 地元じゃないから。
- ・ 出身じゃないので。
- ・ となり組に入っていない。
- ・ 祭礼を見に行くのが遠すぎる。寄付だけして何もなし。
- ・ 自宅にいる時間が少なくて。
- ・ 週に1回老人憩いの家のサロンに参加しています。
- ・ 会社の寮のため。
- ・ 休日がバラバラ。
- ・ 以前は憩いのサロンに行っていた。
- ・ 近所付き合いとか苦手な人がいるため。避難訓練、草刈り等やめてほしい。
- ・ 今、楽しく生活しているから。

(4) 自治区に期待する役割

自治区に期待する役割は、「地震・台風などによる災害が起きたときの対応」が56.3%と最も高く、次いで「防犯・交通安全など安心・安全のための取組み（防犯・交通安全）」が51.7%、「ごみ収集場所の管理や草刈・清掃活動などの地域の環境美化活動（環境美化）」が43.7%となっています。平成28年に比べると、全般的に割合は低下しています

図表1-22 自治区に期待する役割（複数回答）



が、順位に変化はありません。

性別に見ると、男女ともに上記3項目が高くなっています。男性は「環境美化」が女性より5.2ポイント高く、女性は「防犯・交通安全」「地震・台風などによる災害が起きたときの対応（災害時対応）」が男性より3ポイント以上高くなっています。

年齢別に見ると、30～39歳、40～49歳は「防犯・交通安全」が最も高く、そのほかの年齢層は「災害時対応」が最も高くなっています。

家族構成別に見ると、一人暮らしは「防犯・交通安全」が最も高く、夫婦のみ、二世帯世帯、三世帯世帯は「災害時対応」が最も高くなっています。全般的に三世帯世帯の割合が高くなっています。

小学校区別では、いずれも「災害時対応」が最も高く、大きな違いは見られません（図表1-22）。

「その他」として、図表1-23の内容が記載されていました。

図表1-23 自治区に期待する役割（その他）

- ・学校支援級人材強化。
- ・障がいがありますが、現在は自分でできます。大丈夫ですが、重くなったり、ガンが再発したらと思うと不安になります。明るく生活できるように心掛けます。
- ・老人の読書の手伝いがほしい。
- ・2022年4月にオープンするプールについて皆が気軽に使える金額がいい。
- ・高齢のため区を抜けられた方たちが心配です。多分、常会長などが負担なのかも。
- ・個人宅の道路に出ている木・草などの刈り取りなど、個人では苦情を言っていけないことを区できちんとやってほしい。区で見てほしい。道路にはみ出している木・草でミラーが見えない。
- ・高齢なので何もできません。
- ・形式だけの住民による草刈りは不要。シルバーの方をお願いしたい。
- ・学生世代がより賢く生き抜くための教育の仕方にもっと注視すべき。
- ・現状でよい。
- ・組長の仕事を減らしてほしい。回覧板が回ってくるのが遅いため意味がない。募金・集金が苦。組でまわられると断りにくい。ごみ収集所が囲われていないため、いつもカラスにグチャグチャにされている。これを区長さんに言っても改善してくれない。どうにかしてほしい。
- ・区に入っている世帯の年齢層が高くなっているので、役割を期待するのを一考してほしい。
- ・子ども会加入を積極的に取り組んでほしい。
- ・現状、町内会や隣組で行っている草刈りや広報の配布などの活動は役場が行うべき仕事だと思う。隣組への加入が当然のような認識、空気感が私の住んでいる地区の住民の方々からは感じられ、それが加入への強制力をもった空気感を生んでいて良くないと思う。個々の生活があるなかで、そのような実質的な強制力を感じられる組織があってはいけないと思う。
- ・危険度の高い交差点、住民道路の改良など、個々の意見に適した対策の優先的取り組み。
- ・花だんなどの整備や緑化活動
- ・区会費払わないとごみ出し場所を使えないって本当ですか。町民税払っているのに、ごみを出すために区会に加入？
- ・実は、設問の内容を私自身が先頭にたってやりたい。
- ・若い世代も参加できるしくみ作りが必要
- ・よくやってくれていると思う。
- ・新型コロナの感染回避・自粛生活で自治区の活動も激減。苦しい環境が続いているが、知多半島はマイペースで。
- ・子どもの見守り（登下校時や早朝、夕方等）

自治区別に見ると、人数は少ないですが、市原区以外は「防犯・交通安全」または「災害時対応」が最も高くなっています。市原区は「環境美化」が最も高くなっています。また、富貴市場区は「災害時対応」と「環境美化」が並んでいます。

図表1-24 自治区別に見た自治区に期待する役割（複数回答）

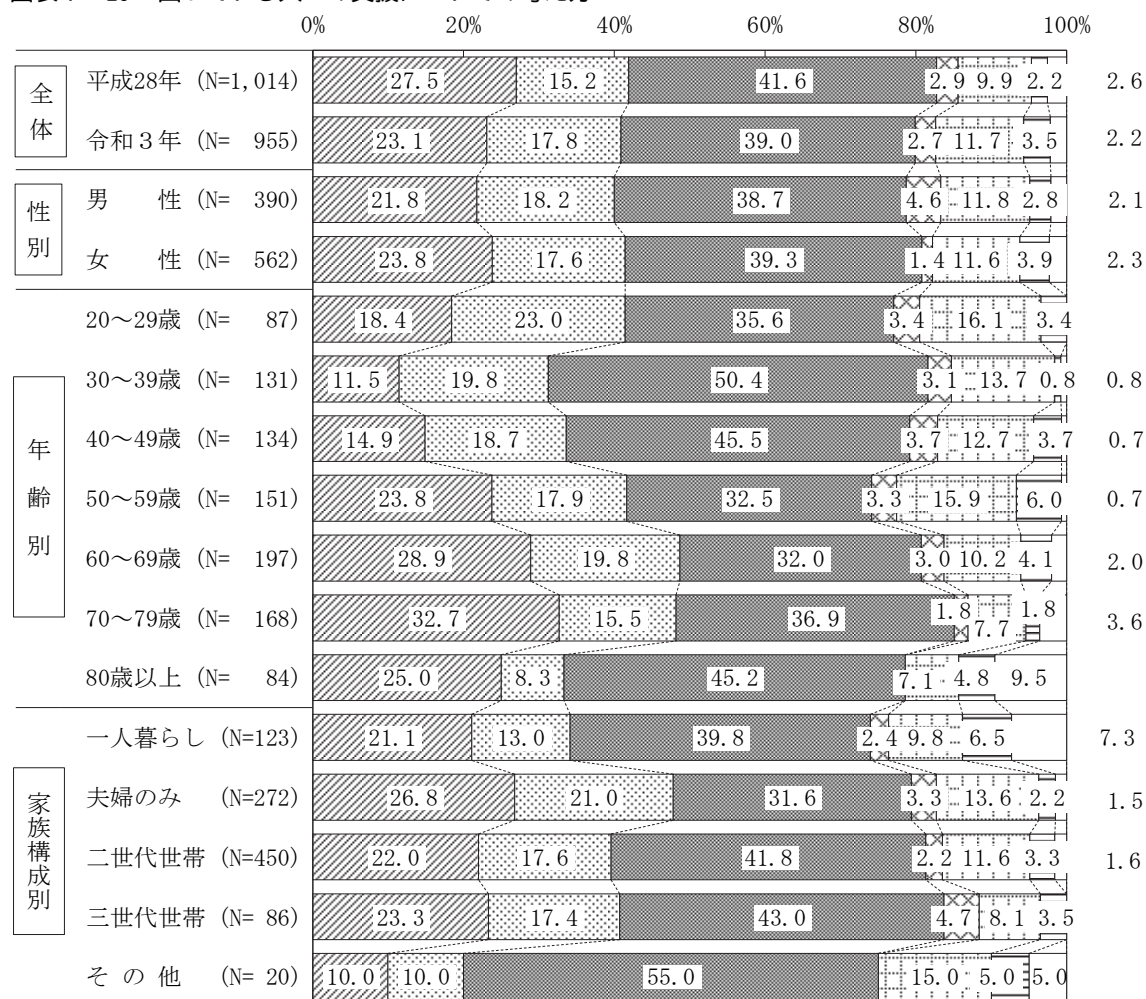
単位：Nは人、他は%

区分	N	防犯・交通安全など安心・安全のための取り組み	ごみ収集場所の管理や草刈・清掃活動などの地域の環境美化活動	祭礼や盆踊り、運動会などの地域行事・交流活動	地震・台風などによる災害が起きたときの対応	広報紙や回覧板による行政や地域の情報提供	子どもや高齢者、障がいのある方の支援など住民間の助けあい	特になし	その他	無回答
全体	955	51.7	43.7	20.0	56.3	29.8	31.6	12.6	2.2	7.0
北山区	132	56.1	41.7	18.9	56.8	30.3	31.8	18.2	3.0	5.3
中山区	50	50.0	48.0	20.0	54.0	36.0	30.0	10.0	2.0	8.0
下門区	41	48.8	39.0	31.7	63.4	43.9	34.1	12.2	9.8	2.4
馬場区	138	55.8	38.4	24.6	56.5	29.0	34.8	10.1	1.4	5.1
市場区	23	47.8	39.1	21.7	56.5	30.4	17.4	13.0	-	13.0
上ヶ区	35	54.3	34.3	20.0	54.3	40.0	28.6	17.1	2.9	8.6
小迎区	19	63.2	47.4	26.3	52.6	15.8	36.8	5.3	-	-
玉東区	26	42.3	34.6	19.2	69.2	30.8	42.3	11.5	3.8	3.8
玉西1区	77	50.6	45.5	16.9	55.8	24.7	36.4	10.4	-	3.9
玉西2区	73	38.4	45.2	17.8	50.7	23.3	27.4	15.1	4.1	8.2
原田区	5	60.0	40.0	20.0	80.0	40.0	40.0	-	-	-
緑区	22	63.6	54.5	18.2	59.1	27.3	36.4	13.6	-	-
大足区	104	58.7	42.3	17.3	60.6	31.7	30.8	9.6	1.0	11.5
富貴区	77	45.5	44.2	14.3	50.6	28.6	22.1	15.6	3.9	11.7
富貴市場区	38	55.3	68.4	26.3	68.4	36.8	31.6	5.3	-	2.6
東大高区	63	57.1	50.8	20.6	60.3	27.0	38.1	7.9	1.6	6.3
市原区	11	27.3	54.5	36.4	36.4	45.5	27.3	18.2	-	18.2
新田区	5	60.0	40.0	-	40.0	20.0	60.0	20.0	-	-

(5) 困っている人への支援についての考え方 [問14]

「近所に住む一人暮らしの高齢者、高齢者世帯、障がいのある方、子育て中の家族などで、困っている方に対して、日常生活上の支援について、あなたはどのように考えますか」という設問に対しては、「支援したいが、自分のことで精一杯でその余裕がない」が39.0%と最も高く、次いで「近所に住む人として、できる範囲で支援したい」(23.1%)、「支援したいが、何をすればよいかわからない」(17.8%)の順となっています。平成28年と比べると、「近所に住む人として、できる範囲で支援したい」が4.4ポイント、「支援したいが、自分のことで精一杯でその余裕がない」が2.6ポイント低下し、「支援したいが、何をすればよいかわからない」が2.6ポイント、「余計なお世話と思われるので支援しない」が1.8ポイント高くなっています。

図表1-25 困っている人への支援についての考え方



- ▨ 近所に住む人として、できる範囲で支援したい
- ▤ 支援したいが、何をすればよいかわからない
- 支援したいが、自分のことで精一杯でその余裕がない
- ⊠ 役場などの仕事なので、近所の人への支援をしないでよい
- 余計なお世話と思われるので支援しない
- その他
- 無回答

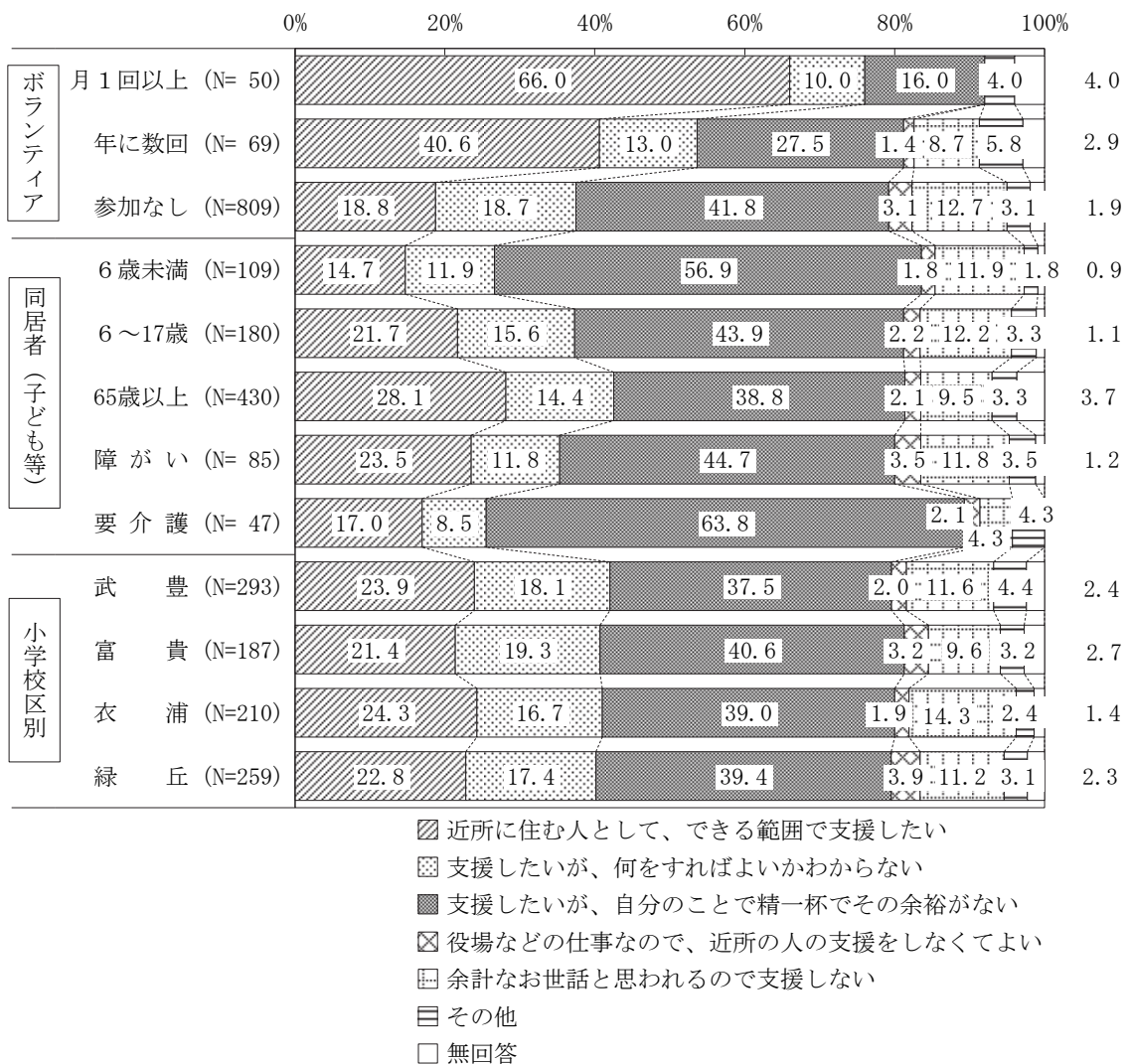
性別で見ると、「近所に住む人として、できる範囲で支援したい」は女性が男性を2.0ポイント上回っています。男性は女性に比べて「役場などの仕事なので、近所の人の支援をしなくてよい」が3.2ポイント高くなっています。

年齢別では、「近所に住む人として、できる範囲で支援したい」は、30～39歳が最も低く、年齢が上がるにつれて高くなり、70～79歳では30%を上回っています。30～39歳は「支援したいが、自分のことで精一杯でその余裕がない」が50%を上回っています。

家族構成別では、夫婦のみの「近所に住む人として、できる範囲で支援したい」「支援したいが、何をすればよいかわからない」が高くなっています（図表1-25）。

ボランティア活動の状況別では、活動している人ほど「近所に住む人として、できる範囲で支援したい」が高くなっています。同居者別では、6歳未満の子のいる世帯、要介護者のいる世帯は「支援したいが、自分のことで精一杯でその余裕がない」が50%を上回っています。小学校区別では大きな違いは見られません（図表1-26）。

図表1-26 困っている人への支援についての考え方（ボランティア活動の状況別・同居者別・小学校区別）



「その他」として、図表1-27の内容が記載されていました。

図表1-27 困っている人への支援についての考え方（その他）

- ・ 近隣住民を把握していない。
- ・ そういう人がいない。
- ・ 何か聞かれたり、お願いされれば積極的に協力したい。
- ・ 本人の希望がなければ支援しない。
- ・ あいさつ程度の付き合いなので対象者を知らない。民生委員が情報をもって対応しているのではないか。
- ・ 近所づきあいがあるような地域じゃないから、関わるのに躊躇する。
- ・ できません。
- ・ 何かあった時責任がとれないので、安易には支援できない。
- ・ 相手が必要としていれば。
- ・ 学生
- ・ 今のところ対象となる方がいない。
- ・ 次は我が身と思うが時と場合による。
- ・ 支援はしたいが、お互いの信頼関係が築けなければむずかしいことだと思う。
- ・ 民間タクシー、配食、買物サービスなどボランティアではないサポート（仕事として取り組める）。
- ・ シルバー人材の仕事としてやれないのですか？低価格で仕事がない人に仕事を、生きがいを。
- ・ 私自身が高齢者、朝のあいさつぐらいはしてほしい。しましうね。
- ・ 顔を合わせた時に気持ちよく会話する。
- ・ 相手の人柄による。
- ・ どのだれが困っているのかわからない。
- ・ 個人的な支援はどうかと思う。声かけとか、心配する気持ちに留まる。
- ・ 家族を守れるかどうか問われる。一人住まいの身では何ともしがたい。最期まで堂々と生きていたい。
- ・ 近所に当てはまる家がないためわからない。
- ・ 何を必要としているのか知りたい。
- ・ 時と場合による。

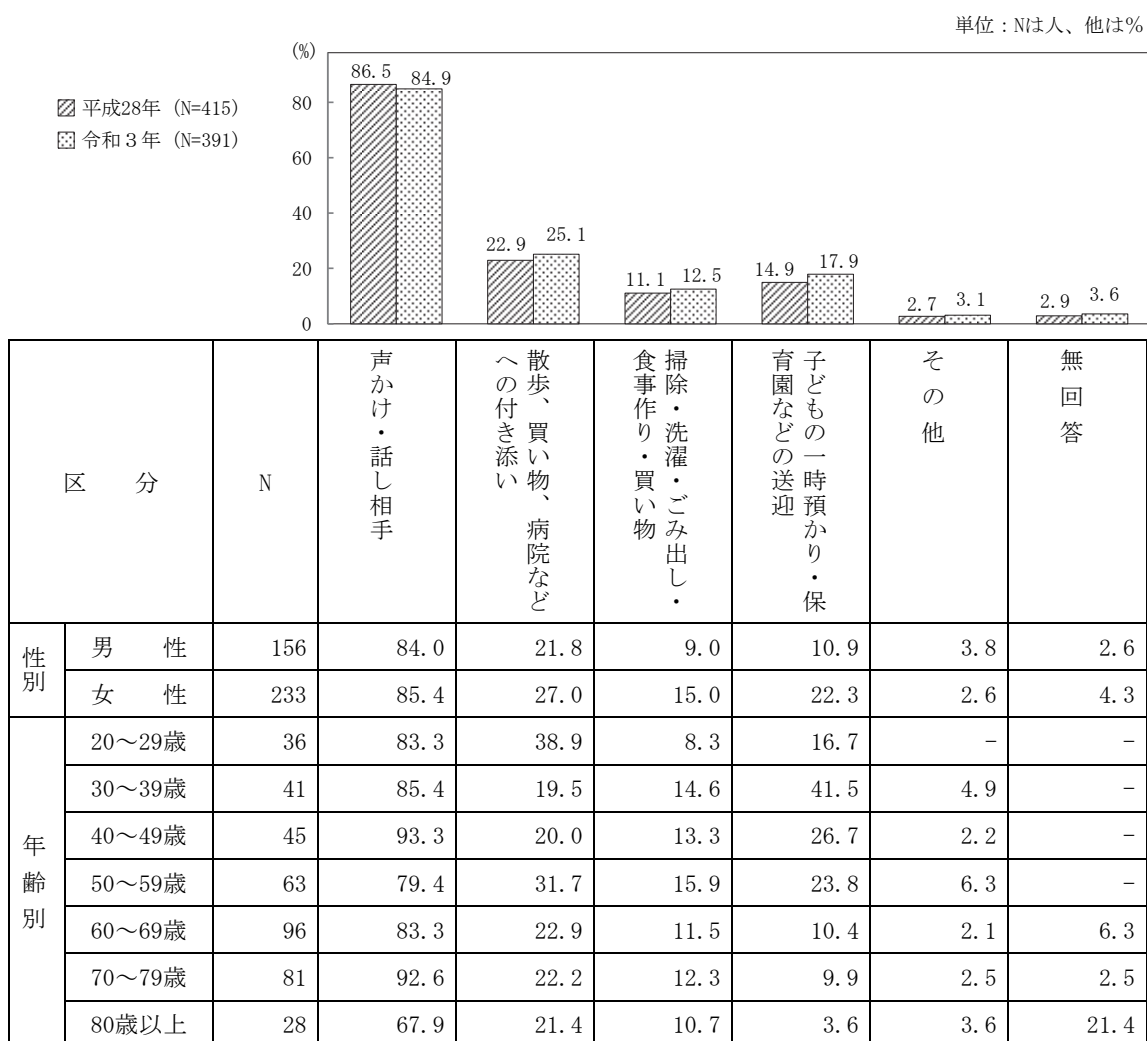
(6) 困っている人にできる支援 [問15]

前問で「近所に住む人として、できる範囲で支援したい」「支援したいが、何をすればよいかわからない」と回答した人に、自分にもできる支援があるかをたずねたところ、「声かけ・話し相手」が84.9%と突出して高くなっています。平成28と比べると、わずかですが「声かけ・話し相手」が低下し、そのほかの項目が高くなっています。

性別では、男女ともに「声かけ・話し相手」が高く、全般的に男性より女性の割合が高くなっています。

年齢別に見ると、いずれの年齢層も「声かけ・話し相手」が高くなっています。そのほかでは、20～29歳、50～59歳の「散歩、買い物、病院などへの付き添い」、30～39歳の「子どもの一時預かり・保育園などの送迎」が30%を上回っています(図表1-28)。

図表1-28 困っている人にできる支援(複数回答)



小学校区別に見ると、富貴の「子どもの一時預かり・保育園などの送迎」が他に比べて高く、武豊の「掃除・洗濯・ごみ出し・食事作り・買い物」が低くなっています。

ボランティア活動の状況別で見ると、他に比べて年に数回参加する人の「声かけ・話し相手」が低く、その他の項目が高くなっています（図表1-29）。

「その他」として、図表1-30の内容が記載されていました。

図表1-29 困っている人にできる支援（小学校区別・ボランティア活動の有無別、複数回答）

単位：Nは人、他は%

区 分		N	声かけ・話し相手	散歩、買い物、病院などへの付き添い	掃除・洗濯・ごみ出し・食事作り・買い物	子どもの一時預かり・保育園などの送迎	その他	無回答
小学校区別	武 豊	123	83.7	24.4	8.9	12.2	1.6	4.1
	富 貴	76	85.5	23.7	15.8	25.0	3.9	1.3
	衣 浦	86	82.6	23.3	16.3	19.8	4.7	5.8
	緑 丘	104	87.5	26.9	11.5	17.3	2.9	2.9
ボランティア	月1回以上	38	86.8	23.7	13.2	15.8	2.6	2.6
	年に数回	37	78.4	35.1	18.9	21.6	2.7	5.4
	参加なし	303	86.8	24.4	11.6	17.8	3.3	1.7

図表1-30 困っている人にできる支援（その他）

- ・子どもの一時預かりだけならできると思う。
- ・子どもの見守り。
- ・家の外回りの整備等。
- ・「掃除・洗濯・ごみ出し・食事作り・買い物」の中で、ごみ出し、買物。
- ・災害時の声掛け支援。
- ・スマホを使った何か。使い方を教える等。
- ・ケースバイケースで、具体的には何ができるかわからないので。・頼られれば何でも。
- ・生活時間帯の違いで無理。
- ・わからない。

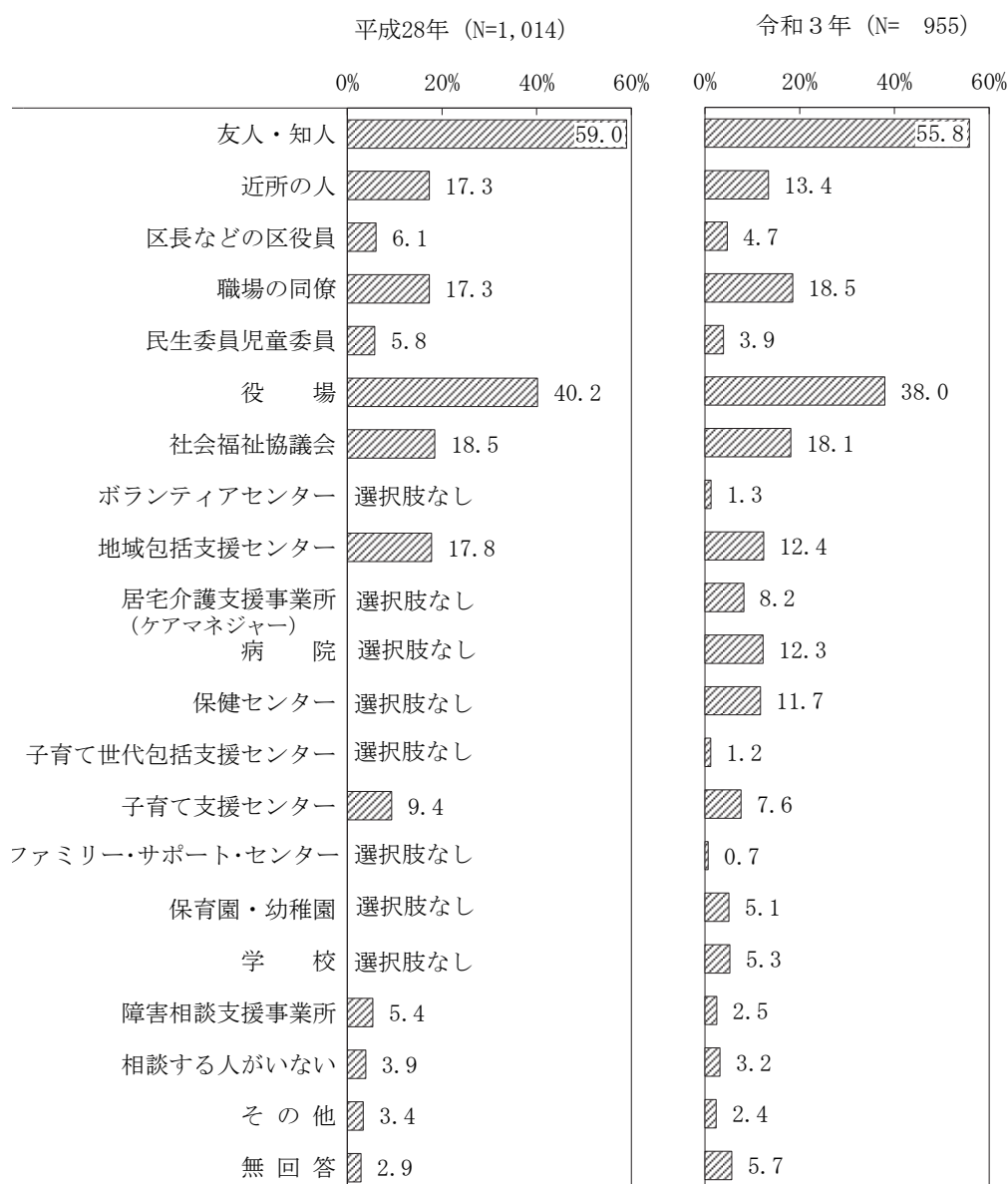
3 福祉サービスについて

(1) 相談相手〔問16〕

介護や子育て、その他生活上の困りごとがあった場合の相談相手（家族・親族は除く）としては、「友人・知人」が55.8%と最も高く、次いで「役場」の38.0%の順となっており、そのほかは20%未満です。「相談する人がいない」は3.2%（31人）あります。平成28年と比べると、上位項目は変わりません。「地域包括支援センター」が5.4ポイント低下し、新たに設けた「病院」「保健センター」が10%を上回っています（図表1-31）。

性別に見ると、男女ともに「友人・知人」「役場」の順となっています。3番目以降は、男性は「社会福祉協議会」「職場の同僚」、女性は「職場の同僚」「社会福祉協議会」「近所の人」の順で15%を上回っています。「役場」は男性が女性より11.0ポイント高

図表1-31 相談相手（複数回答）



く、「友人・知人」は女性が男性より10.6ポイント高くなっています。

年齢別に見ると、60～69歳、80歳以上以外は「友人・知人」が最も高くなっています。60～69歳は「役場」が最も高く、80歳以上は「社会福祉協議会」が最も高くなっています。他の年齢層に比べ、若年層は「友人・知人」が高く、高齢層は「社会福祉協議会」「地域包括支援センター」「民生委員児童委員」が高くなっています。30～39歳の子育て世代は、「保健センター」「子育て支援センター」「保育園・幼稚園」「学校」などが他の年齢層に比べて高くなっています（図表1-32）。

ボランティア活動の状況別で見ると、いずれも「友人・知人」「役場」が高くなっています。そのほかでは、月1回以上の人の「社会福祉協議会」が高いことが特徴としてあげられます（図表1-33）。

同居者別に見ると、いずれも「友人・知人」「役場」が高くなっています。そのほか

図表1-32 相談相手（性別・年齢別、複数回答）

単位：Nは人、他は%

区 分	性別		年 齢 別						
	男性	女性	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
N	390	562	87	131	134	151	197	168	84
友人・知人	49.5	60.1	70.1	72.5	66.4	60.9	42.6	51.2	28.6
近所の人	10.5	15.1	5.7	9.2	10.4	13.9	12.7	22.0	16.7
区長（常会長・組長）などの区役員	5.9	3.9	-	0.8	2.2	2.0	5.6	11.3	9.5
職場の同僚	15.4	20.8	24.1	31.3	32.1	30.5	9.1	3.6	1.2
民生委員児童委員	4.9	3.2	-	0.8	0.7	1.3	2.0	7.7	19.0
役 場	44.6	33.6	21.8	32.8	33.6	45.0	44.7	44.6	28.6
社会福祉協議会	20.5	16.4	6.9	9.2	9.7	14.6	24.4	27.4	31.0
ボランティアセンター	1.5	1.1	-	0.8	0.7	0.7	1.5	3.0	1.2
地域包括支援センター	11.5	13.0	1.1	3.1	6.0	15.2	17.3	18.5	19.0
居宅介護支援事業所（ケアマネ）	6.4	9.4	2.3	3.1	3.7	14.6	8.1	8.9	16.7
病 院	11.8	12.5	6.9	13.7	11.2	13.2	10.7	13.7	15.5
保健センター	10.0	13.0	17.2	23.7	10.4	6.6	3.0	13.7	14.3
子育て世代包括支援センター	1.3	1.1	-	3.1	0.7	1.3	0.5	1.2	1.2
子育て支援センター	6.7	8.4	17.2	22.9	11.2	2.6	3.0	1.2	1.2
ファミリー・サポート・センター	0.5	0.9	-	1.5	2.2	-	1.0	-	-
保育園・幼稚園	5.9	4.6	5.7	23.7	6.7	2.6	-	-	-
学 校	4.4	6.0	4.6	17.6	12.7	4.0	0.5	-	-
障害相談支援事業所	3.3	2.0	2.3	3.1	6.0	1.3	0.5	3.6	1.2
相談する人がいない	4.1	2.5	1.1	2.3	5.2	4.0	5.1	0.6	3.6
そ の 他	1.3	3.2	1.1	3.1	2.2	2.6	1.0	1.8	7.1
無 回 答	5.6	5.7	6.9	0.8	2.2	2.6	6.6	8.3	15.5

では、6歳未満の子のいる世帯の「保健センター」「子育て支援センター」「保育園・幼稚園」、6～17歳の子のいる世帯の「職場の同僚」、障がいのある人のいる世帯の「社会福祉協議会」、要介護者のいる世帯の「居宅介護支援事業所（ケアマネ）」が30%以上と高くなっています（図表1-33）。

図表1-33 相談相手（ボランティア活動の状況別・同居者別、複数回答） 単位：Nは人、他は%

区 分	ボランティア			同居者（子ども等）				
	月1回以上	年に数回	参加なし	6歳未満	6～17歳	65歳以上	障がい	要介護
N	50	69	809	109	180	430	85	47
友人・知人	68.0	60.9	55.4	72.5	68.9	47.7	36.5	25.5
近所の人	20.0	21.7	12.1	12.8	13.3	17.2	10.6	17.0
区長（常会長・組長）などの区役員	4.0	5.8	4.4	0.9	1.7	6.7	3.5	4.3
職場の同僚	4.0	21.7	19.7	28.4	30.0	10.2	9.4	12.8
民生委員児童委員	10.0	5.8	3.2	0.9	1.7	6.5	3.5	-
役 場	48.0	50.7	37.0	31.2	35.6	39.8	29.4	31.9
社会福祉協議会	44.0	18.8	16.7	10.1	10.0	25.6	32.9	27.7
ボランティアセンター	8.0	-	1.0	-	0.6	2.1	1.2	-
地域包括支援センター	26.0	15.9	11.5	2.8	5.0	17.0	17.6	21.3
居宅介護支援事業所（ケアマネ）	8.0	5.8	8.2	1.8	4.4	12.3	15.3	36.2
病 院	14.0	10.1	12.2	12.8	10.6	13.0	22.4	23.4
保健センター	12.0	10.1	11.7	35.8	12.8	9.3	8.2	4.3
子育て世代包括支援センター	2.0	-	1.2	3.7	1.7	0.9	2.4	-
子育て支援センター	4.0	7.2	8.2	35.8	16.1	2.8	2.4	2.1
ファミリー・サポート・センター	4.0	1.4	0.5	0.9	3.3	0.7	-	-
保育園・幼稚園	-	4.3	5.7	39.4	13.9	0.5	4.7	2.1
学 校	6.0	11.6	4.9	15.6	24.4	1.6	3.5	-
障害相談支援事業所	2.0	1.4	2.7	2.8	5.0	2.3	14.1	4.3
相談する人がいない	-	1.4	3.6	-	3.9	2.3	2.4	-
そ の 他	-	-	2.7	0.9	2.8	2.6	9.4	10.6
無 回 答	4.0	4.3	5.1	1.8	-	7.7	4.7	6.4

「その他」として、図表1-34の内容が記載されていました。

図表1-34 相談相手（その他）

- ・どこに相談するのか分からない。（3件）
- ・役場の福祉関係について良く理解できていないので、困ったら役場に相談に行きたい。友人・知人・夫・子ども以外では相談しにくいと思います。アドバイスをいただきたい。
- ・休みとか、時間外の時に相談等しにくい。どこに相談したらいいか分かりづらい。
- ・南知多病院に月1回通院中（子ども2人とも）
- ・SNS。
- ・インターネットで調べてからどこに相談するか決める。
- ・リハビリの先生。
- ・訪問看護の看護師さん。
- ・特養。
- ・町で行っている相談は仕事で合わない。
- ・今のところさしせまった困りごとはない。
- ・特に困ることはない。
- ・わからない。

(2) 福祉サービスを利用するか [問17]

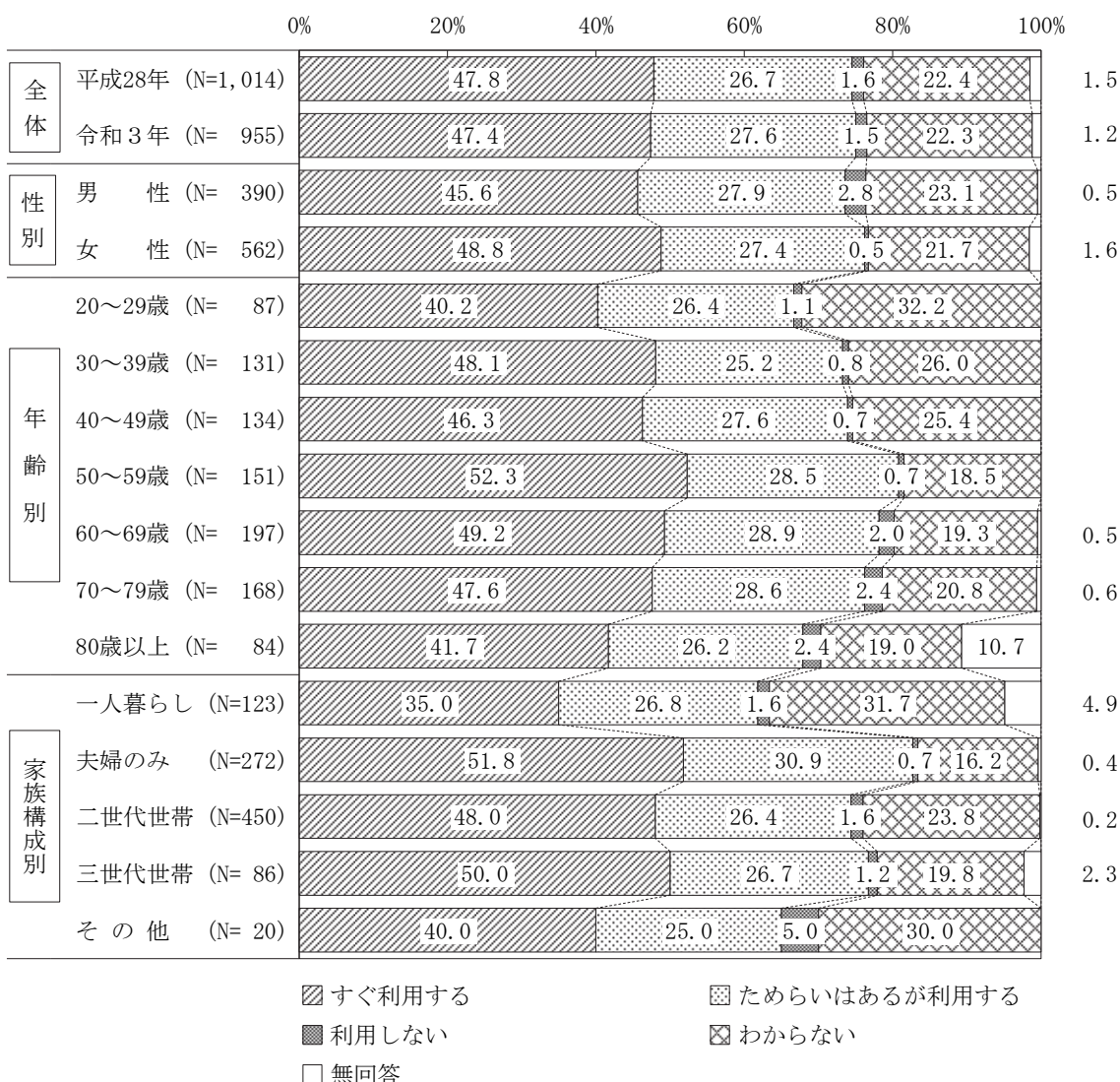
「あなた自身やあなたの家族が福祉サービスを必要とした時、すぐに利用しますか」という設問に対しては、「すぐ利用する」が47.4%、「ためらいはあるが利用する」が27.6%、合計した<利用する>は75.0%となります。「わからない」は22.3%、「利用しない」は1.5%となっています。平成28年とほとんど変化は見られません。

性別に見ると、女性は「すぐ利用する」が男性より3.2ポイント高くなっています。

年齢別に見ると、「すぐ利用する」は50～59歳が52.3%で最も高く、年齢が上がるにつれて低下しています。

家族構成別に見ると、「すぐ利用する」<利用する>は夫婦のみが最も高く、一人暮らしが最も低くなっています（図表1-35）。

図表1-35 福祉サービスを利用するか

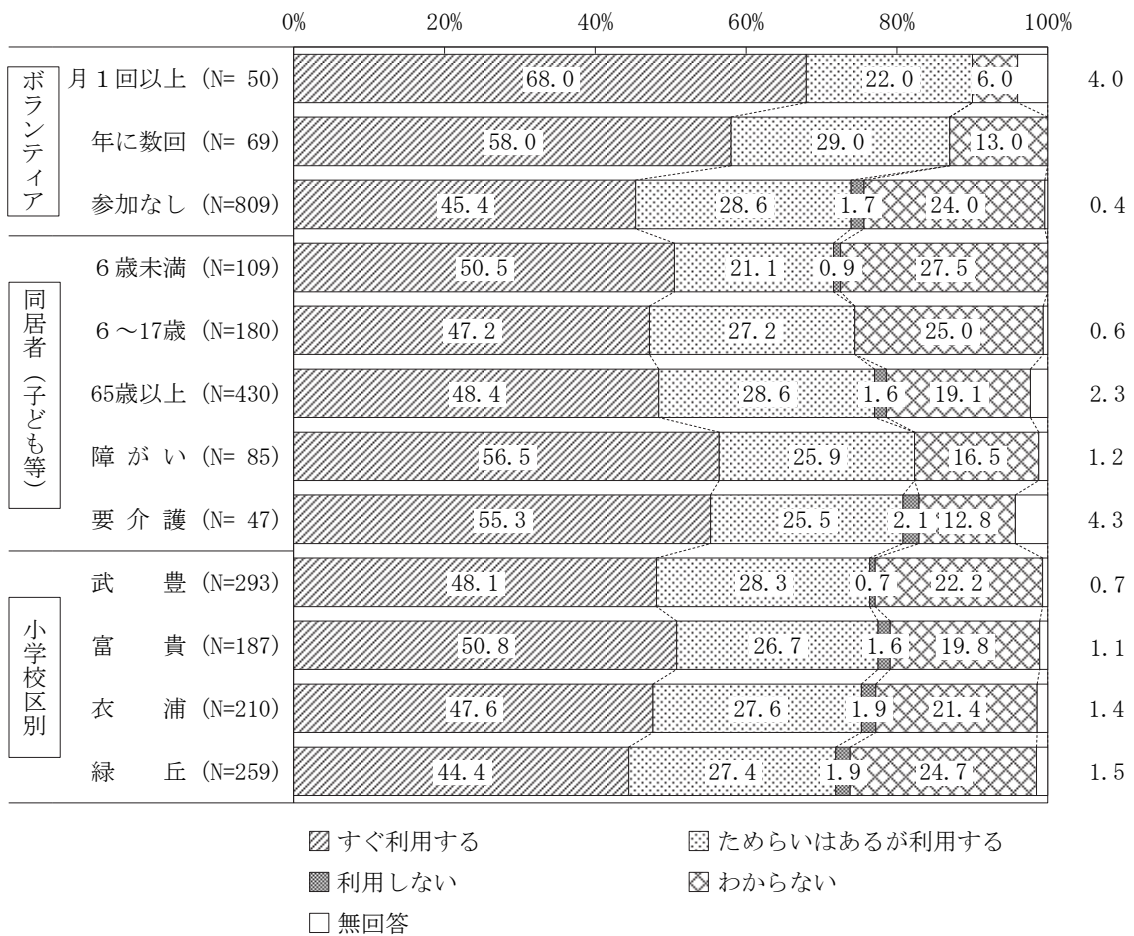


ボランティア活動の状況別で見ると、＜利用する＞は参加していない人が74.0%で最も低く、活動頻度が高いほど高く、月1回以上は90.0%となっています。参加していない人では、「わからない」が24.0%あります。

同居者別に見ると、＜利用する＞は障がいのある人のいる世帯、要介護のいる世帯で高く、80%を上回っています。

小学校区別では、大きな違いはありませんが、「わからない」は緑丘が比較的高くなっています（図表1-36）。

図表1-36 福祉サービスを利用するか（ボランティア活動の状況別・同居者別・小学校区別）



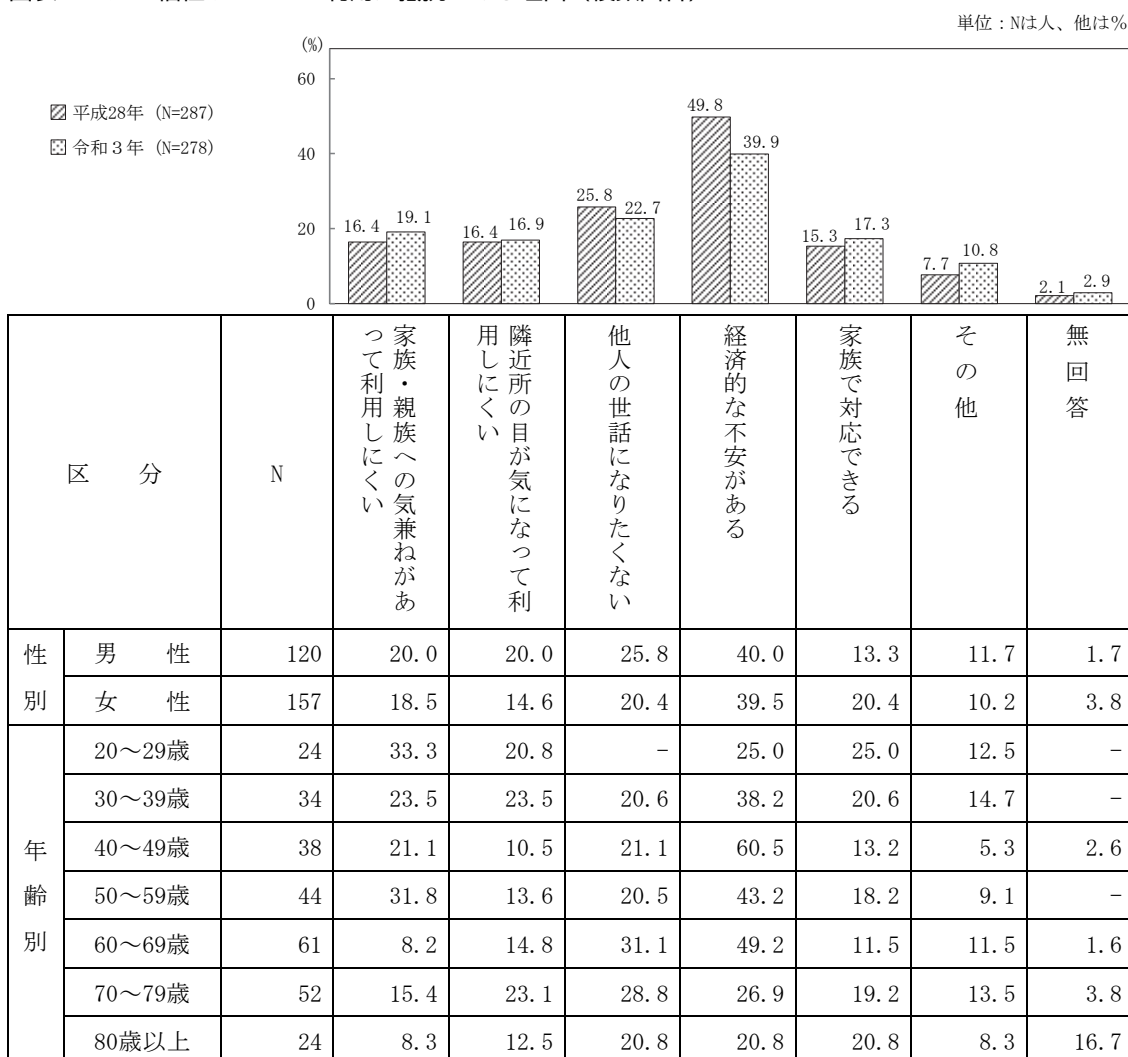
(3) 福祉サービスの利用に抵抗がある理由 [問18]

前問で「ためらいはあるが利用する」または「利用しない」と答えた人に、その理由をたずねたところ、「経済的な不安がある」が39.9%と最も高く、次いで「他人の世話になりたくない」が22.7%となっています。平成28年と比べると、傾向は大きく変わりませんが、「経済的な不安がある」が9.9ポイント低下し、「家族・親族への気兼ねがあって利用しにくい」「家族で対応できる」が2ポイント以上高くなっています。

性別に見ると、男女ともに「経済的な不安がある」が最も高くなっています。男性は女性に比べて「隣近所の目が気になって利用しにくい」「他人の世話になりたくない」が高く、女性は男性より「家族で対応できる」が高くなっています。

年齢別に見ると、20～29歳は「家族・親族への気兼ねがあって利用しにくい」が最も高く、70～79歳は「他人の世話になりたくない」が高く、そのほかは「経済的な不安がある」が最も高くなっています。80歳以上は「経済的な不安がある」「他人の世話になりたくない」「家族で対応できる」が20.8%で並んでいます（図表1-37）。

図表1-37 福祉サービスの利用に抵抗がある理由（複数回答）



家族構成別では、その他の世帯は「他人の世話になりたくない」が最も高く、そのほかは「経済的な不安がある」が最も高くなっています。三世帯世帯は、他の世帯に比べて、「隣近所の目が気になって利用しにくい」「家族で対応できる」が高くなっています。

同居者別に見ると、6歳未満の子のいる世帯は突出した項目はありません。要介護者のいる世帯は「他人の世話になりたくない」が最も高く、そのほかは「経済的な不安がある」が最も高くなっています。

小学校区別に見ると、いずれも「経済的な不安がある」が最も高くなっています（図表1-38）。

図表1-38 福祉サービスの利用に抵抗がある理由（家族構成別・同居者別、小学校区別、複数回答）

単位：Nは人、他は%

区 分		N	家族・親族への気兼ねがあ って利用しにくい	隣近所の目が気になって利 用しにくい	他人の世話になりたくない	経済的な不安がある	家族で対応できる	そ の 他	無 回 答
家族 構 成 別	一人暮らし	35	22.9	14.3	22.9	48.6	5.7	8.6	11.4
	夫婦のみ	86	17.4	16.3	23.3	38.4	12.8	11.6	2.3
	二世帯世帯	126	19.0	17.5	22.2	41.3	22.2	8.7	1.6
	三世帯世帯	24	20.8	25.0	12.5	37.5	25.0	20.8	-
	そ の 他	6	16.7	-	50.0	-	16.7	16.7	-
同居者 (子ども等)	6歳未満	24	25.0	20.8	16.7	25.0	25.0	8.3	-
	6～17歳	49	16.3	16.3	14.3	53.1	16.3	12.2	2.0
	65歳以上	130	16.2	19.2	23.8	35.4	16.9	12.3	4.6
	障 がい	22	18.2	22.7	31.8	40.9	18.2	22.7	-
	要 介 護	13	23.1	15.4	46.2	38.5	-	23.1	-
小 学 校 区 別	武 豊	85	25.9	11.8	18.8	36.5	15.3	10.6	2.4
	富 貴	53	17.0	24.5	24.5	47.2	18.9	9.4	-
	衣 浦	62	24.2	21.0	22.6	43.5	12.9	14.5	3.2
	緑 丘	76	9.2	14.5	26.3	35.5	22.4	7.9	5.3

「その他」として、図表1-39の内容が記載されていました。

図表1-39 福祉サービスの利用に抵抗がある理由（その他）

- ・なんとなく。(2件)
- ・なんとなく申し訳ないような気がする。
- ・自分がお世話になって良いかまよう。
- ・必要な人はもっといるので、自分としてはためらいがある。
- ・どの状態で利用するのかの基準での迷い。
- ・不信感。
- ・利用方法が分からないので。
- ・相談窓口がわからない。
- ・細かな内容がわからない。
- ・なにがあって、なにが利用できるかわからない。
- ・手続きなどが大変そう。
- ・手続きがめんどろ。
- ・耳の障がいがあるため。
- ・家族で無理な場合は利用したい。
- ・考えたすえに利用したい。
- ・一歩踏み出すのに勇気が必要。そこまでして…と少し面倒に思ってしまう。
- ・他に対応の方法がない。
- ・本人と意見が合わない場合。
- ・決断するまでいろいろ知りたい。
- ・人と話すとき疲れる。疲れや体調で他者に対応できないが、一人で介護できないので利用している。
- ・福祉サービス内容を検討した上で考えたい。
- ・ずっとそばに居られなくなる。
- ・家族でできることはしたい。
- ・本人がいやがる。
- ・役場の方が不愛想な時があり行きづらい。相談しにくい。

4 ボランティア活動について

(1) 武豊町ボランティアセンターの認知度 [問19]

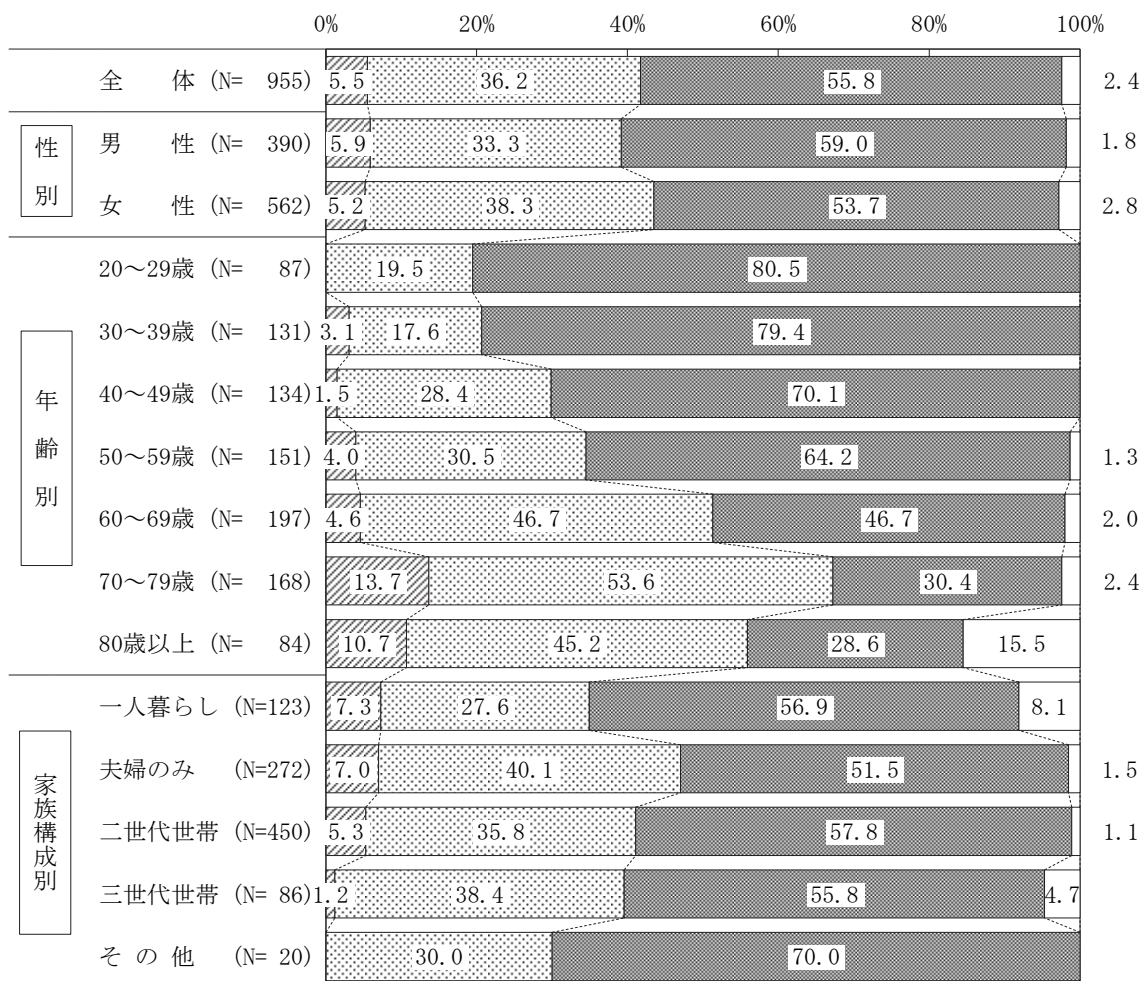
「武豊町ボランティアセンター」は、ボランティア活動を円滑に行うために設置されている機関です。武豊町思いやりセンター内に設置され、ボランティア団体の支援、活動のコーディネート、情報の発信などを行っています。

この武豊町ボランティアセンターについてたずねたところ、「知らない」が55.8%を占めています。「どんな活動をしているかよく知っている」が5.5%、「名称だけ知っている」が36.2%、合計した認知度は41.7%となっています。

認知度は男性が39.2%、女性が43.5%と女性が4.3ポイント高くなっています。

年齢別に見ると、認知度は年齢が上がるにつれて高くなる傾向にあり、70～79歳では67.3%となっています。

図表1-40 武豊町ボランティアセンターの認知度



- ▨ どんな活動をしているかよく知っている
- ▤ 名称だけ知っている
- 知らない
- 無回答

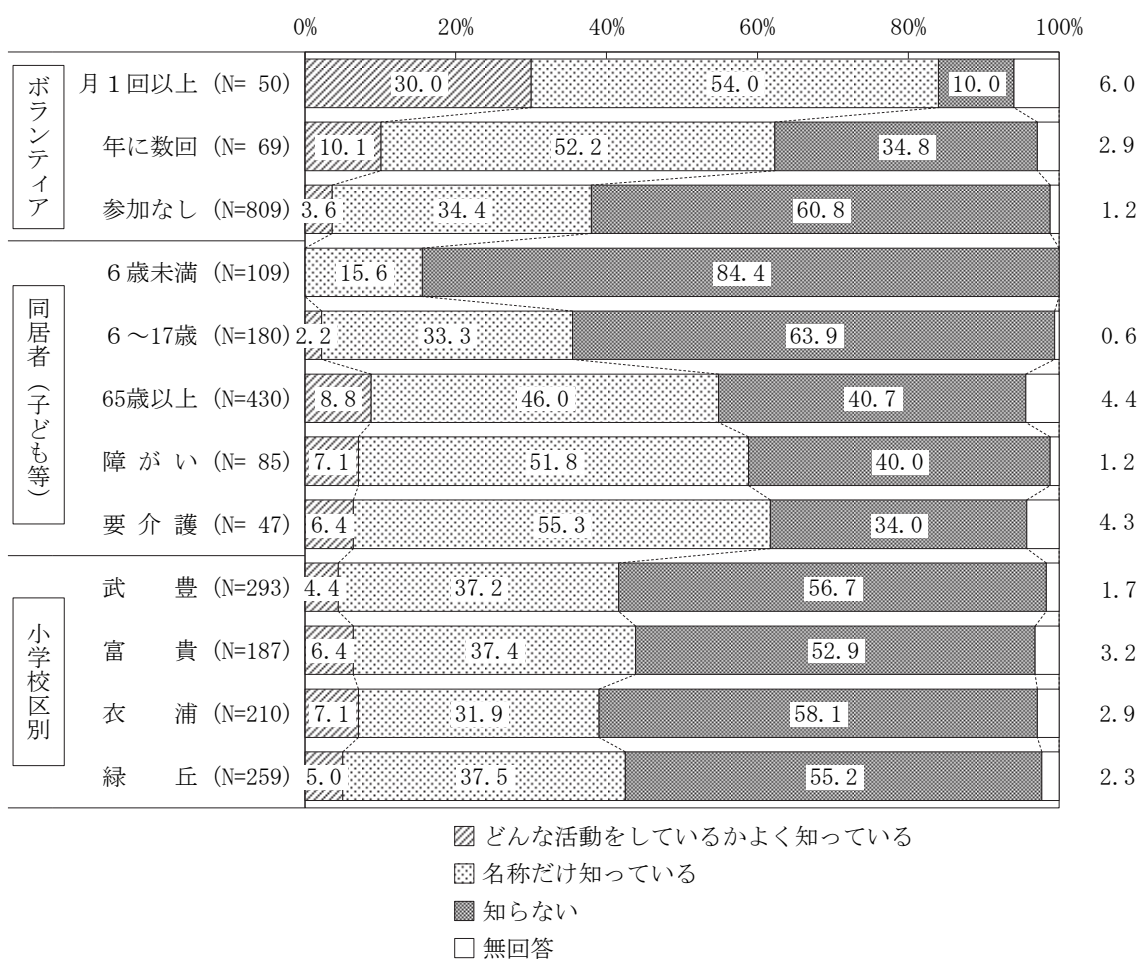
家族構成別に見ると、認知度は夫婦のみが最も高くなっています（図表1-40）。

ボランティア活動の状況別に見ると、認知度は月1回以上活動している人が84%と高いのに対し、参加経験のない人では38.0%にとどまっています。

同居者別に見ると、認知度は6歳未満の子のいる世帯は15.6%と低く、高齢者、障がいのある人、要介護者のいる世帯は50%を上回っています。

小学校区別に見ると、大きな違いは見られませんが、衣浦の認知度が40%を下回っています（図表1-41）。

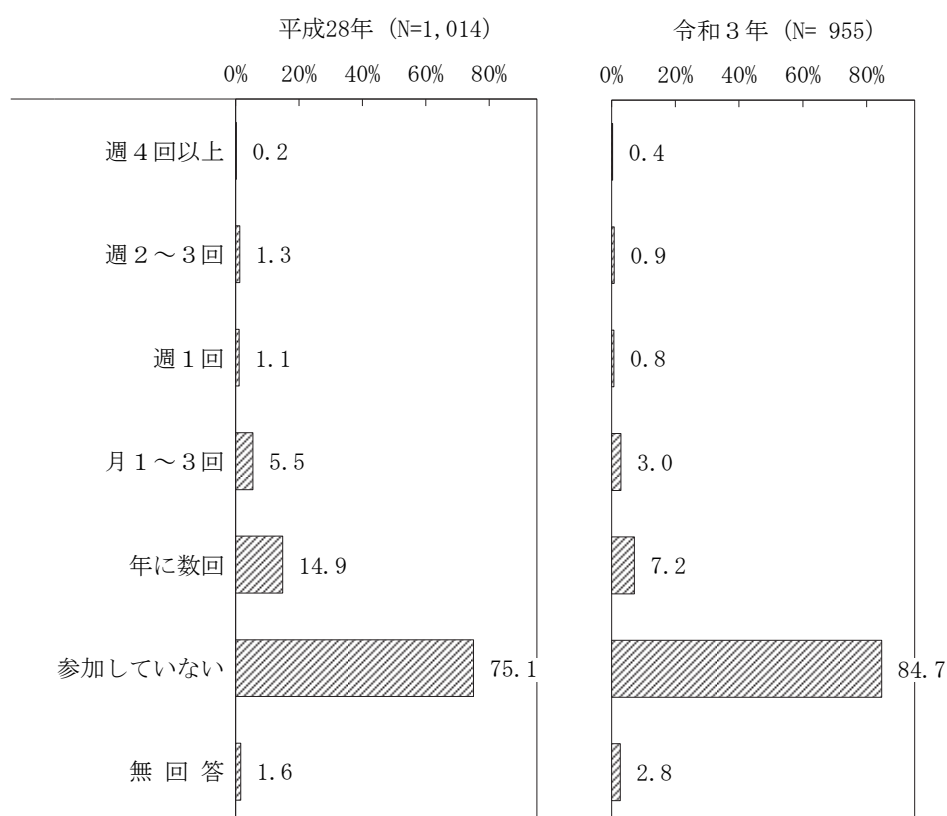
図表1-41 ボランティアセンターの認知度（ボランティア活動の状況別・同居者別・小学校区別）



(2) ボランティア活動への参加状況【問20】

ボランティア活動への参加状況は、全体では「参加していない」が84.7%を占めています。次いで「年に数回」(7.2%)、「月1～3回」(3.0%)、「週2～3回」(0.9%)、「週1回」(0.8%)、「週4回以上」(0.4%)となっており、これらを合計した<参加している>は12.3%となります。平成28年に比べると、<参加している>は10.7ポイント低下し、「参加していない」が9.6ポイント高くなっています(図表1-42)。

図表1-42 ボランティア活動への参加状況



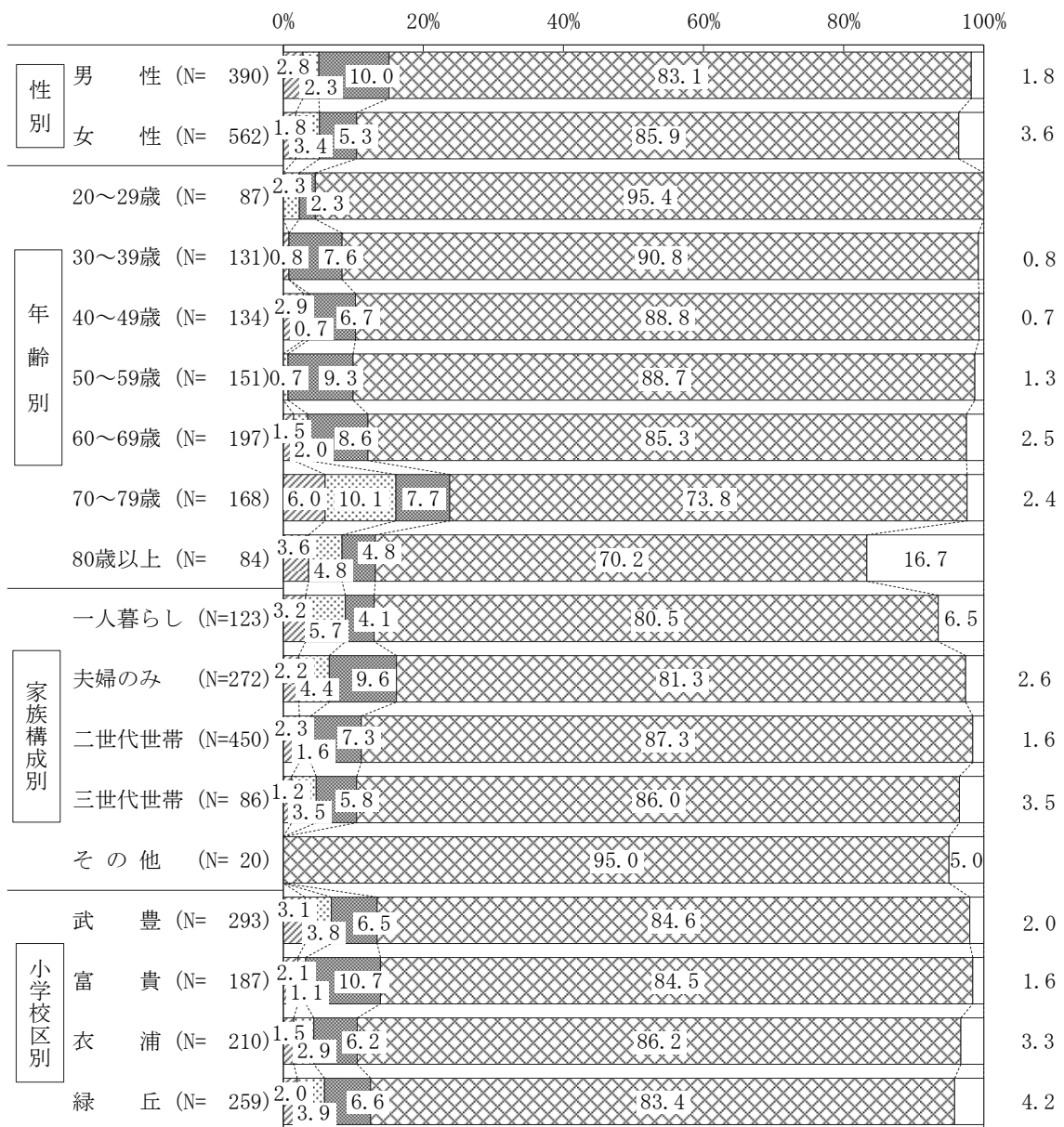
性別に見ると、＜参加している＞は男性が15.1%、女性が10.5%となっています。男性は「年に数回」が10.0%と女性より4.7ポイント高くなっています。

年齢別に見ると、＜参加している＞は70～79歳が23.8%と最も高く、20～29歳が4.6%で最も低くなっています。また、70～79歳は比較的参加頻度の多い「週1回以上」「月1～3回」が、他の年齢層に比べて高くなっています。

家族構成別に見ると、＜参加している＞は夫婦のみが16.2%と最も高く、次いで一人暮らしの13.0%となっています。

小学校別では、ほとんど違いは見られません（図表1-43）。

図表1-43 ボランティア活動への参加状況



■ 週1回以上 ■ 月1～3回 ■ 年に数回 ■ 参加していない □ 無回答

(注) 「週4回以上」「週2～3回」「週1回」をまとめて＜週1回以上＞として表示した

(3) ボランティア活動への参加意向 [問21]

ボランティア活動への参加意向は、全体では「機会があれば参加したい」が46.3%で最も高く、これに「できるだけ参加したい」「ぜひ参加したい」を合わせた＜参加意向＞は52.2%です。「参加できない」が28.8%、「参加したくない」が17.3%となっています。平成28年と比べると、＜参加意向＞は2.0ポイント低下しています。

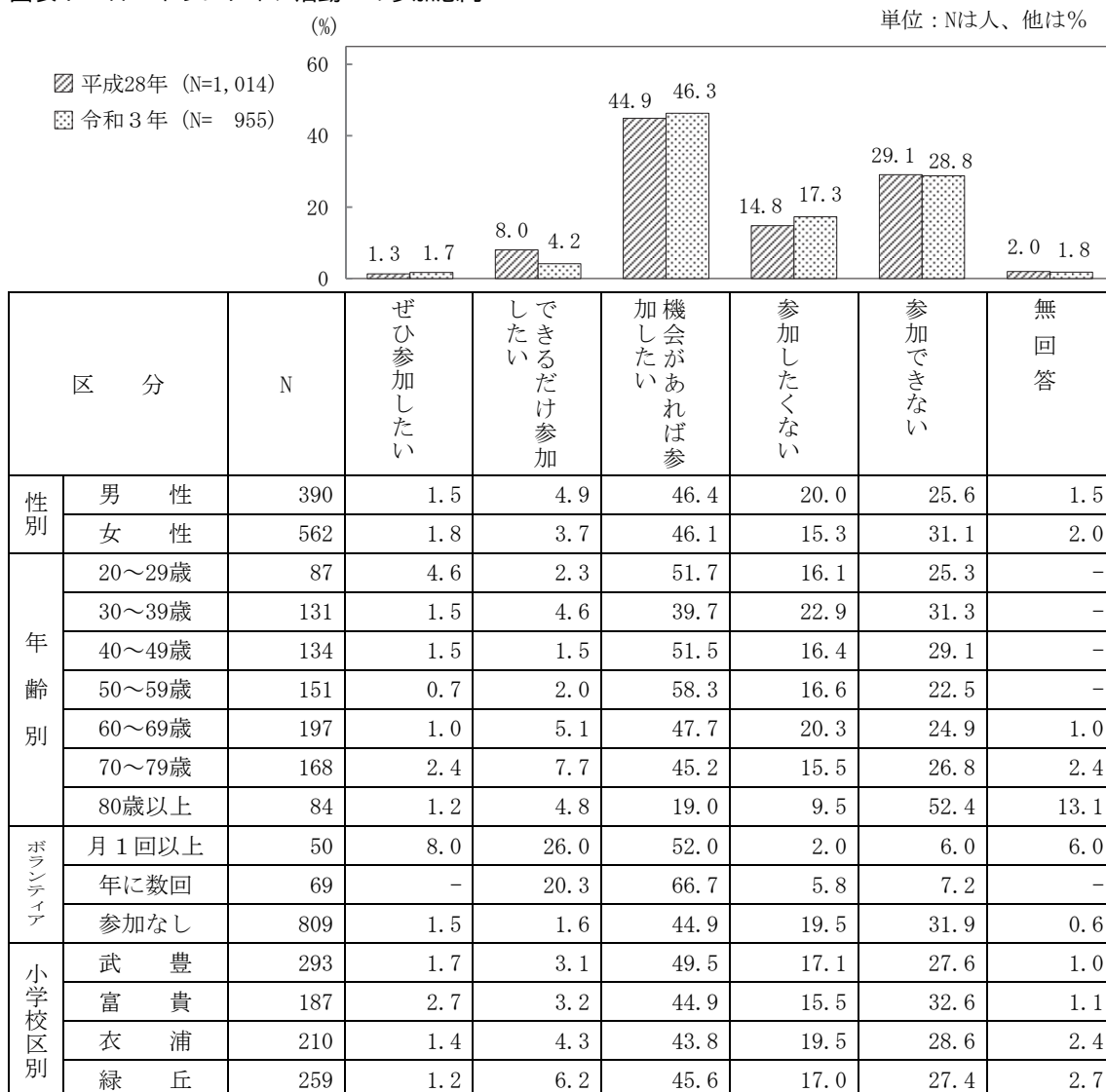
性別に見ると、＜参加意向＞はほぼ同じですが、男性は女性に比べて「参加したくない」が高く、女性は男性に比べて「参加できない」が高くなっています。

年齢別に見ると、「参加できない」が高い80歳以上を除いた中では、＜参加意向＞は50～59歳が最も高く、30～39歳が最も低くなっています。

ボランティア活動の状況別に見ると、参加経験のない人の48.0%に比べると、参加経験のある人は86～87%と非常に高くなっています。

小学校区別では大きな違いは見られませんが、武豊が54.3%でやや高くなっています。

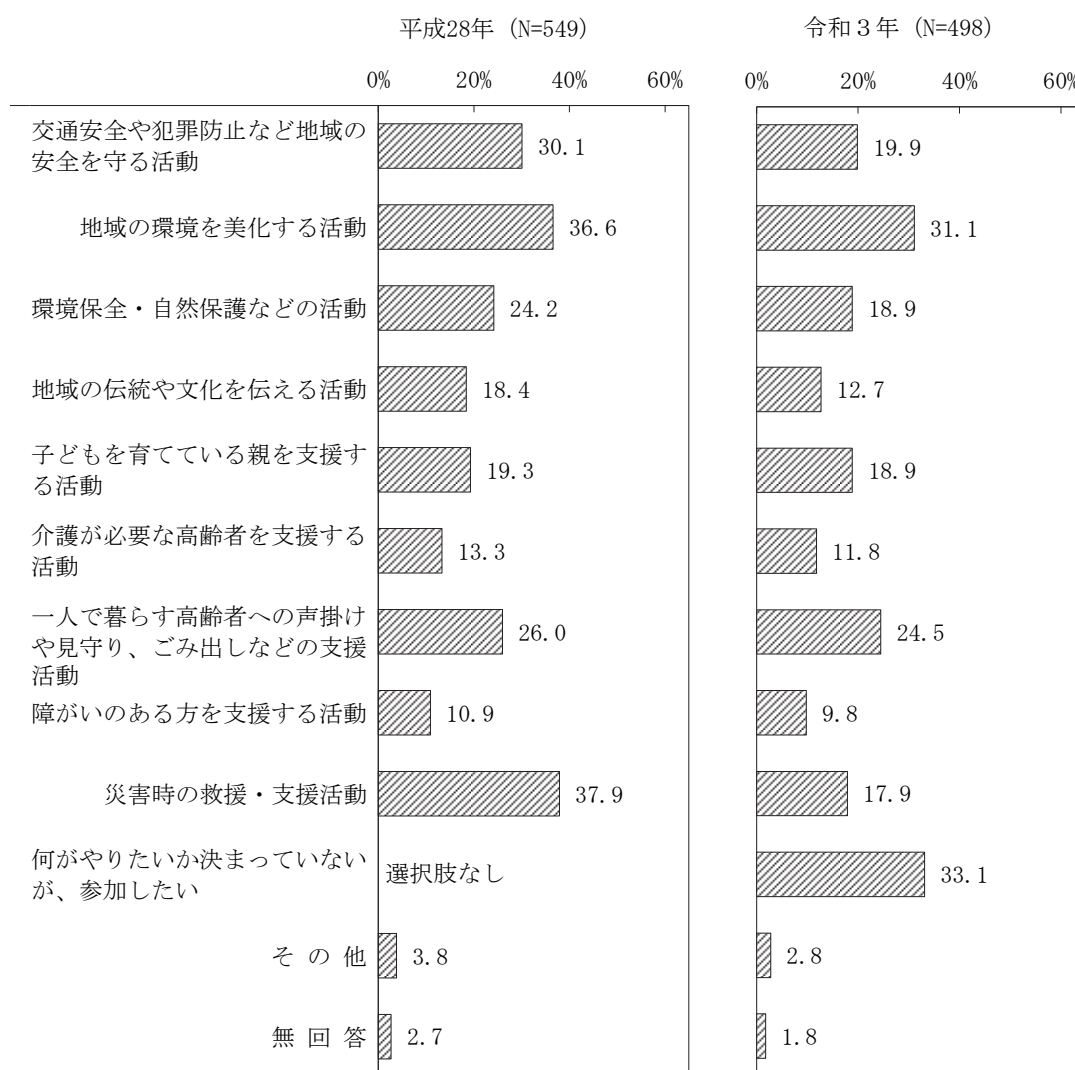
図表1-44 ボランティア活動への参加意向



(4) 参加したいボランティア活動【問22】

前問で「1. ぜひ参加したい」「2. できるだけ参加したい」または「3. 機会があれば参加したい」と答えた人に、参加したいボランティア活動をたずねたところ、新たに選択肢として設けた「何がやりたいか決まっていないが、参加したい」が33.1%と最も高くなっています。「地域の環境を美化する活動」「一人で暮らす高齢者への声掛けや見守り、ごみ出しなどの支援活動」も20%を上回っています（図表1-45）。

図表1-45 参加したいボランティア活動（複数回答）



性別に見ると、男性は「地域の環境を美化する活動」「交通安全や犯罪防止など地域の安全を守る活動」が30%以上と高く、女性は「何がやりたいか決まっていないが、参加したい」が最も高くなっています。男性は女性に比べて「交通安全や犯罪防止など地域の安全を守る活動」「環境保全・自然保護などの活動」が10ポイント以上高く、女性は「何がやりたいか決まっていないが、参加したい」「子どもを育てている親を支援する活動」「介護が必要な高齢者を支援する活動」「一人で暮らす高齢者への声掛けや見守り、ごみ出しなどの支援活動」が10ポイント以上高くなっています。

年齢別では、30～39歳「子どもを育てている親を支援する活動」が最も高く、40～49歳、80歳以上は「地域の環境を美化する活動」が最も高くなっています。そのほかは「何がやりたいか決まっていないが、参加したい」が最も高くなっています(図表1-46)。

図表1-46 参加したいボランティア活動(属性別、複数回答)

単位：Nは人、他は%

区分	N	交通安全や犯罪防止など地域の安全を守る活動	地域の環境を美化する活動	環境保全・自然保護などの活動	地域の伝統や文化を伝える活動	子どもを育てている親を支援する活動	介護が必要な高齢者を支援する活動	一人暮らし高齢者への声掛けや見守り、ごみ出しなどの支援活動	障がいのある方を支援する活動	災害時の救援・支援活動	参加したい	何がやりたいか決まっていないが、参加したい	その他	無回答
性別	男性	206	30.1	34.5	25.7	17.0	11.7	5.8	17.5	6.3	18.4	27.2	3.4	1.9
	女性	290	12.8	28.6	13.8	9.7	24.1	16.2	29.7	12.4	17.6	37.2	2.4	1.7
年齢別	20～29歳	51	17.6	19.6	7.8	7.8	23.5	11.8	17.6	5.9	19.6	37.3	5.9	-
	30～39歳	60	23.3	36.7	28.3	18.3	43.3	13.3	21.7	13.3	23.3	30.0	-	-
	40～49歳	73	19.2	32.9	23.3	13.7	21.9	12.3	28.8	11.0	23.3	26.0	1.4	1.4
	50～59歳	92	15.2	23.9	17.4	12.0	19.6	16.3	20.7	14.1	22.8	34.8	1.1	-
	60～69歳	106	21.7	32.1	20.8	11.3	17.9	13.2	32.1	8.5	11.3	33.0	0.9	0.9
	70～79歳	93	23.7	34.4	16.1	12.9	1.1	6.5	23.7	5.4	12.9	36.6	7.5	3.2
	80歳以上	21	14.3	52.4	14.3	9.5	9.5	4.8	19.0	14.3	9.5	33.3	4.8	19.0
ボランティア	月1回以上	43	11.6	37.2	25.6	30.2	11.6	4.7	32.6	9.3	14.0	20.9	18.6	4.7
	年に数回	60	36.7	56.7	25.0	21.7	18.3	5.0	18.3	5.0	21.7	16.7	1.7	1.7
	参加なし	388	18.3	26.3	17.3	9.5	19.8	13.7	24.5	10.3	17.8	36.9	1.3	1.5
小学校区別	武豊	159	21.4	25.2	18.9	11.9	18.9	11.3	21.4	8.8	14.5	33.3	1.9	2.5
	富貴	95	21.1	41.1	16.8	15.8	20.0	13.7	30.5	9.5	18.9	30.5	2.1	1.1
	衣浦	104	21.2	32.7	21.2	11.5	23.1	14.4	27.9	8.7	20.2	28.8	4.8	1.9
	緑丘	137	16.8	30.7	19.0	12.4	15.3	9.5	21.2	12.4	19.7	37.2	2.9	1.5

ボランティア活動の状況別に見ると、参加経験のない人は「何がやりたいか決まってい
ないが、参加したい」が最も高く、参加経験のある人は「地域の環境を美化する活動」
が最も高くなっています。

小学校区別では、いずれの校区も「地域の環境を美化する活動」「何がやりたいか決
まってい
ないが、参加したい」の2項目が上位を占めています。富貴は「一人で暮らす
高齢者への声掛けや見守り、ごみ出しなどの支援活動」も30%以上となっています（図
表1-46）。

「その他」として、図表1-47の内容が記載されていました。

図表1-47 参加したいボランティア活動（その他）

- ・子ども食堂があれば、そこに食品の支援。
- ・子どもの勉強を見てあげたい。
- ・学校生活での悩み（不登校、行き渋り）を抱えている親とその子に関わる活動。
- ・例えば無料塾のような学習支援。
- ・子ども達への実用的知識、人間性。
- ・マジックで人を喜ばせる。
- ・介護施設等の訪問、音楽等を通して。
- ・遠くはダメ、近くの掃除、草取り。
- ・日時を限定されないこと。高齢のため。
- ・いずれ時間ができたら参加したい。
- ・自分の体力を考慮しながら。
- ・10数年のボランティア活動で、そろそろ休もうという気持ちもある。
- ・私がされる方だと思う。

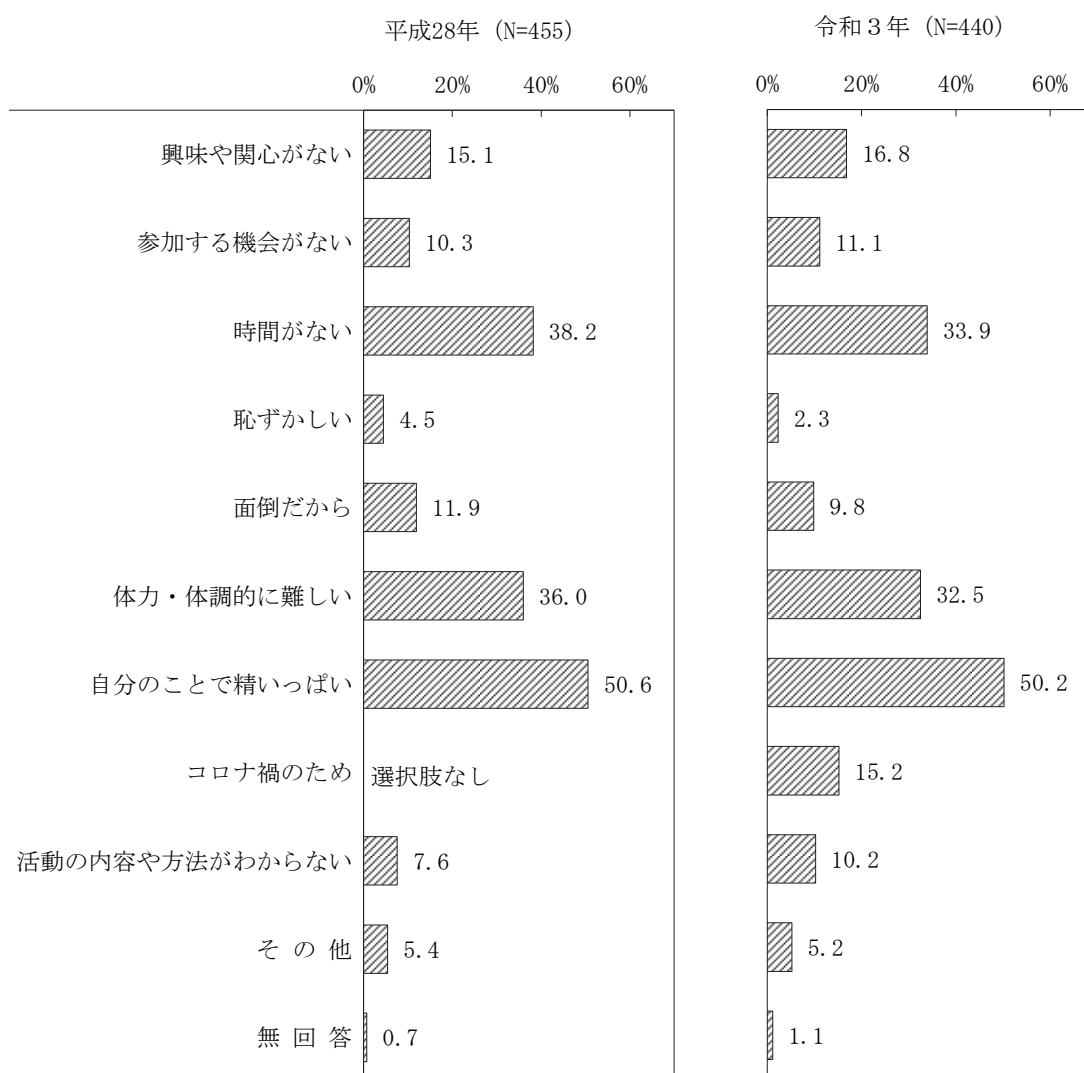
(5) ボランティア活動に参加しない理由 [問23]

(3)でボランティア活動に「参加したくない」または「参加できない」と答えた人にその理由をたずねたところ、「自分のことで精いっぱい」が50.2%と最も高く、「時間がない」「体力・体調的に難しい」も30%以上の比較的高い割合となっています。平成28年と比べると、ほぼ同様の傾向となっています。今回調査で新たに設けた選択肢の「コロナ禍のため」は15.2%です（図表1-48）。

性別に見ると、上位3項目は男女とも同じですが、男性は「興味や関心がない」が女性より7.0ポイント高く、女性は「参加する機会がない」「体力・体調的に難しい」が男性より6ポイント以上高くなっています。

年齢別に見ると、20～29歳、50～59歳は「時間がない」の割合が最も高く、30～49歳、60～69歳は「自分のことで精いっぱい」が最も高くなっています。70歳以上では「体力・体調的に難しい」の割合が最も高くなっています（図表1-49）。

図表1-48 ボランティア活動に参加しない理由（複数回答）



家族構成別、小学校区別では、いずれも「自分のことで精いっぱい」が最も高くなっています（図表1-49）。

「その他」として、図表1-50の内容が記載されていました。

図表1-49 ボランティア活動に参加しない理由（属性別、複数回答） 単位：Nは人、他は%

区 分		N	興味や関心がない	参加する機会がない	時間がない	恥ずかしい	面倒だから	体力・体調的に難しい	自分のことで精いっぱい	コロナ禍のため	知らない	活動の内容や方法がわからない	その他	無回答
性別	男性	178	20.8	7.3	33.7	2.8	12.4	28.7	50.6	13.5	10.1	6.7	1.1	
	女性	261	13.8	13.8	34.1	1.9	8.0	35.2	50.2	16.5	10.3	4.2	1.1	
年齢別	20～29歳	36	25.0	27.8	58.3	-	19.4	5.6	36.1	19.4	8.3	8.3	-	
	30～39歳	71	21.1	16.9	52.1	-	14.1	11.3	59.2	21.1	15.5	9.9	-	
	40～49歳	61	21.3	11.5	45.9	9.8	14.8	18.0	52.5	21.3	13.1	3.3	-	
	50～59歳	59	22.0	18.6	52.5	3.4	6.8	13.6	49.2	10.2	10.2	8.5	-	
	60～69歳	89	20.2	6.7	24.7	1.1	10.1	38.2	44.9	16.9	11.2	4.5	1.1	
	70～79歳	71	7.0	4.2	11.3	-	5.6	53.5	52.1	11.3	8.5	2.8	2.8	
	80歳以上	52	1.9	-	3.8	1.9	-	78.8	51.9	5.8	-	-	3.8	
家族構成別	一人暮らし	66	21.2	9.1	33.3	4.5	9.1	43.9	57.6	13.6	6.1	4.5	4.5	
	夫婦のみ	118	16.1	11.9	22.9	1.7	10.2	41.5	47.5	16.1	12.7	5.9	-	
	二世帯世帯	205	17.1	11.2	40.5	2.4	11.7	25.4	51.2	17.1	9.8	4.4	1.0	
	三世帯世帯	38	2.6	13.2	36.8	-	2.6	23.7	42.1	10.5	13.2	10.5	-	
	その他	11	36.4	9.1	27.3	-	-	27.3	45.5	-	-	-	-	
小学校区別	武 豊	131	19.8	10.7	30.5	2.3	9.9	30.5	45.0	13.7	10.7	2.3	0.8	
	富 貴	90	12.2	12.2	38.9	3.3	8.9	38.9	57.8	21.1	4.4	6.7	1.1	
	衣 浦	101	17.8	13.9	34.7	3.0	9.9	24.8	52.5	13.9	12.9	10.9	-	
	緑 丘	115	16.5	8.7	33.9	0.9	10.4	36.5	48.7	13.9	10.4	2.6	1.7	

図表1-50 ボランティア活動に参加しない理由（その他）

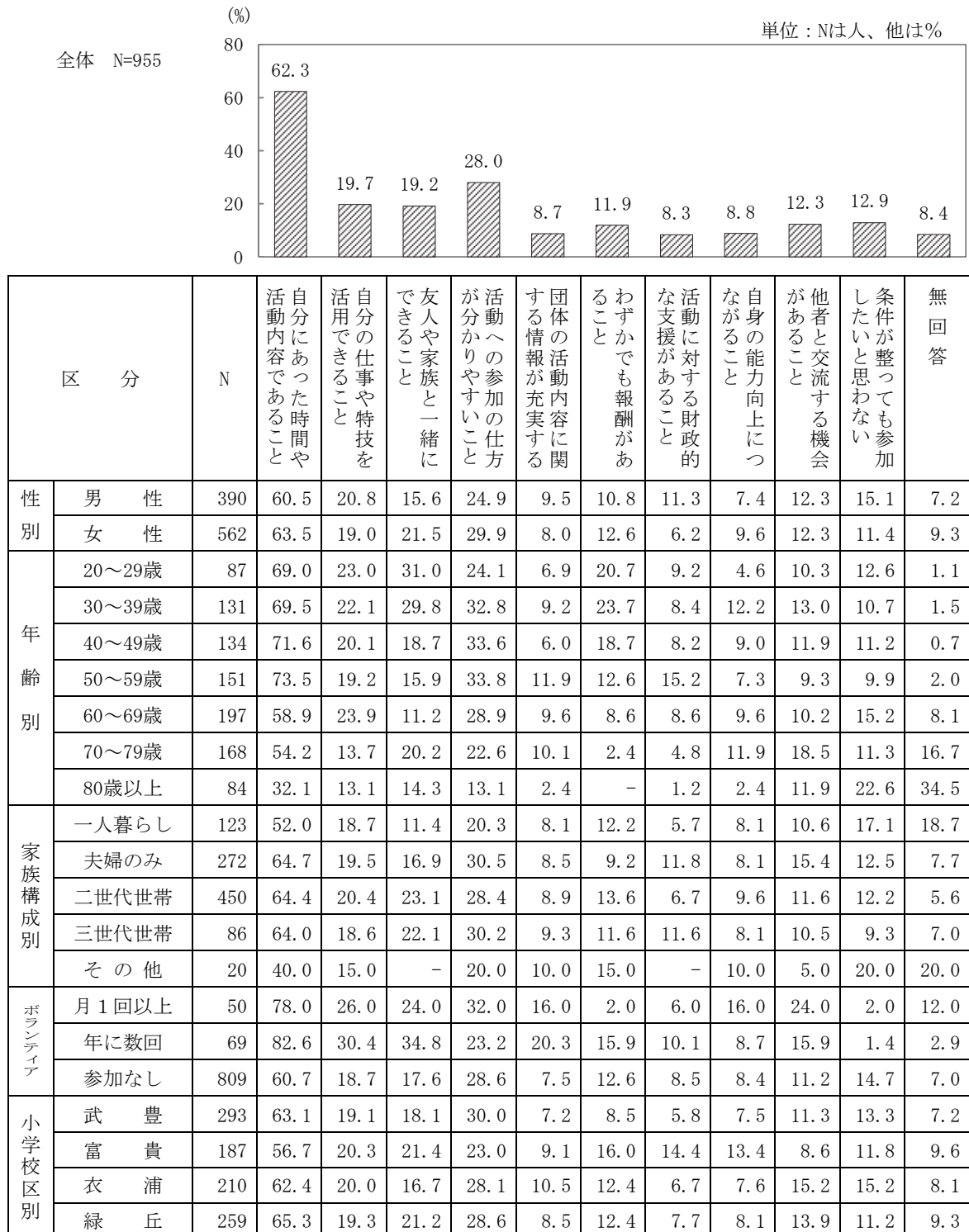
- ・親の介護と仕事で大変。
- ・自分の親の世話で大変なため。
- ・子育てで忙しい。（2件）
- ・小さな子どもがいる。
- ・子どもが小さく、見てもらえる人がいない。
- ・家で隣組の人に来てもらい週1回ストレッチ、筋トレを行っている。
- ・高齢のためできない。
- ・自分が病気中のため。
- ・狭心症のうたがい（5日入院で）
- ・腰痛で長時間立ってられない、重い物が持てない。
- ・仕事でやっている。試験勉強で時間がない。
- ・仕事のため。（2件）
- ・ボランティアのグループでルールが厳しいところがあるため。
- ・参加しているが、あまり意義を感じていない。
- ・他人との交流が苦手だから。
- ・他人とうまく関われない。
- ・ボランティアは無償の奉仕活動というイメージが広がっているが、本来自主的な活動であって、現状の世間のボランティアのイメージは間違っているから。人の労力には十分な対価を支払うべきだと思う。
- ・ボランティアという無報酬では参加する意味が見いだせないから。

(6) ボランティア活動の参加条件 [問24]

今後どのような条件が整えば、ボランティア活動に参加してみたいと思うかたずねたところ、「自分にあった時間や活動内容であること」が62.3%と突出しています。

属性別に見ても、すべて「自分にあった時間や活動内容であること」が最も高くなっています。

図表1-51 ボランティア活動の参加条件（3つまで）



男性は女性に比べて「活動に対する財政的な支援があること」が高く、女性は男性より「友人や家族と一緒にできること」「活動への参加の仕方が分かりやすいこと」が5ポイント以上高くなっていることが特徴としてあげられます。

年齢別では、20～29歳の「友人や家族と一緒にできること」、30～59歳の「活動への参加の仕方が分かりやすいこと」が30%以上となっています。

家族構成別では、夫婦のみ、三世帯世帯の「活動への参加の仕方が分かりやすいこと」が30%以上となっています。

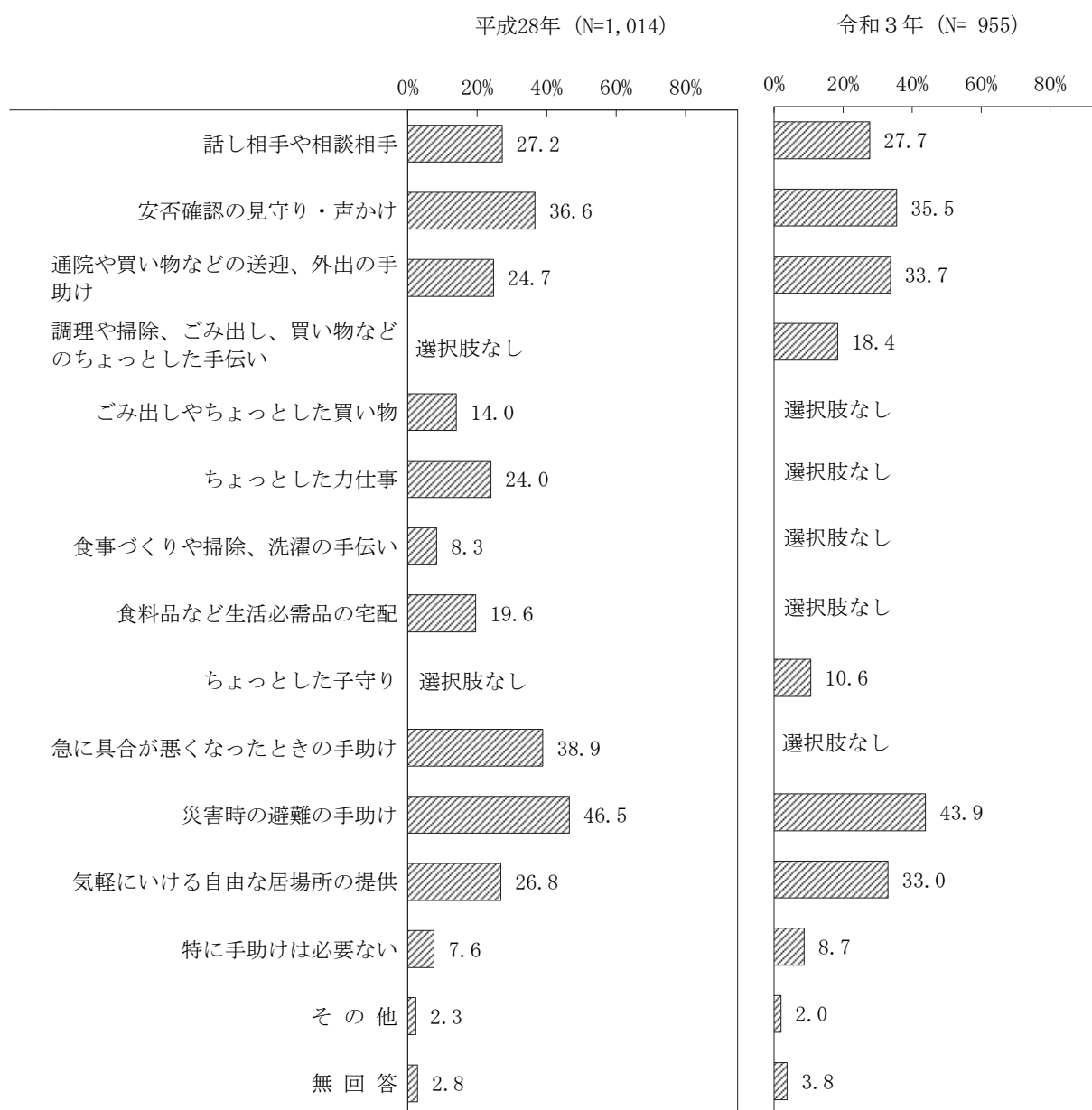
ボランティア活動の状況別では、年に数回参加している人の「自分の仕事や特技を活用できること」「友人や家族と一緒にできること」、月1回以上参加している人の「活動への参加の仕方が分かりやすいこと」が30%以上となっています。

小学校区別では、武豊の「活動への参加の仕方が分かりやすいこと」が30%です。

(7) 地域で安心して生活するために必要な支援 [問25]

住み慣れた地域で安心して生活するために、どのような手助けやサービスがあると、とても助かると思うかたずねたところ、「災害時の避難の手助け」が43.9%と最も高く、「安否確認の見守り・声かけ」「通院や買い物などの送迎、外出の手助け」「気軽にいける自由な居場所の提供」も30%以上です。今回調査では、平成28年調査と選択肢の変更を行ったため単純な比較はできませんが、「通院や買い物などの送迎、外出の手助け」「気軽にいける自由な居場所の提供」は6ポイント以上高くなっており、一層の高齢化、孤立化などへの対応が求められていると考えられます。

図表1-52 地域で安心して生活するために必要な支援（複数回答）



属性別に見ると、年齢別の80歳以上、ボランティア活動の参加状況別の月1回以上以外はすべて「災害時の避難の手助け」が最も高く、80歳以上は「通院や買い物などの送迎、外出の手助け」、ボランティアの月1回以上は「安否確認の見守り・声かけ」が最も高くなっています。そのほか、40～59歳、ボランティアの年に数回の「安否確認の見守り・声かけ」、ボランティアの月1回以上の「話し相手や相談相手」、ボランティアの月1回以上、衣浦小学校区の「気軽にいける自由な居場所の提供」も40%以上です。

図表1-53 地域で安心して生活するために必要な支援（属性別、複数回答） 単位：Nは人、他は%

区 分		N	話し相手や相談相手	安否確認の見守り・声かけ	通院や買い物などの送迎、外出の手助け	調理や掃除、ごみ出し、買い物などのちょっとした手伝い	ちょっとした子守り	災害時の避難の手助け	気軽にいける自由な居場所の提供	特に手助けは必要ない	その他	無回答
性別	男性	390	24.6	30.3	29.5	15.6	5.9	41.3	32.6	11.3	1.5	3.1
	女性	562	29.7	39.1	36.7	20.5	13.9	45.9	33.3	6.9	2.3	4.3
年齢別	20～29歳	87	27.6	24.1	24.1	20.7	25.3	43.7	36.8	9.2	1.1	1.1
	30～39歳	131	29.0	35.1	24.4	17.6	26.7	53.4	38.2	6.9	1.5	0.8
	40～49歳	134	31.3	41.0	34.3	22.4	15.7	49.3	35.8	9.7	3.7	1.5
	50～59歳	151	32.5	42.4	43.0	22.5	9.9	45.7	30.5	9.9	0.7	1.3
	60～69歳	197	21.8	34.5	35.5	17.8	3.0	39.1	35.0	8.1	0.5	4.6
	70～79歳	168	27.4	36.9	32.7	14.9	1.2	41.7	32.1	8.9	4.2	6.0
	80歳以上	84	27.4	27.4	36.9	13.1	-	32.1	19.0	8.3	2.4	13.1
家族構成別	一人暮らし	123	28.5	30.9	29.3	20.3	3.3	39.8	22.8	8.9	2.4	10.6
	夫婦のみ	272	23.5	35.3	36.8	18.0	5.5	40.1	35.3	8.8	1.5	4.0
	二世帯世帯	450	30.0	37.1	32.2	18.4	15.1	46.9	34.2	8.2	1.8	2.0
	三世帯世帯	86	30.2	38.4	37.2	18.6	16.3	48.8	39.5	9.3	4.7	-
	その他	20	25.0	20.0	35.0	15.0	-	35.0	15.0	10.0	-	15.0
ボランティア	月1回以上	50	48.0	54.0	38.0	6.0	6.0	34.0	42.0	10.0	8.0	4.0
	年に数回	69	26.1	42.0	27.5	10.1	14.5	47.8	34.8	7.2	-	-
	参加なし	809	26.8	34.4	34.1	20.4	10.9	44.5	33.3	8.7	1.7	3.5
小学校区別	武 豊	293	24.9	31.7	28.7	15.0	10.2	40.6	28.3	11.9	1.7	4.4
	富 貴	187	27.8	38.5	36.9	23.5	12.3	50.3	33.7	9.1	2.7	2.1
	衣 浦	210	31.4	39.0	33.3	19.0	11.9	42.4	40.0	6.7	3.3	3.3
	緑 丘	259	27.4	34.7	37.1	18.5	8.5	44.4	31.7	6.2	0.8	4.6

「その他」として、図表1-54の内容が記載されていました。

図表1-54 地域で安心して生活するために必要な支援（その他）

- ・現在は自分で行動できるから大丈夫ですが、病気等がひどくなったりすると不安に思います。例えば夫が具合悪くなった時とか、私の体力ではできないかなと思っています。
- ・終活のため整理、特に大物の廃棄（机、ベッド、本箱等）。
- ・1対1のサービスではなく、行ける数名対高齢者1人だけで高齢者はうれしいと思う。
- ・障がい者に対する理解、優しさ。
- ・同世代の障がい児家族との交流。
- ・徘徊や行方不明になった時の地域や行政を介しての情報の共有、またはメール等での呼びかけ。
- ・こまめに一人暮らしの方の家に顔を出し声掛け、車でないとごみ出しできないことからごみ袋をおろすのも何度もよく見ます。
- ・体調不良時に、介護を手伝ってくれると助かります。
- ・狭くていいから人の顔を見て自由におしゃべりができる場所（自分の家からなるべく近い）が何か所も町内にあるといいかも。
- ・すべての場所に老人の集まれる所。
- ・子どもがとなりに住んでいるから。
- ・まだ自分で頑張っています。
- ・今は自由に働けるので別になし。
- ・今は自分のことができるが年が経つにつれて心配。
- ・今の年齢では。
- ・自分で運転できるので、まだ手助け等の必要を感じない。
- ・まだわからない。

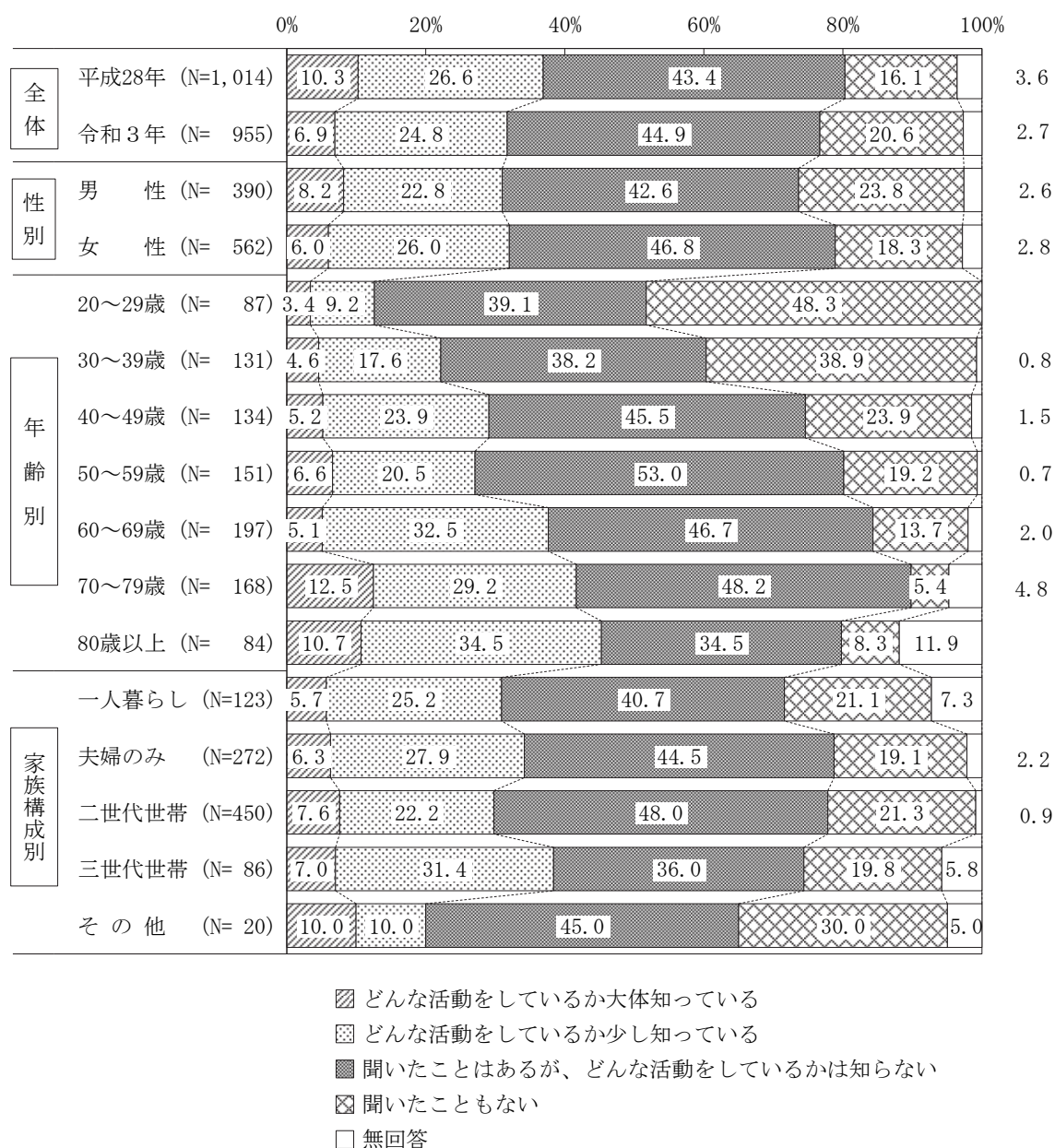
5 武豊町社会福祉協議会について

(1) 武豊町社会福祉協議会の認知度 [問26]

武豊町社会福祉協議会の認知度は、「どんな活動をしているか大体知っている」(6.9%)と「どんな活動をしているか少し知っている」(24.8%)を合計した<知っている>が31.7%です。「聞いたことはあるが、どんな活動をしているかは知らない」は44.9%と最も高く、「聞いたこともない」は20.6%となっています。

平成28年と比べると、<知っている>が5.2ポイント低下し、「聞いたこともない」が4.5ポイント高くなっています(図表1-55)。

図表1-55 武豊町社会福祉協議会の認知度



性別に見ると、〈知っている〉は男女でほぼ同じですが、「聞いたこともない」は男性が女性を5.5ポイント上回っています。

年齢別に見ると、20～29歳では「聞いたこともない」が48.3%を占めていますが、年齢が上がるほど低くなる傾向にあり、〈知っている〉は高くなっています。

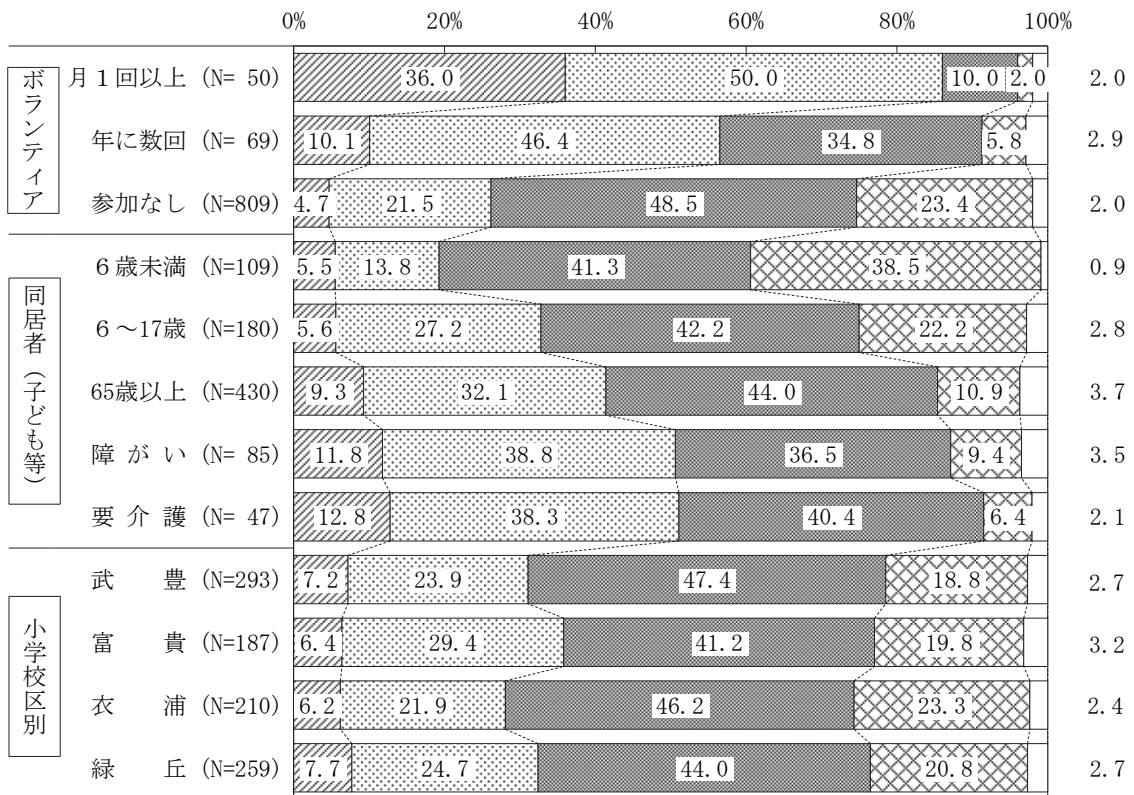
家族構成別に見ると、〈知っている〉は三世帯世帯が最も高くなっています（図表1-55）。

ボランティア活動の状況別に見ると、月1回以上参加している人は〈知っている〉が86.0%となっているのに対し、参加していない人は26.2%と、約60ポイントの開きがあります。

同居者別に見ると、〈知っている〉は障がいのある人や要介護者のいる世帯が50%を上回っているのに対し、6歳未満の子、6～17歳の子など、子どものいる世帯は19.3%、32.8%と低率にとどまっています。

小学校区別に見ると、大きな開きは見られませんが、〈知っている〉は富貴が35.8%と最も高く、衣浦が28.1%と最も低くなっています（図表1-56）。

図表1-56 武豊町社会福祉協議会の認知度（ボランティア活動の状況別・同居者別・小学校区別）



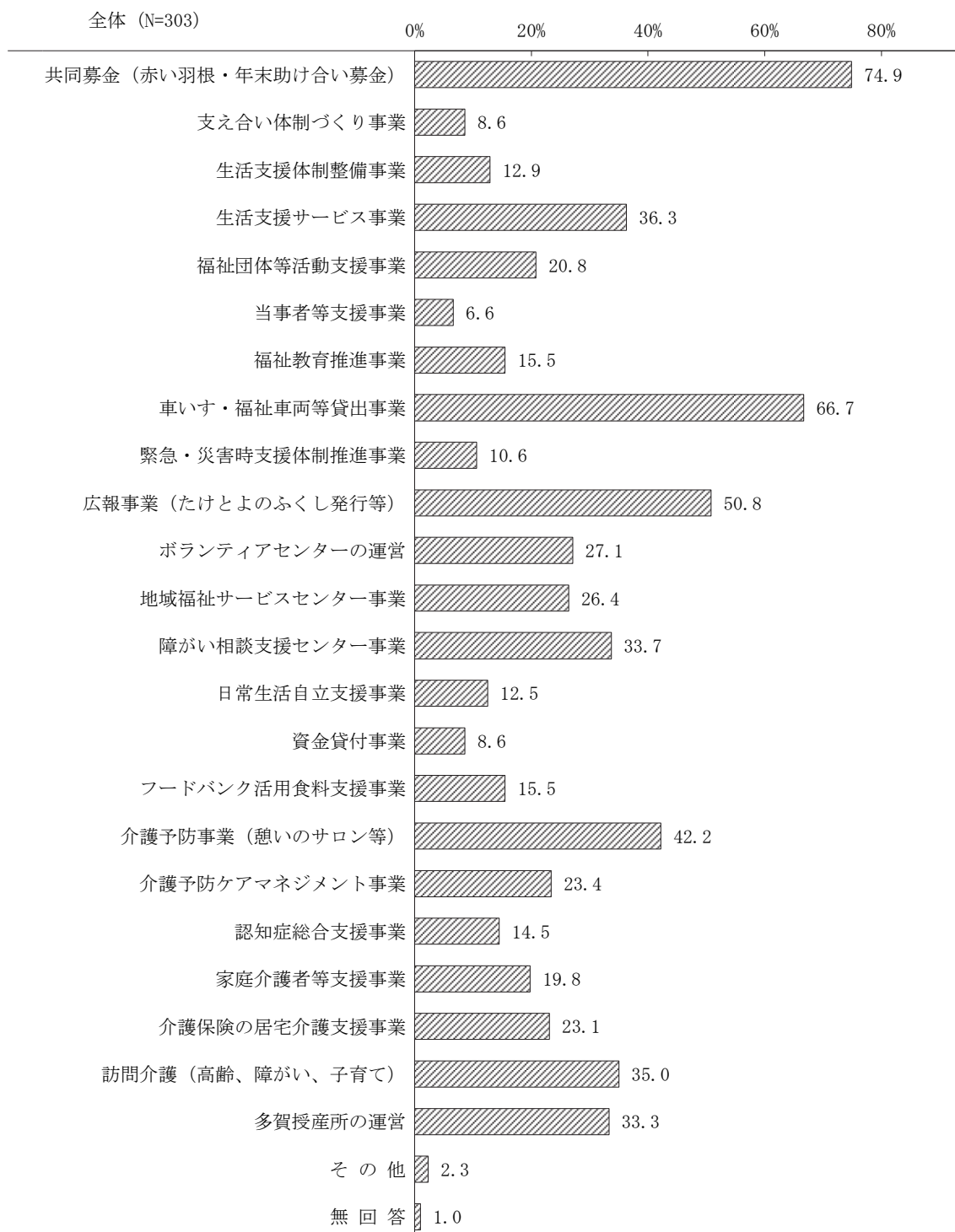
- ▨ どんな活動をしているか大体知っている
- ▩ どんな活動をしているか少し知っている
- 聞いたことはあるが、どんな活動をしているかは知らない
- ▤ 聞いたこともない
- 無回答

(2) 武豊町社会福祉協議会の事業の認知度 [問27]

図表1-57～図表1-59は、前問で武豊町社会福祉協議会が「1. どんな活動をしているか大体知っている」「2. どんな活動をしているか少し知っている」と回答した人に武豊町社会福祉協議会の事業で知っているものをたずねたものです。

「共同募金(赤い羽根・年末助け合い)」が74.9%と最も高く、次いで「車いす・福祉

図表1-57 武豊町社会福祉協議会の事業の認知度(複数回答)



車両等貸出事業」(66.7%)、「広報事業(たけとよのふくし発行等)」(50.8%)、「介護予防事業(憩いのサロン等)」(42.2%)、「生活支援サービス事業」(36.3%)、「訪問介護(高齢、障がい、子育て)」(35.0%)の順となっています。

「障がい相談支援センター事業」「多賀授産所の運営(生活介護、就労継続支援B型等事業)」の障がい者関連の事業も30%を上回っています(図表1-57)。

性別、年齢別に見ると、「共同募金」「車いす・福祉車両等貸出事業」がいずれも上位を占めています(図表1-58)。

図表1-58 武豊町社会福祉協議会の事業の認知度(性別・年齢別、複数回答) 単位：Nは人、他は%

区 分	性別		年 齢 別						
	男性	女性	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上
N	121	180	11	29	39	41	74	70	38
共同募金(赤い羽根・年末助け合い)	76.9	73.3	63.6	75.9	59.0	68.3	79.7	78.6	84.2
支え合い体制づくり事業	9.1	8.3	-	13.8	7.7	7.3	6.8	7.1	13.2
生活支援体制整備事業	18.2	9.4	-	20.7	7.7	17.1	6.8	18.6	13.2
生活支援サービス事業	34.7	37.2	36.4	51.7	46.2	41.5	31.1	27.1	36.8
福祉団体等活動支援事業	27.3	15.6	18.2	31.0	23.1	22.0	12.2	22.9	23.7
当事者等支援事業	9.9	4.4	9.1	17.2	10.3	4.9	2.7	4.3	7.9
福祉教育推進事業	19.0	13.3	18.2	31.0	12.8	22.0	8.1	15.7	13.2
車いす・福祉車両等貸出事業	52.1	76.7	54.5	58.6	61.5	80.5	64.9	65.7	71.1
緊急・災害時支援体制推進事業	14.9	7.8	9.1	10.3	5.1	7.3	16.2	10.0	10.5
広報事業(たけとよのふくし発行等)	48.8	52.2	9.1	55.2	56.4	56.1	52.7	54.3	36.8
ボランティアセンターの運営	28.9	25.6	18.2	17.2	17.9	36.6	32.4	28.6	23.7
地域福祉サービスセンター事業	26.4	26.1	9.1	31.0	17.9	34.1	31.1	21.4	28.9
障がい相談支援センター事業	31.4	35.0	27.3	55.2	41.0	39.0	25.7	28.6	31.6
日常生活自立支援事業	9.1	15.0	9.1	24.1	7.7	19.5	9.5	11.4	10.5
資金貸付事業	11.6	6.7	9.1	17.2	10.3	12.2	6.8	5.7	5.3
フードバンク活用食料支援事業	13.2	17.2	-	27.6	25.6	19.5	16.2	8.6	7.9
介護予防事業(憩いのサロン等)	37.2	45.0	36.4	27.6	17.9	41.5	40.5	64.3	42.1
介護予防ケアマネジメント事業	18.2	26.7	-	31.0	12.8	34.1	20.3	25.7	26.3
認知症総合支援事業	16.5	13.3	9.1	17.2	7.7	17.1	14.9	15.7	15.8
家庭介護者等支援事業	18.2	20.6	-	24.1	7.7	24.4	21.6	25.7	15.8
介護保険の居宅介護支援事業	20.7	24.4	18.2	17.2	23.1	24.4	24.3	21.4	28.9
訪問介護(高齢、障がい、子育て)	30.6	37.2	27.3	27.6	28.2	46.3	31.1	35.7	44.7
多賀授産所の運営	26.4	37.8	9.1	37.9	38.5	39.0	33.8	28.6	34.2
そ の 他	1.7	2.8	-	6.9	5.1	2.4	-	2.9	-
無 回 答	1.7	0.6	-	6.9	-	-	1.4	-	-

そのほかでは、70～79歳の「介護予防事業（憩いのサロン等）」が60%を上回っています（図表1-58）。

ボランティア活動の状況別・同居者別・小学校区別に見ると、「共同募金」「車いす・福祉車両等貸出事業」がいずれも上位を占めています。そのほかでは、ボランティア活動を月1回以上参加している人の「介護予防事業（憩いのサロン等）」、障がいのある人の世帯の「障がい相談支援センター事業」が60%を上回っています（図表1-59）。

図表1-59 武豊町社会福祉協議会の事業の認知度
（ボランティア活動の状況別・同居者別・小学校区別、複数回答） 単位：Nは人、他は%

区 分	ボランティア			同居者（子ども等）					小学校区別			
	月1回以上	年に数回	参加なし	6歳未満	6～17歳	65歳以上	障がい	要介護	武豊	富貴	衣浦	緑丘
N	43	39	212	21	59	178	43	24	91	67	59	84
共同募金（赤い羽根・年末助け合い）	81.4	84.6	72.2	76.2	72.9	80.9	79.1	62.5	68.1	82.1	81.4	71.4
支え合い体制づくり事業	14.0	12.8	7.1	4.8	3.4	7.9	14.0	12.5	5.5	4.5	15.3	9.5
生活支援体制整備事業	18.6	10.3	11.8	9.5	6.8	13.5	16.3	12.5	8.8	10.4	16.9	15.5
生活支援サービス事業	41.9	33.3	35.8	52.4	40.7	31.5	34.9	45.8	33.0	28.4	47.5	38.1
福祉団体等活動支援事業	32.6	20.5	18.4	19.0	27.1	21.3	27.9	25.0	17.6	17.9	25.4	22.6
当事者等支援事業	9.3	2.6	7.1	19.0	10.2	4.5	18.6	12.5	6.6	3.0	8.5	8.3
福祉教育推進事業	25.6	23.1	12.3	23.8	18.6	14.6	18.6	16.7	15.4	10.4	22.0	15.5
車いす・福祉車両等貸出事業	76.7	61.5	66.0	57.1	57.6	69.1	67.4	75.0	58.2	68.7	71.2	70.2
緊急・災害時支援体制推進事業	16.3	20.5	7.5	4.8	5.1	11.2	11.6	8.3	7.7	7.5	15.3	13.1
広報事業（たけとよのふくし発行等）	55.8	51.3	49.5	42.9	59.3	51.7	48.8	37.5	48.4	44.8	52.5	56.0
ボランティアセンターの運営	44.2	23.1	25.5	14.3	18.6	28.1	34.9	20.8	24.2	20.9	40.7	25.0
地域福祉サービスセンター事業	23.3	23.1	28.3	23.8	20.3	26.4	20.9	45.8	17.6	34.3	30.5	27.4
障がい相談支援センター事業	41.9	25.6	34.0	42.9	44.1	29.2	62.8	33.3	29.7	23.9	45.8	36.9
日常生活自立支援事業	18.6	10.3	11.8	23.8	11.9	9.6	16.3	12.5	11.0	10.4	13.6	15.5
資金貸付事業	11.6	2.6	9.4	14.3	10.2	4.5	16.3	12.5	11.0	3.0	13.6	7.1
フードバンク活用食料支援事業	20.9	17.9	13.7	19.0	23.7	12.9	16.3	4.2	14.3	13.4	18.6	16.7
介護予防事業（憩いのサロン等）	67.4	38.5	38.2	28.6	28.8	49.4	39.5	33.3	40.7	46.3	47.5	36.9
介護予防ケアマネジメント事業	27.9	17.9	23.6	28.6	18.6	21.9	20.9	37.5	18.7	25.4	23.7	27.4
認知症総合支援事業	20.9	12.8	13.7	14.3	10.2	14.0	9.3	12.5	16.5	16.4	13.6	11.9
家庭介護者等支援事業	23.3	28.2	17.9	19.0	16.9	21.9	16.3	29.2	19.8	13.4	28.8	19.0
介護保険の居宅介護支援事業	14.0	20.5	25.9	23.8	16.9	21.3	27.9	45.8	15.4	20.9	28.8	29.8
訪問介護（高齢、障がい、子育て）	32.6	33.3	36.3	33.3	28.8	34.3	34.9	29.2	31.9	31.3	45.8	34.5
多賀授産所の運営	41.9	28.2	31.6	33.3	44.1	34.8	44.2	41.7	25.3	29.9	39.0	40.5
その他	4.7	2.6	1.9	4.8	1.7	2.8	2.3	4.2	2.2	3.0	3.4	1.2
無回答	-	-	1.4	-	-	0.6	2.3	-	1.1	1.5	-	1.2

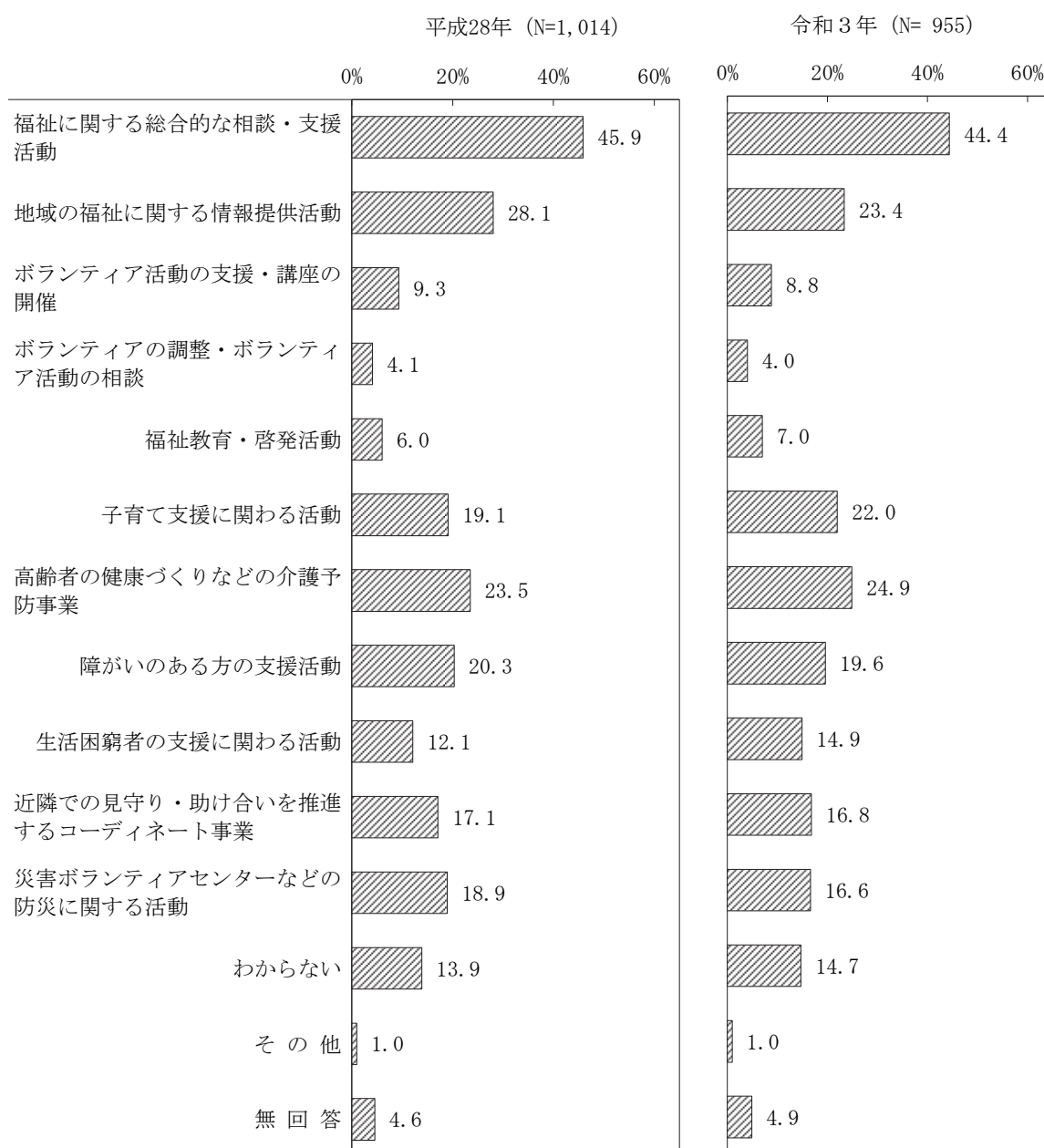
図表1-60 武豊町社会福祉協議会の事業の認知度(その他)

- ・私は中山区内ですが、狭い部屋でキューキュー詰めの会場は、健康体操などといっても手足も伸ばせず、せっかく出かけて行っても淋しい限りです。
- ・自分に直接関係していない事業は内容まで分からないが、これらの項目を見て、やっぱりなあと理解した。
- ・発達支援（子ども）。
- ・具体的な活動内容がわからないので回答しにくい。
- ・訪問介護事業、居宅介護支援事業所。
- ・子ども会行事。
- ・子ども会育成事業。

(3) 武豊町社会福祉協議会に期待する事業 [問28]

武豊町社会福祉協議会に対してどんな事業を望むかをたずねたところ、「福祉に関する総合的な相談・支援活動」が44.4%と最も高く、「高齢者の健康づくりなどの介護予防事業」「地域の福祉に関する情報提供活動」「子育て支援に関わる活動」も20%を上回っています。平成28年に比べると、「地域の福祉に関する情報提供活動」が4.7ポイント低下し、「子育て支援に関わる活動」が2.9ポイント、「生活困窮者の支援に関わる活動」が2.8ポイント高くなっています（図表1-61）。

図表1-61 武豊町社会福祉協議会に期待する事業（3つまで）



性別に見ると、男女ともに「福祉に関する総合的な相談・支援活動」が最も高くなっています。男性は女性に比べて「生活困窮者の支援に関わる活動」が4.7ポイント高く、女性は「子育て支援に関わる活動」が男性より9.8ポイント高くなっています。

年齢別に見ると、20～29歳、30～39歳は「子育て支援に関わる活動」が最も高く、その他の年齢層は「福祉に関する総合的な相談・支援活動」が最も高くなっています。70～79歳・80歳以上では、「高齢者の健康づくりなどの介護予防事業」が30%を上回っています（図表1-62）。

図表1-62 武豊町社会福祉協議会に期待する事業（属性別、3つまで）

単位：Nは人、他は%

区 分	N	福祉に関する総合的な相談・支援活動	地域の福祉に関する情報提供活動	ボランティア活動の相談	ボランティア活動の調整・ボランティア活動の支援・講座の開催	福祉教育・啓発活動	子育て支援に関わる活動	高齢者の健康づくりなどの介護予防事業	障がいのある方の支援活動	生活困窮者の支援に関わる活動	近隣での見守り・助け合いを推進するコーディネート事業	災害ボランティアセンターなどの防災に関する活動	わからない	その他	無回答	
性別	男性	390	44.6	24.1	11.0	4.4	7.7	16.2	23.6	21.5	17.7	13.8	15.4	15.4	1.0	4.9
	女性	562	44.3	22.8	7.3	3.7	6.6	26.0	25.8	18.3	13.0	18.7	17.6	14.1	1.1	5.0
年齢別	20～29歳	87	36.8	14.9	8.0	3.4	8.0	50.6	18.4	21.8	14.9	6.9	16.1	18.4	1.1	1.1
	30～39歳	131	38.2	16.8	8.4	3.8	9.9	52.7	13.7	24.4	13.7	15.3	22.9	16.0	-	1.5
	40～49歳	134	43.3	26.1	10.4	6.0	7.5	31.3	19.4	28.4	17.9	16.4	19.4	15.7	1.5	3.0
	50～59歳	151	52.3	26.5	9.9	4.0	6.6	15.2	25.8	19.2	12.6	16.6	17.2	14.6	1.3	0.7
	60～69歳	197	51.8	23.4	9.6	2.0	6.1	9.1	26.4	13.2	16.2	15.2	17.8	13.2	1.5	6.1
	70～79歳	168	39.3	29.8	7.7	3.6	4.8	4.8	33.9	16.7	16.1	19.6	11.9	13.7	0.6	7.7
	80歳以上	84	42.9	17.9	6.0	7.1	8.3	7.1	35.7	17.9	10.7	28.6	7.1	13.1	1.2	16.7
家族構成別	一人暮らし	123	36.6	20.3	8.9	6.5	2.4	9.8	30.9	17.9	20.3	17.1	12.2	14.6	1.6	14.6
	夫婦のみ	272	50.4	31.6	9.2	3.7	6.3	13.2	26.5	17.3	14.0	18.8	17.3	12.5	1.1	3.7
	二世帯世帯	450	41.8	19.1	9.8	3.3	8.7	29.3	22.2	21.3	14.4	14.9	18.0	17.1	1.1	3.1
	三世帯世帯	86	48.8	25.6	4.7	4.7	9.3	30.2	27.9	19.8	11.6	18.6	15.1	10.5	-	3.5
	その他	20	55.0	10.0	-	5.0	-	20.0	20.0	25.0	20.0	20.0	10.0	5.0	-	10.0
ボランティア	月1回以上	50	44.0	40.0	22.0	12.0	10.0	12.0	40.0	18.0	14.0	26.0	16.0	6.0	2.0	4.0
	年に数回	69	56.5	26.1	13.0	8.7	5.8	26.1	24.6	17.4	11.6	21.7	18.8	7.2	1.4	2.9
	参加なし	809	43.9	22.7	7.7	3.1	6.9	22.6	24.4	19.9	15.3	15.5	16.8	16.1	0.9	4.4
小学校区別	武豊	293	47.1	28.7	10.2	3.4	7.2	21.5	24.6	17.7	14.0	14.3	18.4	16.4	0.3	4.1
	富貴	187	47.6	21.4	6.4	4.3	5.3	21.9	25.7	18.7	16.0	15.5	12.3	15.5	1.1	6.4
	衣浦	210	48.1	22.4	9.5	3.8	9.0	28.1	24.8	20.0	17.1	19.0	18.1	11.9	1.9	1.9
	緑丘	259	36.7	19.7	8.5	4.6	6.6	18.1	25.5	22.4	13.5	18.9	16.6	13.5	1.2	6.9

家族構成別に見ると、いずれも「福祉に関する総合的な相談・支援活動」が最も高くなっています。そのほか、一人暮らしの「高齢者の健康づくりなどの介護予防事業」、夫婦のみの「地域の福祉に関する情報提供活動」、三世帯世帯の「子育て支援に関わる活動」が30%を上回っています。

ボランティア活動の状況別では、いずれも「福祉に関する総合的な相談・支援活動」が最も高くなっています。そのほか、月1回以上参加している人の「地域の福祉に関する情報提供活動」「高齢者の健康づくりなどの介護予防事業」が40%と高くなっています。

小学校区別では、いずれも「福祉に関する総合的な相談・支援活動」が最も高くなっていますが、2番目に高いのは、武豊が「地域の福祉に関する情報提供活動」、衣浦が「子育て支援に関わる活動」、富貴、緑丘が「高齢者の健康づくりなどの介護予防事業」となっています（図表1-62）。

「その他」として、図表1-63の内容が記載されていました。

図表1-63 武豊町社会福祉協議会に期待する事業（その他）

- ・誰でも町に住んでいれば知っているというような情報発信。
- ・草の根活動、コロナで認知症だらけ。
- ・生活保護を受けている方が本当に保護が必要かどうかをしっかりと調査していただきたい。役場の仕事でしようか。
- ・ヘルパー教育（レベルアップ）。
- ・生活用品の購買支援（車で販売に来てくれる）。
- ・介護保険料が給料から引かれても使えることはないのが実感。
- ・3つまでの選択限定だと選びにくい。問題が難しい。

6 自由意見

(1) 地域活動

- 買い物難民にならないように町と商業施設の人と連携して何かできるといいと思う。
(50歳代 女性 馬場区)
- ウーバーイーツのように、デジタル技術を利用して、困った人を助けられる人をリアルタイムでマッチングできるとよい。デジタルに弱い高齢者の方もスマートスピーカーのような直感的なデバイスがあれば頼みやすいのでは。一方報酬がないことで、便利屋のように悪用されないよう困窮度の認定は必要です。(30歳代 男性 緑区)
- 地区の高齢化が進んできています。高齢者一人暮らしの増加、親と独身の子世帯の増加があるので、今まで以上に近所づきあいができにくくなっています。隣組、各地区の人員等の見直しなどが必要になってきます。定期的な一人暮らしの人への訪問等が必要ではないでしょうか。(40歳代 男性 上ヶ区)
- 心がけて道を行きかう同年代の方に「お早うございます」「お気をつけて」と声かけをしながら行きかいます。数年前衣小の子ども達の「あいさつ運動」の頃、登校時、下校時、街中で会っても「こんにちは」「気をつけてね」「はーい」とお互いに声をかけていたのは、学区の子どもを意識し、思いやりの心の表れだったと思います。昔から武豊に生まれ住んでいる人は子ども時代から氏素性のわかった関係があるが、遠方からの移住で高齢になった孤独だと感じている人がいます。経済的困窮はなくとも日常生活の中で行き交う高齢者を含めて「お早うございます」「こんにちは」「気をつけてね」と言葉をかけあうと、人々の心が温かくなると思います。「役場にお世話をかけなくてもいい」と思って、誇り高くがんばっている高齢町民も多くいます。小学生、中学生の力をかりて町民の間で声かけができるといいなといつも思っています。(80歳以上 女性 玉東区)
- 近所の方と知り合いになることが第一歩かなと思います。(70歳代 女性 大足区)
- 「自分らしい生活」というところで、人それぞれ望む「自分らしい生活」は違うと思うのですが、アンケートの内容から感じるのは、「人と人との交流」をすること、「人とのつながりによって自分の生活を考えていかなければいけない」のかと思うと、私のように人と交流するのが苦手な場合、自分らしい生活は望めない気がします。不特定の隣人やボランティアの人々と関わるのは苦手でも、特定(専属)の人が担当として付いてくれるとか、AIのような、人ではない「物」を使った見守り、声掛けとか…。「特定(専属)の人が担当」というのは、その人との相性が合えば、その人がず

っと担当してくれるとありがたいということです。他人の世話になりたくないわけではないのです。「人とのつながりこそが重要、大切」というのは分かりますが、強要されるとつらいです。人と距離をおいて、生活できている今、とても幸せなのです。

(60歳代 女性 北中根)

○武豊に住んで50年以上たちましたが、子育てしている頃は、地域の運動会、盆踊り、子ども会の大会とかありました。高齢になっても大きな声、笑顔のある明るい楽しい行事が行われるといいなあと思います。(70歳代 女性 大足区)

○夫婦二人暮らしです。武豊町へは引っ越してから、地域活動等には家族構成的にも参加する機会、きっかけがなく過ぎているなど、今回のアンケートで感じました。普段の暮らしでは困ることなく生活していますが、災害時等は困ることが多々あるような気がしています。今回のアンケートでは高齢者、子ども、障がいのある人への支援についての項目がありましたが、このような人への支援だけでなく、繋がり(地域での)を持ちにくい人への支援についてもあると嬉しいなと感じました。年齢、性別、ハンディキャップの有無、程度に関わらず、地域住民間の繋がりが生まれることにより、支援対象者となりやすい方々(高齢者、子ども、障がいのある方等)にとってもメリットがあるのではないかと思います(対象者と支援者が顔見知りであることによるスムーズな介入が可能等)。さらに、災害という非日常であり、普段被支援者とならないような方でも被支援者になり得るという意識の芽生え、地域住民間の繋がりがあることにより、いざという時の住民の安心感の形成となるのではないかと感じました。

(30歳代 女性 鹿ノ子田)

○介護に関する情報発信、介護申請について、介護技術のやり方の実演。町内会の充実(町内会費納めても回覧板すら回らないので困っていますが…)、改善をしてほしいです。町内会費はどう使われているのでしょうか？(40歳代 女性 二ヶ崎)

○学用品等のゆずりあい、寄付、衣服(学生服)の寄付(処分するのがもったいない)。障がい者との交流会。(60歳代 女性 馬場区)

○引っ越してきて3か月のため、まだよくわかりませんが、住みながら、良いところ、改善する必要のあるところを見つけて、より良いまちづくりに貢献できたらと思います。(20歳代 女性 天神前)

○災害(台風の大型化)、いつ起こるのか、起こるであろう地震に対しての救援・支援はどうなっているのか？ 親族の助けもあり、日常満足いく生活を送っていますが、近い将来起こるであろう諸問題、例えば(免許返納後)買い物難民、通院など不安は

あります。自治区で行っている広報等の配布、区費、祭礼費、赤い羽根等の金銭の回収の簡素化、扱い方を検討していただきたい。(70歳代 女性 東大高区)

○お互いに温かく見守っていけるような町が良いと思います。程よい距離間で顔があったらあいさつして、何事もなかったように歩いていくイメージです。特別なことはしなくてもいいと思います。例えば、人見知りの人でも、明るい人でも、暗い人でも笑顔が見えれば、嬉しい気持ちになります。お年寄りの人でも、障がいを持っている人でも、病気の人でもそばにいてくれる人や支えてくれる人がいたら、それだけで安心します。老人ホームや施設のことはよく分かりませんが、中にいる人の顔や声が見えれば素敵だと思います。会いに行ったり、話したりはできなくても時々思い出して、笑顔がこぼれてほっこりした気分になるとと思います。離れていてもふとした時に繋がりを感じられるような町になれば良いと思います。(30歳代 女性 下門区)

○施設を利用されている人は決まっているように思われます。どの人も広く利用できる体制を整えていただきたいと思います。(50歳代 女性 東大高区)

○空き家問題を含め、お声掛けは必要かもしれません。(30歳代 男性 玉西2区)

○人は素直に手伝ってほしい、助けてほしいと言えない人のほうが多いと思います。近所でそういった人がいるのか私自身わかりません。自分ができる手伝い、手助けはしたいと思いますが、対象の方、何をしてもらったら嬉しいのか…等分からないことが多いのが実情です。だからといって人の家のことに首をつっこまれるのを嫌がる人、同情されていると思われてしまう人もいるかと思っています。町内で困っている、不便な生活をしている人、子育てに悩まれている人を把握し「近隣での見守り・助け合いを推進するコーディネート事業」に力を入れて、個人個人、または区で何かできることが増えたら良いなと思います。(30歳代 女性 市原区)

(2) 自治区・自治会

○最近自治会に入会しない人も多いので、ある一定の年齢(高齢者)や小さな子どもさんのいる家庭の自治会での仕事(広報配布、集金など)は、福祉協議会または役場で人を雇ってやってほしい。(60歳代 女性 市場区)

○自治区の質問があるが、自治区が既に制度疲労しているのではないか。それに福祉という全体の課題を託すには問題がありそうです。現役の時は社宅生活をしていましたが、社宅ができる時に「区」からは除外されていたようです。半田で市営住宅を作る時も同様のことがあったと聞いたことがあります。「区」は今までどおりで、新住民が多

く入り、異見が出ることは好ましくないと考えるのでしょうか。「区」行事参加者が少ないのは「区」の中の体質にあると思います。「区」が全体の福祉の担い手として期待できるのでしょうか。昔は縁側がご近所の交流の場だったということをお聞きします。家の中と外をつなぐのが庭でしょう。立ち話をするなら道端ではなく庭でというようにならないものかと思います。(70歳代 男性 馬場区)

- 近年、武豊に住んでいる人でも区から脱退する人がたくさんいます。区に入っていると損をするという人が増えています。赤い羽根や社会福祉のお金、区費等は町の税金から出し（年間その分が増えてもいい）、区に入っている人のみ集金をするのはやめた方がいい。集金をする常会長さん（やりたくない人が多いです）も大変な思いをしていますし、今の時代現金を集金するのもおかしな話です。区から脱退することにより、子ども会にも入らなくなったり、祭礼にもかかわらなくなってきています。町を良くするためには、まず集金をやめることから考えていただきたいです。防災訓練や支援も区に入っていない人に連絡はいきません。地震等があった場合、区に入っている人と入っていない人とをどのように区別していくのでしょうか？ 高齢者や子ども、障がいがある人等、近所にいても区に入っていなかったら、少し見る目が変わります。近所の人たちとも仲良く生活したいので皆が気持ちよく区に入っていただけのよう働きかけてほしいものです。(50歳代 女性 馬場区)
- 「区に入らないといけない」それが良くない。高齢者、障がいのある人など、区の活動ができない人もみえるので、区に入らなくても福祉やサービスを受けられるよう考えてほしい。(50歳代 男性 大足区)
- 高齢者になると隣組から抜けるため、どんどん孤立していきます。隣組から抜けない仕組みづくりが必要です。組から抜けると回覧板などが行かないので町の行事等が分かりません。(60歳代 男性 大足区)
- 常会に入っている人が減り、近所づきあいも希薄だけど、お互いを気にかけて、災害などいざという時に支え合う関係になったら、温かいまちづくりになると思います。(20歳代 女性 上ヶ区)
- 現状、隣組や町内会が行っている草刈り、広報の配布などの活動は役場が行うべき業務だと感じます。昔からこの土地に住んでいる方々は自治会が地域との交流に役立つと考えているのかもしれないが、そういったつながりは個々の生活の中で必然と生まれるものではないか。私がこの土地に引っ越してきた時は組長の訪問を受け隣組加入の願いをされた。加入は強制ではないといっても、こうしたことや住民の方々の加

入してあたりまえという空気感は、加入しないと何か不利益があるのではないかと想像させ、実質的な強制力を持っています。個人の活動範囲が広がり、生活様式が多様化している昨今では隣組のような組織は足かせになることが多いように思います。隣組は廃止するかあり方を変えるべきだと思います。(20歳代 男性 東大高区)

(3) 福祉全般

- 子ども食堂や子ども預り施設など、町民であれば無料で使用できる施設があると良い。TVなどでたまに見かける高齢者施設と子どもの預り機能を備えたものがあると良い。(40歳代 女性 玉西1区)
- TVで子ども食堂についてやっていたことがありました。自分は恵まれて育ったのだなと感じたと共に、食事に困る子どもたちに何か支援したいと思いました。調べたところ武豊町には毎日やっている子ども食堂はなさそうですが、近いうちに毎日お腹いっぱいご飯が食べられる子ども食堂ができてくれると、地域の少子化や経済発展の問題解決へ後々つながっていくと思います。そういった場所ができた時には、一住民として継続的に支援していきたいと考えています。(20歳代 女性 大足区)
- 新しく戸建てに住まれる方やアパート、マンションに住まれる方にも積極的に区の役割(組長、常会長)をしてもらい、区の状況とかを知って体験してもらうのも良いと思われま。自分は戸建てに住んで一年目に常会長をさせてもらい貴重な経験をさせていただきました。そういったことに関わると組の中に独居の老人や困っている人がいることを理解でき、心ある人がいれば助け合いもできてくるのではと思われま。子どもの交通安全等で最初に提案できる所は区ではないかと思うので、自分達の地域の安全を守るのは自分達だと思ってもらえるといいと思われま。アパート、マンションの人は災害時どうするのでしょうか?(50歳代 男性 北山区)
- 東京から来て49年、武豊町に来て良かったと思っています。自身デイサービスに勤め10年近くになり、最も気を付けていることは言葉遣いです。お爺さんとかお婆さんとは言わず「フルネーム」で声掛けをしています。そして傾聴心、障がいのある人も障がい者として見るのではなく、一人の人間として付き合うべきと思、現在もデイの運転手として働いています。傾聴。(70歳代 男性 上ヶ区)
- 気軽に利用できるようにしてほしい。→情報を分かりやすく知らせる。少人数を対象としない。大人数が助けてもらえる。少しでも困っている、助けてほしいと思った時に利用しやすい金額や規準であってほしい。(30歳代 女性 富貴市場区)

-
- 支援が必要な時は一人で考えず、誰でもいいので声をかけ、救いを求める。(60歳代 女性 玉西2区)
- 町所有の土地で畑や田んぼを行う。ボランティアで高齢者の方に通常時、草取りや水やりや土づくりを管理していただく。週末等に①シングル親子畑体験、②うつ病経験者畑体験会、③発達に遅れがあると言われた保育園・幼稚園児の親子畑体験会を行う。収穫の時期にもテーマ別の方々を集めて収穫祭を行う。できれば、それぞれの参加者を6名以下のチームにして、何を今日やるか…話し合う。など、横のつながりができるように、グループワークになるようにする。コーディネーターは、障がい理解のある保健師かOT(作業療法士)が良い。畑や田んぼは、土に触れ、季節を感じ、連続性があり、皆での助け合いが自然にできる。「公」がきっかけを作り、「共助」につながると考える。上記①②③以外にも、④不登校の小学生、⑤不登校の中学生、⑥ボランティア未経験の高齢者、⑦小学校低学年までの親子などのテーマでも「会」を行えると考える。(40歳代 男性 馬場区)
- 巡回バスが立ち寄らない地区へ、移動スーパー、カフェ、衣料品等の販売。高齢者宅のお助け事業(月に2時間だけ、電球交換や浴室まるごと清掃など暮らしを楽しくするサポートを高齢者が行う)。免許返納者を免許所有者がタクシー事業を担う民間タクシー→高齢者の免許返納率アップ。障がいがある人による福祉教室実践。(40歳代 男性 馬場区)
- 今現在がどうか分かりませんが、子どもが小さかった頃、お母さん同士で集まり自由に相談できる場所が欲しかったです。子どもが障がいを持っていたりすると、公園で立ち話というわけにもいかず、また家で相談、飲食店で相談するにしても人に聞かれたくない内容だったり、場所が狭かったりして、なかなか何人かの人の意見を聞く集まりが難しかったです。「飲食ができる多目的な場所(個室)」が町内などで個人的に借りられたらな…と当時はよく思っていました。昔は、団体なら個室を借りられる(飲食禁止)と聞いたことはありますが、時間もなく、ご飯を食べながら2時間ぐらい借りられる場所(個室)はなかったように記憶しています。(40歳代 女性 富貴市場区)

(4) 健康づくり・交流

- 高齢になりウォーキング等しながら体力維持に努めていますが、家で一人で過ごすことが多い。近所に集会できる場所があれば出かけたと思います、ないのが残念で

す。(80歳以上 男性 北山区)

○高齢の方の中にはどこも悪いところはないが、長い距離・時間は歩くことができない、かといって要介護認定がないので、介護サービスは受けられない方がいらっしゃるのでは？ そのような方とか、元気だけど一人ではどう体を動かせば良いかわからないといった方々が、身近なところに行きやすい場所があれば、身体を動かしたりおしゃべりをする場があればと思います。暑い日、寒い日でも家に引きこもりにならないようになるのではないのでしょうか。私は今年になってボランティア介護講座に参加し、それがきっかけで隣組のご婦人4名と私とで我が家のリビングでストレッチなどを1時間ほど行っています。場所も椅子を置けば5名が良いところです(足の悪い方もいらっしやいますので立位は無理)。(70歳代 女性 上ヶ区)

○老若男女誰でも集まって話をしたりできる場所をもう少し増やしていただければと思います。私は派遣会社経由で仕事をしていますが、家にいる時間が長く、一人住まいのため、なかなか人と接することがありません。そういう方々が集う場所がもっと増えれば良いと思います。(50歳代 男性 向陽)

○保育園や小学校の空き部屋を活用して、高齢者と園児、小学生が自然と触れ合える環境を作るのはどうでしょうか(田舎、校舎の有効利用)。(60歳代 女性 大足区)

○健康体操として、太極拳・練功の教室を持っています。今はボランティアでと思いシルバーセンターを貸していただいています。家の近くでもこんな会場があれば、少しの人でも健康に過ごせることを願っていますので、そんなチャンスを望んでいます。(70歳代 女性 富貴区)

○各世代をとりいれたコミュニティの場を作りたい。情報発信のできる場をオープンしたい。(30歳代 男性 中山区)

○我を知る、他を知る、障がいのある人もない人もお互いを知る機会を増やす場作りが必要だと思います。例えば、障がいの方が作ったものを自分たちで売る(カフェや役場内に売り場があると交流できる)。高齢者、子ども、障がいのある方にやさしいということは町民の皆にもやさしいということ。自分たちの拠点で人を待つ(売る)のではなく、街に出かけて行って人と触れ合うことでお互いを知ることにつながるのではないのでしょうか。人手が必要ならばボランティアを募る。どんな人でも誰でも居心地の良い場所、立ち寄れる場所があるといい。地域のカフェ、ワンデイシェフ、日替わりでおそうぎを売る場所など、子ども連れ、女性に人気だと思う。自分の特技を活かして、マーケットに出店する人が増えつつあります。貸しキッチン(知多半島

にはない)を利用したい人の声を耳にします。自宅で作ったものは売れないので。(40歳代 女性 大足区)

- J A富貴支店まででかけると楽しい活動もあり参加しています。車で10分の所。今まで運動しているがこの先はいつまで続くか。笠松会館でも体操をしているが国道を渡るので、近くてもなかなか行けない。私の住む地域には42世帯、そのうち空き家5軒、日中は外に出ている人はなく、ごみの日は朝時間が合えば挨拶はお互いしても立ち話はよほどじゃないとしない。昔からこの地区にいた人が少ないこともあって難しい気がします。例えば私の子どもの頃は広場で盆踊りもあったが…、広場はあるのでラジオ体操ができるといいと思います。ごみ捨ての日(火、水、金曜日)に合わせるとか。(70歳代 女性 富貴区)

- 散歩をするために知多市(あさひ公園)、東海市(大池公園)まで出かけます。武豊町に同じ規模の公園がないからです。介護予防という点でも、人と人とのつながりをもつという点でも、ぜひ整備していただきたいと思います。(60歳代 男性 馬場区)
- 同地区であっても高齢になると外出することもなく、顔を合わせることもありあせん。送迎があり、食事しながら会話できる機会があるといい。(60歳代 女性 東大高区)

(5) 高齢者支援

- 一人暮らしで、またお世話になりますのでお願いします。(70歳代 女性 富貴区)
- 高齢者一人暮らしの人が多く。お世話を少しでもしてあげたいと思っていますが、閉鎖的に受け入れ不可の方もいます。少しでも近づくためにサロンの事業は大変良いと思います。武豊町の皆さますべてがフレンドリーでありたいものですね。私自身も参加しようと思っています。(60歳代 女性 玉西1区)
- 個人情報を守られていますが、高齢者等地域でくらしている人の情報共有、守秘しつつ必要な時、皆で助け合えばいいと思う。仮に同居していても日中は高齢者だけの世帯の方が多いのでは、役場で全体把握することはできないので、回覧板をまわす世帯ぐらいは、組長さんが把握しているとか…。(50歳代 女性 富貴区)
- 元気な高齢者が活躍できる場を提供、紹介してほしい。(50歳代 女性 緑区)
- 今は60歳代後半で車も乗れますが、70歳代、80歳代になり、近くにスーパーも医者もないので、それが心配です。(60歳代 女性 北山区)
- 高齢者も増えて一人暮らしなど老々介護になってきた今で、コロナも心配する中です

が、安否確認とか顔を見て話をできるとか、TELでもいいので、その辺を進めてほしい。なかなか相談できない、わからない方も増えているかと思うので、必要と思われる世帯を確認しながら、横のつながり等を増やしていただきたい。(80歳以上 女性 北中根)

- 相互に「思いやり」の気持ちをもって接していきたいです。NPOシニアPCマザーズに所属し、高齢者を対象にパソコン支援をしています。知多半島一円（東海市、知多市、半田市、武豊町、美浜町、阿久比町等）(70歳代 男性 馬場区)
- 実家に98歳の祖父と88歳の祖母がいます。二人とも同じ年齢の方々が集まる場所には「行きたくない」の一点張りで、今は週1回ハビリさんや週2回のお風呂に来てもらっています。本人たちが少しでも動けるなら外出して集まり等に行ってほしいのですが、年を重ねるごとに気持ちが荒く「行かないでいったら行かない！」を通します。集まる場所が嫌いな人に何か楽しめる場所、空間、時間等ありませんでしょうか。祖父母は水族館が一番好きで一日中でも居られます。(40歳代 女性 玉西2区)
- 高齢者が増加していくのはわかっているので、特養などの増設や有料老人ホームへの補助制度などに長期的展望をもって取り組んでほしい。(60歳代 男性 北山区)
- 通院、買い出し、ごみ出しが高齢者にとってやりやすい町。高齢者施設(老人ホーム)の充実。(50歳代 男性 富貴区)
- 高齢者への安否確認について、週に1度、電話でよろしいので、安否確認をしていただくとうれしく思います。(80歳以上 女性 大足区)
- ケアハウスにお世話になっています。ここは皆様が思っているより本当に手の行き届いた所です。何も心配しなくても職員、ケアの方など困りごとは聞いてくださいます。今の生活に満足しています。一日一日感謝して生活させていただいています。(80歳以上 女性 東大高区)
- 高齢者のため自治区をやめたいが、毎月の広報は読みたいです。足が悪いため郵送配達の利用システムがほしいです。有料でいいです。(70歳代 女性 大足区)
- 高齢者や障がいのある人など不燃ごみや大型ごみなどどうされているのか気になります。ごみ収集場所まで遠い人など家にたまってしまわないでしょうか？ 車がない中での買い物もきっと大変でしょう。散歩にも疲れるのでベンチなどあったら行動しやすいかもしれませんね。(50歳代 女性 小迎区)
- 子どもが生まれると赤ちゃん訪問や健診などで、どの親子も町で把握していただき安心です。それと同様に高齢者も、どの人も訪問などしてもらえ、気軽に相談できるシ

システムがあると安心です。子どもは成長していきますが、高齢者は衰えていきます。それも少しずつなので気がつく和家人の負担が大きくなっています。サービスがあるそうですが、どのように使ってよいのかわからないし、申請に行く時間もないし、高齢者が自分で申請もできません。高齢者、子ども、障がいのある方、そして家族が孤立しないシステムを要望します。(50歳代 女性 北山区)

○透析をしていた母が今年亡くなりましたが、透析患者は老健はもちろん特養の申し込みさえも受け付けてもらえませんでした。要介護3でした。片目は失明、片目も弱視の状態です。ケガは絶えませんでした。ケガで大きな手術も受けました。そんな中で「くすのきの里」だけは、受け付けをしてもらえました。透析をしているがために受け付けられないこんな状態は、今後改善してほしいと心から願います。とても悲しい思いをしました。(60歳代 女性 北山区)

○認知症などの老人専門病院の設立を希望します。(50歳代 女性 馬場区)

(6) 障がい者支援

○手帳を貰えないような軽度の障がいのある方々が受けられる支援を増やしてほしい。相談員さんがいつも忙しそうなので心配。(30歳代 男性 富貴区)

○発達障がいの診断や療育のサービスを受給者負担でよいのもっと提供してほしいです。現状、病院も予約が一杯であり、なかなか利用できません。もっと気軽に、頻りに利用できるとうれしいです。学校や保育園等との連携、情報提供、訪問して観察等のサービスがあると、さらによいです。(30歳代 男性 大足区)

○町民プールができたなら、障がい者用の更衣室(シャワー、トイレ付)を使えるようにしてください。障がい者だけが使える時間帯を設けてもらえるとうれしいです。周りの目が厳しいので自分らしい生活を送るのは大変です。優しい人もいますが、理解してくれない人の方が多いです。(40歳代 女性 馬場区)

○障がい者、引きこもりの方、高齢者等の就労を支援する。高齢者、障がい者の外出の支援。子どもが学んだことを高齢者に貢献できる町づくり。安心安全な町でありたいです。(50歳代 男性 土穴)

○障がいのある人への対応、相談(悩み、仕事等)の窓口を、分かりやすい形であった方がよいと思います。自分は年齢的にいっているのですが、仕事を探すにもあまり無く、その上障がい者なので難しいです。(40歳代 男性 梨子ノ木)

○肢体不自由児の行き場が町外になっているのが現状で、通園にも時間がかかり、障が

いのある子、家族が不便な毎日を送っています。数年後、肢体不自由が通える施設(園)が町内にできると聞いたので、未来の障がい児のために期待しています。役場と相談員との情報共有をしっかりとしてほしいです。我が家の例として、小学校に進学するにあたって、就学前の健康診断の案内が届きました。娘は特別支援学校に通う予定なのにあたり前のように学校区で案内が届き、すごく嫌な気持ちになりました。相談員さんには進学先を伝えてあります。もう少し配慮のできるシステムにしてほしいです。

(30歳代 女性 馬場区)

(7) 子育て支援

- 夜間保育の充実(シングルマザーなど働く人の支援が少ない)。(50歳代 女性 玉西2区)
- 小さいお子さんがいる親が働きやすい環境を作してほしいと思います。(20歳代 女性 玉西2区)
- 一人親で仕事をしている人を支援してほしい。児童クラブなど19時までしか預かってもらえないので21時くらいまで預かってもらえて、食事、お風呂など済ませてもらえると助かります。(40歳代 女性 北山区)
- 子ども会などで子どもが楽しめる会などやってほしい。地元がこっちではなく、もっとママ友がほしいので、日曜日など休みの日にやるイベントがあるとうれしい。近所の人たちのことを何も知らないなので、集まれるイベントをもっと増やしてほしい。(20歳代 女性 楠)
- 町内アナウンスが近くになく、台風の時などまったく聞こえなく、災害時にどう行動しているのか不安を感じたことがあります。子どもの登校時(雨の日)、杉石病院の交差点で傘をさしているため、なかなか前に進めず横断歩道を渡り切れず信号が赤に変わってしまって、見ていて危ないと思ったことがあったので、みどりのおばさんが学校の前だけではなく杉石病院の交差点にも立ってくださると子どもも親も安心できると思います。(40歳代 女性 六貫山)
- 公園について、大型複合遊具(半田運動公園のような)があるといいです。現状は遊具の少ない芝生が多いので。私は子育て世代なのでこのような希望になりますが、高齢者のことを考えると、公園の芝生の周辺の散歩道に足ツボや健康器具があるとよいかと思います(大府愛知健康の森や碧南市臨海公園のような)。とはいえ、武豊町は高齢者にとっても子育て世代にとっても住みやすい町だと思います。南の美浜、

南知多は人口減少が進んでいるので（データの的には進んでいく）、ぜひとも武豊町は踏みとどまってほしいです。そのためにもこういったアンケートは有用だと思います。わかば保育園での早朝・延長保育が3年前から始まり助かっています。（30歳代 男性 大足区）

○少子化で子どもの姿がより少なく感じています。車で信号待ちしながら通学中の子どもを見ると、心がなごみます。この子ども達どんな大人になっていくんだろうなんて、余計なことを思うことも多々あります。最近シングルマザーという言葉をよく聞きます。女性がひとりで頑張って子育てをしています。そういう女性を見ていると応援したくなります。頑張っている人を見ると応援したくなるのは当然だと思うけど。私は今よその市に出掛けて、学校の部活ボランティアをしています。残念ながらわが町の学校にはその部はありません。生徒と一緒に体を動かしていると、私自身も若返った気がします。週末の練習日が待ち遠しいくらいです。学校から帰るとすぐゲームにはまり込むのが今の子どもたちです。学校の先生も忙しいかもしれませんが、部活はすごくいいと思います。人気のある部にはたくさんの子が集まるけど、そうでない部もあります。少ない部員数でも子どものいい面を伸ばしてやることは大切だと思うんですけどね。今日もこれから出かけます。週末は試合です。楽しみです。（70歳代 男性 北山区）

○若い世代や子育て世代が楽しめる施設があるといい。（20歳代 女性 緑区）

○安全で子どもが自由に遊べる場所が近所にあるとうれしい。気軽に子育て相談できる保健センターがあるのはうれしいが、小児科の病院や小児耳鼻科がもっとあるとうれしい。自分の通院や私用などで子どもを気軽に一時的に預けられるような施設がほしい（1日だけ利用できるような）。（20歳代 女性 楠）

○子ども会で大変お世話になりました。今自分も子どもも我が身で精一杯なのですが、イベント事をおこす際のお手伝いくらいならまたやりたいなと思います。すべてをにかけて企画をたてるような子ども会の役員のあり方についていけずやめました。人とかかわりあい好きです。（40歳代 女性 北山区）

○地域子育て支援の活動を活発にしていきたいです。子育てに不安がある親に対して手助けができる情報を分かりやすく提供し、悩みを受け止めてあげられる場所をつくってほしいです。（50歳代 女性 豊成）

○個人への子育て支援はやめてください（特にお金の配布とか）。今までの支援で出生率は上がっていかないという現実があります。違う支援を考えるべきでは…。まじめ

に生きてきた人がむくわれる支援をお願いしたい(具体的に思いつかないですが…)

(40歳代 女性 大足区)

- 経済的負担をできるだけ軽くする(行政が負担する)病児保育施設を作る。児童クラブや放課後デイ等の拡充。保育士、看護師、介護士、社会福祉士等の給料UP、雇用促進。(30歳代 男性 富貴区)
- 保育園、小中学校の給食費を無料にしてあげてほしい。子どもに給食費が払えないさびしい思いをさせないでください。(70歳代 女性 大足区)
- コロナで楽しみにしていたイベント、お祭りなど中止になってしまいました。子ども達が楽しめる場所、イベント等増やして欲しい。(30歳代 女性 玉西1区)
- 家族や親、友人、同僚に相談できる環境にあっても、何も関りがない第三者のような存在の人に相談したり、意見を聞いたりしたいと思うことがあります。私にとってのそれは、保健センターの保健師さんです。学校のカウンセリングも先日初めて利用しましたが、時間に限りがありアドバイスを頂くところまで到達しませんでした。一歩踏み出せたことは良かったと思っています。できれば、専門家の方とお話ができ相談できるような窓口の充実、利用のしやすさが高まれば、仕事、家事、育児の悩みを軽減させ気持ちを楽にさせてくれると期待しています。(30歳代 女性 東大高区)
- 子育てと仕事の両立のため、病児保育、学童保育の実施、子どもの預りサービス(有料)の導入をお願いします。(30歳代 女性 豊成)
- 小学生が安全に帰宅できるようにガードレールやカーブミラーなど考えてほしい。武豊は子どもが育てやすく、子どもがたくさん家庭が多いので、その支援をもっと充実するとありがたい。(30歳代 女性 北山区)
- 通学路に信号のない見通しの悪い交差点があり、来年度から小学校に通わせるのが不安です。(40歳代 女性 東大高区)
- 子育てについて、保育園の乳児の受け入れが少ない。北山区の住民が増えているので保育園を増やしてほしいです。(30歳代 男性 北山区)
- 半田運動公園のような大きな遊具がある公園や気軽に子どもを遊ばせられるところの充実。もっと子どものための政策をしてほしい。高齢者だけでなく子育て世代の住みやすい町づくりを。(20歳代 女性 大足区)
- 通学路の見守り。朝の登校の時間帯(7時30分~8時10分頃)と夕方の下校の時間帯(14時55分~15時30分頃)は、車の運転をする際に、速度に注意する等、児童や生徒を地域で守る呼びかけをしてほしい。これから日が短くなると夕方は暗くなって変質

者や不審者が出没することがあるので、家の外に出て、「大人の目」を増やして、子ども達を守る意識づけを広報たけとよの放送で呼びかけしてください。(30歳代 女性 富貴区)

- 子どものいる人に聞きました。インフルエンザの予防接種は、子どもは2回×4000円。3人も子どもいたら大変と。高齢者は1,000円なのに、もっと子どもに援助することが必要だと。(50歳代 女性)
- 中央公園や味の蔵の多目的広場がキレイでよく使わせてもらっているが、もっと近場にたくさんあるちびっこ広場の遊具や草の手入れもキレイにして遊びやすくしてもらえると嬉しいです。子ども達が遊んでいるのをうちの近所では見たことがないし、使いたいとは思わないので。また、保育園の遊具や門もキレイにしてほしいです。色がはげて汚いし、ケガはしないのか…。(30歳代 女性 大足区)
- 安心安全な通学路を作ってください。(60歳代 女性 原田区)
- 自分が生活する上で困ったことがないので分からない。子どもが小さいうちは、子育て支援センター、児童館に大変お世話になりました。(40歳代 女性 馬場区)
- 子どもの医療費無料を18歳まで引き上げてほしい。(40歳代 女性 緑区)
- 高齢者向けに公民館でやっているC a f eのようなものが、子育て世代向けにもあると良い。赤ちゃんから小学生まで親子で気軽に行ける、オープンな場所があれば良い。授乳室は、パパ向けの場所もほしい。ミルクの調乳などベンチだけでは不十分。パパの居場所が町内に少ないし、支援も足りない。町内情報についてSNSをもっと活用してほしい。(30歳代 女性 玉西2区)
- 子どもに病気が見つかり大変不安だったため、保育園の先生以外で相談できる場所があると良いと思った。できれば医療の知識がある人で。(30歳代 女性 梨子ノ木)

(8) ボランティア

- ボランティア活動の内容を理解したり、興味を持ってもらうために、説明会を開催した方がよいと思います。ボランティア活動の支援や講座の開催を行い、参加者が自信をもって、活動に参加できるように手助けをしたほうがよいと思います。参加者がボランティア活動を行うことで、幸福感や達成感を得られるように、活動の内容を決定していくとよいと思います。(30歳代 男性 小迎区)
- 自分のできる範囲でのボランティア活動はさせてほしいと思います。どんなお手伝いができるか広報などでお知らせがあるとかがあるといいです。電話とか問い合わせして

までとは面倒になってしまうような気がします。(50歳代 女性 富貴区)

○役場職員が計画を立てるのではなく、自ら動き、実行してください。ボランティアをつつのではなく、役場のパート、アルバイトとして採用して活動するのが良いのでは？ そういった税金の使い方であれば賛成です。(40歳代 女性 玉西1区)

○ボランティア活動がみなさんに定着するように切に願うと共にコミュニケーション及び活動がみなさんに認識されるよう情報の発信ならびに活動が明確に5W1Hなどで知らせる仕組みづくりを！ 現状では発信が足りないと感じます。(70歳代 男性 北山区)

○高齢化社会が進む中、高齢者でもできるボランティア募集を公報等で分かりやすい内容で記載すると良いかと思います。内容が分かりやすいと参加しやすいと思います。(60歳代 男性 北山区)

○ボランティア活動に興味はあるけれど、今は仕事や子育て中のため自分の時間が作れずなかなか一步を踏み出せません。また、勝手なイメージですが、すでにグループ、仲間関係ができていたため新参者が踏み込んでいくのは敷居が高いイメージがあります。「単発、気軽にちょっとだけ」でも、何か困っている人の手助けや地域コミュニティづくりに関わることができればいいなと思います。(30歳代 女性 馬場区)

○武豊町には子ども食堂はありますか？ 運営は難しいですか？ こういう場所でボランティアがしたい。交通事故ゼロなどの日に1か所の交差点に大勢が立っているが、特定の日だけでなく、人数を減らして、さまざまな場所に分散してはどうでしょうか。毎日の通勤途中で衣小や緑小で交通指導員さん以外での登下校の見守りボランティアをよく見かけますが、武小地区でもされているのでしょうか？ 退職したらやってみたい。(60歳代 女性 下門区)

○ボランティア活動は、一般家庭ですとあまり関りが無いので、活発な活動を起こさなければ一般の人に伝わらないと思います。目に付くわかりやすい看板、選挙の時に立てている看板はすべて取り外してください(町長はじめ町議の方々、衆議院の方々など)。他の地域は別として武豊町はだけでも福祉活動のわかりやすい看板があればみんなの目に留まるかと思います。町のシンボルマークのみそ太郎を入れてください。(70歳代 女性 大足区)

(9) 福祉教育

○学生の老人体験(目の不自由さや足腰が弱くなっているのを体験させる)。職場体験

の充実→現在の学生の子たちの中には、バイト経験も少なく、社会人になった時の離職率の高さにはひどいものがあります。(50歳代 女性 玉西2区)

- 今後、高齢者の増加で介護が必要となる人も増加します。地域で支援して、個々に活動ができるようになれば良いと思いますが、知識を得るために講習会のようなことを行っていただくと嬉しいです。介護や福祉（障がいのある方）について学べる場、専門で教えてらっしゃる人の講演会など行ってほしい。町民の皆さんが参加しやすい、介護技術を習得できる場があると、いざ自分の身にふりかかってきた時にも不安なく介護ができると思います。10月13日朝日新聞「ひと」に掲載されていた坂野悠己さん「オムツ外し学会」、理学療法士三好春樹さん、素晴らしい取り組みをされています。(50歳代 女性 緑区)

- 障がいのある人と町民との交流の機会。私は盲学校でボランティアを大昔にやり、プラスになりました。(70歳代 女性 上ヶ区)

- 高齢化社会について、人間は高齢になると認知症がでたり人格が変わってきます。若い年代の人たちには理解できないことがたくさんあると思います。幼少から少しずつ人間の成長過程について教えていき、ふれあうことで少しでも理解していけるのではないかと思います。(50歳代 女性 上ヶ区)

- 一人一人がやさしい心づかい。(80歳以上 女性 北山区)

- 子どもが通っている保育園ではあおぞら園が併設されており同年代の障がいのある子どもさんたちも通ってきています。同じ敷地内にありますが、子ども同士なかなか接点を持ったり一緒に遊んだりすることがないようです。保育園の子どもたちとあおぞら園の子どもたちとのふれあいが増えると、お互いに理解しあえたり、助け合ったり、多様性を学んだりできる機会になり、子どもたちにプラスになるのではないかなと思います。(30歳代 女性 馬場区)

(10) 情報提供・相談

- 武豊町の社会福祉やボランティア情報について、現在、興味・関心がある人が能動的にそれらの情報を調べないと手に入らない、または耳や目に付かないといったような情報の周知が限定的であるように思うので、そういったことに興味がある人以外や若い人にももっと活動や支援情報が届き、支援の輪が広がったり、困っている人が相談しやすいように、学校教育にもっと積極的に取り入れたり、ITやSNS（TwitterやInstagram）、メールサービス等デジタル媒体をもっと活用してほしいと思う。最後

に、いつもより良いまちづくりのためにご尽力くださりありがとうございます。今後も皆で助け合い、支え合えるあたたかい町であることを願います。(30歳代 女性 玉西1区)

○高齢者が生活していくうえで、どのようなことや相談事をどこへ連絡したら良いかを分かりやすくしてほしい。あるいはどんなことでも連絡先を一本化し、その上でその窓口から適切な部署へ振り分けていただけるとありがたい。例えば「高齢者のお困りごと」は武豊町のTEL〇〇へというように、単純化していただけると相談しやすい。

(70歳代 男性 馬場区)

○支援が必要な人が相談できる窓口があること、その窓口が身近にありどのような支援があるか、情報が手に入りやすいこと(新聞、フリー情報誌、商業施設等への掲示)。

相談できる機関があるということを知り、抱え込まない、支援を求めやすい環境があることを望みます。(20歳代 女性 玉西1区)

○老人ホームや介護施設の情報などを知らせてほしい。地元のお仕事や求人情報などを知らせてほしい。(40歳代 男性 緑台三丁目)

○支援活動の内容が書かれたチラシをポストインしたり、困った時に相談できる場所があると助かるかなと思います。(30歳代 女性 中山区)

○民生委員さんがどこにいるのか、どんな活動をしているかよく分からない。広報に出ていない。(60歳代 女性 馬場区)

○避難場所や利用できる保育サービスなど役場に行かないと分からないので、一覧にしたものが各家庭に配られると嬉しいです。(30歳代 男性 北山区)

○この先町内の施設を利用しないように健康に気をつけて生活していますが、お世話になるかもわかりません。町内にどんな施設があるのか知りたいと思います。(70歳代 女性 馬場区)

(11) まちづくり(歩道、公園等)

○駅周辺の交通のスムーズさや駐車場の確保(役場などへ行くときに不便なので)。図書館の夜間使用(民間ではあたり前なのに公的機関は何故できないのでしょうか、働いている人には、使える時間が限られているのに)。夜間資源ごみ回収なども。(50歳代 女性 玉西2区)

○ボランティア活動には参加していないが、慈善団体に月々寄付しています。信号機の設置、またそのための道路の整備(横断歩道)。災害対策のひとつとして電柱を地下

-
- へ（地盤の低いところは除く）。人口の割に警察官が少ない？ 分署が必要では。地方自治体のほとんどが「非核・平和宣言のまち」宣言だけで行動してない。（40歳代 男性 緑区）
- 今でも十分生活しやすい町だと思います。（40歳代 女性 富貴市場区）
- 地域環境の美化を進めてほしい。散歩していても自然豊かであるはずなのに、うっそうとした森等が環境を悪くしている場所があることにより自然の美しさを壊している。（70歳代 女性 富貴区）
- 公園を作ってほしいです。（20歳代 女性 市場区）
- 明石公園のようなちょっとした乗り物がある公園があれば楽しそう。（20歳代 女性 上ヶ区）
- 老人や小さな子どもが散歩中や買物途中に休憩できる小さな公園（ベンチと花だん程度）が各町内会にできるとありがたいです。（60歳代 女性 玉東区）
- 未就学の子が安心して遊べる公園が少ない。最近平井に小さな公園ができたが、小学生の子がボールなど（野球、サッカー）で遊びだしたら、小さな子が気をつけて端の方で遊ぶしかなくなってきます。また、平らな部分が少なく、小さな子は落ちてしまいます。公園を造ったら全年齢の子が安心して遊べるルールを明記すべき。実際に遊びに来ている親に意見を聞いたほうがいい。その状況を見ないと分からないと思います。武豊町は裕福だと聞きましたが、他の町に比べて住民に還元してくれていません。武豊に住んでいても自慢する所がありますか。（40歳代 女性 北山区）
- 私も主人も毎日、朝・夕散歩しています。なるべく車が少なく、歩道を歩きたいと思っていますが、歩道がありません。高齢者が安心して散歩できるよう、道路を直してほしいです。一週間に一回の健康体操をするより、毎日の散歩のほうが医療費を安くできると思います。「継続は力なり」です。散歩は時間、コース自由ですから。安全な歩道を歩きたいです。（60歳代 女性 大足区）
- 平井公園の整備を定期的にしてほしい。一番近くの公園だが、遊具が少なく草が刈っていないので虫がたくさんいて行く気になれません。（30歳代 男性 馬場区）
- 車イス、ベビーカーがスムーズに通れる道の整備、町の中に入るとデコボコの道、草、枝などほんとうに通りにくいと思います。大きな県道などはいいのですが、生活道路はほんとうに困ります。個人宅に切っただけのように声をかけていただきたい。（60歳代 男性 玉東区）
- 同じ町内でも、知らなかった地区の写真などを目にして、素敵だと町民としてうれし

くなることがよくあります。足を運べる範囲の場所をいくつか提示し、町民としての豊かさを追求してもよいと思います。町民から個人的感想も含めた情報を募るとよいでしょう。(30歳代 女性 玉西2区)

○子ども達の将来について、安心して家庭が持てる環境の良い町づくり。高齢者は都会のような派手な生活環境は必要なく、静かで生活環境（特に空気）の良い武豊で生活を続けたい。(70歳代 男性 馬場区)

○国道247号線にすべて歩道を作るべきだと思います。また、武豊町には公園が少ない。野球やサッカー、バスケ3on3等ができるところを増やしてほしい。若い世代が流出しないように、子育て世代が住みやすい町づくりをして活性化してほしい。(50歳代 男性 大足区)

○ボール遊びが禁止になった公園から完全に子どもの姿が消えています。一体誰のための公園なのか今一度考えてほしいと思います。以前から何度か要望していますが一向に反映されません。子どもが遊ばない公園は草も生え放題で、乳幼児も遊ばせることができません。これまで何度か武豊町から、よりよい町作りをしていくためにアンケート調査を、今回と同じように送られてきました。その度記入してきましたが、そのアンケートの統計を町民全体に提示をしていただきたいです。他の町民の意見や要望を知り、1つ1つの対策への取り組みがどのような状況になっているか知りたいです。よろしく願います。(40歳代 男性 北山区)

○買い物ができるスーパーなどが少ない気がします。もう少し何か所かあると便利だなあとと思います。将来、子どもが通う小学校への距離が遠すぎて不安です。緑丘小の方が近い気がするが、なぜ衣浦小？ 令和3年にできた武豊中央公園をよく利用します。作っていただいととても感謝しています。令和4年にOPEN予定の温水プールも楽しみです。(30歳代 男性 玉西2区)

○道路がせまい所が多いので、広くできる所はしてほしいです。近くにスーパーやコンビニがないため、買い物ができる所がほしいです。(30歳代 女性 富貴区)

○武豊町は新しい住宅地も増え、人口増加している中で、歩道と車道の分離はされておらず、学生や高齢者が車道へ出てしまう所が多くあるのは気になります。交通事故を防ぐことができれば、より住みやすいまちづくりの一つとして確立できるのではないかと考えます。狭い道路に大きなトラックが入ってくれば、当然事故のリスクも上がるので、防犯カメラを取り付け、見回り、パトロールなど地域の目を向けていくことで、行政と町民のカベを取り除いた一体感が生まれるのではないのでしょうか？(30歳

代 男性 玉西2区)

- 半田市より武豊町に引っ越して来ました。道が暗いのにまずびっくりしました。夜明るいといそれだけで安心できると思います。(50歳代 男性 上ヶ区)
- 公園ができたのはうれしいが、木陰があるような場所がもっとほしい。大きな木があれば陰もできるし、木登りもできるので大きな木がほしい。もう少し大きな遊具があるとうれしいです。(30歳代 男性 玉西1区)
- 自転車専用道路があると良い。大人も自転車で蛇行したり飛び出してくるから運転中危ない。安全で分かりやすい道路にしてほしい。よく、道路の線が消えていたり、アスファルトが欠けていたりします。富貴駅の目の前付近は歩道が駅と逆にしかないので、障がいがない人でも危ないと思う。スレスレを車が通って行く(踏切のところ)。富貴の住宅側にもお店がもっとあれば、年を重ねてからも買い物難民にならないと思う。武豊駅付近ばかりでなく富貴地区にも目を向けてほしい。エコステーションも富貴にほしい。(40歳代 女性 富貴区)
- 大きい公園がほしい。街灯が少ない。(30歳代 男性 富貴区)
- 安全で住みやすい町になってほしいです。(60歳代 男性 馬場区)
- 子どもが遊べる公園、遊具がたくさんある大人も楽しめる場所がほしいです。動物がいる公園など。(60歳代 女性 馬場区)
- 子ども達が広々とした場所でなかなか遊べないので、広場などがほしい。昔ながらのような駄菓子屋さんができたら良いなと思う(自分もそこでいろいろ学んだので)。(30歳代 女性 市場区)
- 道路の整備。難しいことかもしれませんが、自転車で行動することが多い子どもたちのために、歩道がもう少し広がっていると車道に飛び出さなくて良いかなと思います。(20歳代 女性 玉西1区)
- 自然歩道の管理、充実してほしい。健康(ウォーキング)が増えてきています。(70歳代 女性 原田区)
- 中央公園の所に横断歩道を設けてほしいです。高齢者の皆さん・子ども達が安心して公園に行けるためにもお願いします。安心・安全のためにも通学路の確保。子ども達が安心して通学できるか通学路の点検も行ってほしいです。(60歳代 女性 玉西1区)
- もっと公園を充実してほしい。増やしてほしいです。(60歳代 男性 東大高区)
- 歩道の整備。(70歳代 女性 玉西2区)

-
- 以前あった交通公園があると、子どもが自転車の練習をしたり交通ルールを学べるので、あるといいなと思います。武豊町運動公園は施設利用の予約をした人のみが訪れる場所の印象ですが、もっと町民にレジャーとして訪れてもらえる公園になると良いと思います。新たに開発された総合公園は、ウォーキングコースや子ども用の遊具が整備されて町民の憩いの場になりつつあると思います。運動公園のほうも、もっと開かれた施設になるよう整備されると良いと思います。図書館を高齢者や障がいのある方がもっと利用しやすいようになれば良いと思います。週末子どもとよく利用しますが、本の検索方法や読書スペース等まだまだ改善の余地があると思います。(40歳代 女性 市原区)
- 腰が悪くて歩くのが苦痛なため自転車で「サイクリング運動しよう！」と30分前後サイクリングしています。ある日「自然公園まで行ってみよう」と出かけたところ、自転車では危険な場所がありました。安全に楽しく運動がしたいですので「安全な道」を希望します。(70歳代 女性 東大高区)
- 高齢者が散歩の途中に休憩したい時、無料で入れる場所(施設)があったらいいと思います。(60歳代 男性 北山区)
- 歩道のところに長い草が生えているところがあり、横断歩道を渡ろうととまっていた子どもが遠くからは確認することができず(草でかくれていたため)、横断歩道に近づいてやっと気がついたのですが、急には止まることはできませんでした。通り過ぎてからとても危ないし、こわいと思いました。そういった道路に生えている草などをボランティアなどで定期的に(長くなる前に)除草できたらと思いました。(30歳代 女性 平井)
- 富貴保育園の横の公園は、保育園帰りの子どもたちがたくさん遊んでいるので、トイレと手洗い場、日陰とベンチが増えるとありがたいかなと思います。子どもが(自分の)複数人いると保育園の送迎の際の歩道橋が大変です。(20歳代 女性 富貴区)
- 公園の街灯を明るくしてほしい。ごみ集積所に(鳥や猫が荒らさないように)扉をつけてほしい。(30歳代 女性 大足区)
- 富貴、富貴市場地区には子どもが遊びたくなる公園、大人がくつろげる公園がない。災害避難所用に作られたため何時も草ぼうぼう、芝生がない、遊具は最低限のもので面白みがないため、子どもが遊びに来ない。半田の運動公園、東浦の於大公園、大府の健康の森、東海市の大池公園のような子どもが喜んで遊べる公園があると良い。(50歳代 女性 富貴市場区)

-
- 武豊の中心辺に町民の共有スペースとして、広く、屋根やベンチのある公園を作れば、男女も老人も子どもも気にせずにコミュニケーションがとれて団結すると思います。
(20歳代 男性 市場区)

(12) 防災・防犯・交通安全

- 防犯カメラの設置数を増やしてほしい。暗い道がまだまだ多いので街灯をもっと増やしてほしい。(40歳代 女性 東大高区)
- 見通しの悪い所へのミラーや電灯の設置。(40歳代 女性 下門区)
- 地震の際、愛犬と避難できる場所の確保をお願いしたい。(40歳代 女性 富貴区)
- 大地震への備えが心配です。他地域での被害を考えると他人事とは思えないので、具体的アイデアひとつ出せず申し訳ないですが、社会的弱者も安心して避難して、みんなで生きられたらいいと思います。(30歳代 男性 大足区)
- 東日本大震災経験者です。富貴小学校が避難所となっていますが、万が一同じレベルの津波が来た際、避難所はまるっと津波に飲み込まれます。海も近い場所なので避難所等の見直しをした方が良くと思います。(30歳代 女性 富貴区)
- 歩道と車道を色で分ける。(20歳代 女性 迎戸区)
- 運転マナーが悪い方をよく見かけるため、交通ルールが守れる人が多くなるように呼びかけ運動をしてほしい。無断駐車が多く他人の駐車場に駐車し、子ども（小学校低学年）を乗せたまま一晩中親は遊んでいたことが数回あり、110番通報しています。治安も悪いため見守り等強化してほしい。夏に脱水症状を起こしても危険なので心配でしょうがない。他人の駐車場に駐車（長時間）した場合レッカー移動できる等条例があるとありがたいです。警察は民事介入できないというだけで尊い命が失われるかもしれません。(40歳代 男性 鹿ノ子田)
- 暴走事故（アクセル、ブレーキの踏み間違い運転、登校中の小学生の列に車が突っ込む事故、酒気帯び運転）、このような事故が多発しています（高齢者が絡んでいる）。80歳を過ぎたら巡回バスを利用してほしい。登校中の小学生の先頭と後頭の子どもにホイッスルを持たせてほしいと思います。武豊町ではこのような事故がないよう願っています。(60歳代 女性 富貴市場区)
- 高齢者、子どもの交通事故防止のため、車（コミュニティバス）等、地域にもっと乗り場を増やしてほしい。(70歳代 女性 原田区)
- 毎晩バイクがうるさくて眠れない。交通量が多い通りで児童、学生が細い道を通学し

ているのを見ているとつらくなります。大きな店舗ができてから治安が悪くなったように思う。(40歳代 男性 玉西2区)

(13) 移動手段

- 町内のコミュニティバスの件ですが、赤いルートバスが緑台を通って頂けるととてもありがたい。私を含めて年代が高い人達ばかりが多いです。タクシーを利用しても時間の間待たなければならないため。(70歳代 女性 玉西2区)
- コミュニティバスをもっと充実してほしい。本数を増やす。往復できるようにしてほしい。(60歳代 男性 東大高区)
- コミュニティバスの運行本数、時間を増やしてほしい。(50歳代 女性 中山区)
- 北山区など特にはずれの地域では、コミュニティバスなども決して利用しやすいモノではありません。買い物、病院等も遠く、本来ならもっと利用したい人が多いと思います。同じ武豊町です。隅々まで行き届く福祉であってほしいと思います。(50歳代 女性 北山区)
- コミュニティバスを朝7時頃から運行していただきたい。(50歳代 女性 馬場区)
- 町内を走るコミュニティバスが南、北回りが一定方向でなく、反対方向からも回るといいなと思います。(70歳代 女性 玉西2区)
- ますます増える高齢者(自動車免許返納必要者・希望者)に対するバス運行の充実とPR。(80歳以上 男性 馬場区)
- 町民のためのバスですが、足が悪いので停留所まで行くのにタクシーがありますが、予約でまたタクシーの停留所まで歩いていく? なんとかならないでしょうか、家まで来るとか? 考えてほしいです!(60歳代 男性 富貴区)
- 現在やっているか分かりませんが、無料バスなどあるといいと思います。(60歳代 女性 北山区)
- 近い将来買い物難民になる可能性があります。中心部だけでなくまんべんなく住みやすいまちづくりをしてほしい。(60歳代 女性 富貴区)
- 交通手段の充実。(50歳代 男性 馬場区)
- 親・子・孫三代ですが、昼間は皆それぞれ出かけている生活です。車に乗れなくなる時が目の前にせまっています。公共のバスでの買物、病院通いが大変になってくるので、交通網の充実を図ってほしいです。(70歳代 女性 下門区)
- クルリンバスの停留所の発着の時刻表の配布。プールの利用優待(高齢者)。バスの

回数を増やす。(70歳代 女性 馬場区)

○「ゆめころん」の北部ルートのお客さんが多いのですが、なんとかなりませんか。(80歳以上 女性 馬場区)

○早い時間、遅い時間のコミュニティバスの走行による便利のいいまちづくり。(女性)

○コミュニティバスの運営費を高齢者のタクシーチケット代にまわしてほしい。バスの乗車人数が少ないので不安。バスに乗れない高齢者が受診・買い物に困っています。

(50歳代 男性 富貴区)

○時々利用するコミュニティバスの一方通行廻りから役場を基点に戻り廻してほしい。時間がかかりすぎるため。(70歳代 男性 北山区)

(14) 町への要望

○プールの料金を低価格にして、子どもや高齢者はもちろん町民みんなが健康のために通えるようにしてほしい。(50歳代 女性 馬場区)

○「仕事」として活動するのではなく「同じ空気を吸っている住人」として、広報よりも、同じ目線で、話し合える行動をとってほしい。建物を作ることより人を作ってほしい。(60歳代 男性 富貴区)

○税金の無駄遣いを見直し、赤字を少しでも減らしていく。(40歳代 女性 下門区)

○ふるさと納税等による資金確保。(50歳代 男性 市原区)

○私は高齢者というには若く、子どもというには年をとり障がいを持っていないため、彼らの「自分らしい」という価値観がわかりません。そもそも一人一人価値観が違うので、町民みなさんが「自分らしい」生活をする町は無理があるのでは？ せめて、生きやすいぐらいにしてはどうでしょうか？ 私は生活しやすいなと思っています。欲をいえば病院（専門医）を誘致してほしいです。昔からある開業医は先生の高齢化で行きづらくなりました。施設とは関係ないのですが、エキノコックス対策を早急にしてほしいです。武豊ではみつかりませんが、まだ、見つかってないだけです。エキノコックスは本当におそろしい寄生虫です。(40歳代 女性 玉西2区)

○役場の方の親切な対応を望みます。事務的な対応が目につきます。もう少し優しさを心がけてください。面倒だなあ～っていう態度が顔に出ています。気を付けてください。(50歳代 女性 小迎区)

○草刈り等をもっと町がやってほしい。(60歳代 男性 北山区)

○ワクチンパスポートの導入。公共スペースではワクチンパスポートを持っている人だ

けの利用にしてほしい。(20歳代 男性 玉西2区)

- 防災無線をリプレイスして、一人世帯の安否確認や高齢者への買い物支援の連絡手段など、現状の設備をよりよい方法で活用していただきたい(現状、受信しているのか分からない。)(50歳代 男性 馬場区)

(15) 社会福祉協議会

- 自宅に高齢者がいた時、福祉協議会の方に来ていただき、受けられるサービスや範囲の説明と手配をしていただき大変助かりました。(70歳代 男性 玉西1区)
- 社会福祉協議会の活動について、あまり身近に感じられていないというのが正直なところです。「福祉」はどの人にもとても身近なものであるはずですが、もっと気軽に誰でもが参加しやすいようになればいいと思います。活動自体にあまり変化が感じられません。社会福祉協議会の活動がその市町の福祉の要になると聞いています。実際、他の市町ではさまざまな取り組みをしていると聞いています。武豊町は小さい町ですが福祉施設がいくつもあります。そこをつないで福祉の柱をしっかり造り上げてほしいと願っています(連携が弱いのではと思っています)。私自身もできる範囲で活動に参加したいと思っています。(60歳代 女性 富貴市場区)
- 問27(社会福祉協議会の活動)の内容が分かりづらい。(60歳代 男性 富貴区)
- 社会福祉協議会にあまり関心がなかったのがありますが、質問に対しての回答の言葉が分かりづらく、回答するのに困りました。福祉にしろ、ボランティアにしろ、もっとわかりやすく人に寄り添う形で進めていってほしいと、回答しながら思いました。(70歳代 女性 上ヶ区)

(16) アンケート

- 人は確定されないと書かれているが、確定するでしょ?(60歳代 女性)
- 高齢者へのアンケートはむつかしいかと。家族とか他の人からのかみくだいた内容にしないとわかりづらいので、内容を簡単にしてほしい。(80歳以上 女性 北中根)
- 武豊に住んで30年以上になります。とても暮らしやすく、いい所だと、感謝しております。アンケート調査をいただきましたが、高齢ですので…、もっと若い人をお願いします。(70歳代 女性 市原区)
- QRコードからのアンケートだと若い世代からの回答回収率が上がるのではないのでしょうか。(40歳代 女性 大足区)

(17) その他

- 武豊町に引越してきて最初に驚いたのが、小学生のナップサックと武豊中学校の男女でジャージが色分けされていることでした。小学校ごとにナップサックの色が決まっていると近所の方から聞いたので、ナップサックの色ぐらい自分の好きな色を選択させてほしいと思います。また、中学生ジャージの男子が青、女子が赤ジャージなのも遠くから見てよく分かるので、子ども達が性犯罪に巻き込まれる危険性が高くなりますし、兄弟でおさがりが使えないという経済的理由、そしてジェンダーレスが進んでいる世の中で、男女を色分けすることはジェンダーに悩む子ども達には辛いのではないかと思います。ジャージの男女の色分けは、すぐに廃止してほしいです。(30歳代 女性 玉西1区)
- 今、何も浮かばない。顔つなぎをしておけば良かったのかもしれないが、余裕がなかった。自分の立ち位置でできることをしていて、自分の身の回りの人(高齢者～妊婦～小さな子～障がい者)の住むところまで行くことで精一杯である。今は何も考えることができない。ただ、不安から、安心できるまで…、見守るしかない。と思いながら生活している。(60歳代 女性)
- この先私もお世話になると思うので、よろしくお願いします。(70歳代 女性 玉西2区)
- 武豊の病院は信頼できない。(40歳代 男性 玉西2区)
- 豊成二丁目、夜間、庭の電気照明がまぶしく感じるくらいの明るさでつくっています。(60歳代 女性 北山区)
- 子ども達への金融知識の提供や経済などの動向の見方を教育し、少子高齢化していく日本で生き抜く術を教えるべきだと思います。地域の活性化や価値を高めたいという考えがありましたら避けられない点だと思います。(20歳代 男性 富貴区)
- 住みやすい町だと思っています。高齢者を支える立場として何かしらの役に立てたらと思いますが、まだ子育て中なのでそちら優先になると思います。役場の方々もいつもありがとうございます。(30歳代 女性 東大高区)
- 不要な議員を削除(定数減)して、住民税を下げること。(70歳代 男性 玉西1区)
- 近くにポストがありません。いつも不便しています。(80歳以上 女性 上ヶ区)
- 良い意味での「ゆとり」と考えます。信号機の赤→青の時間をすべて1秒ずつのばすなど。(30歳代 男性 玉西2区)
- 高齢化社会の真ただ中に突入しようとする小生ですが、人生は人それぞれが納得し

てしめるものと思っています。他人に強制されることなく、自由に生きられるよう全身全霊で努力し続けることが大切だと思います。(70歳代 男性 下門区)

○電柱に尿・フンをする犬に対して町として紙オムツをさせて散歩させる等、マナー向上に取り組み、推奨してください。(40歳代 女性 緑区)

○コロナで忙しい中おつかれさまです。頑張ってください。(20歳代 女性)

第2章 中学生調査

1 基本属性

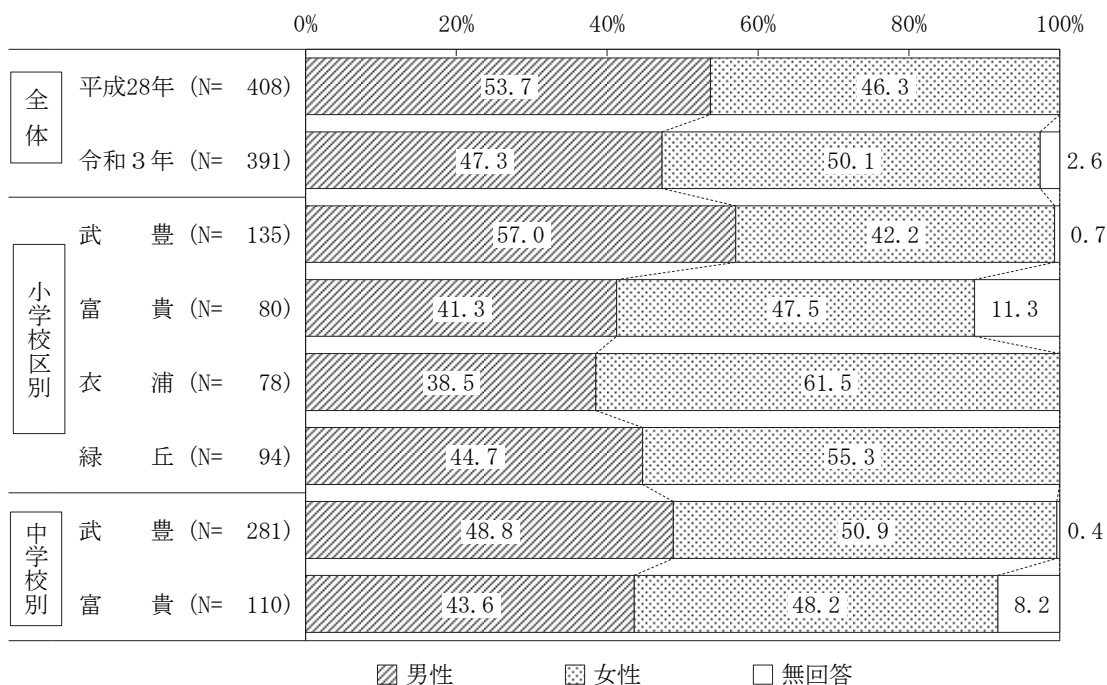
(1) 性別

回答者の性別は、「男性」が47.3%、「女性」が50.1%となっています。平成28年に比べると「男性」が6.4ポイント低くなり、「女性」が3.8ポイント高くなり、女性が男性を上回っています。

小学校区別に見ると、武豊の「男性」が57.0%と非常に高く、他の区はすべて女性が男性を上回っています。特に衣浦は「女性」が61.5%を占めています。

中学校別に見ると、いずれも「女性」が「男性」を上回っています。

図表2-1 性別



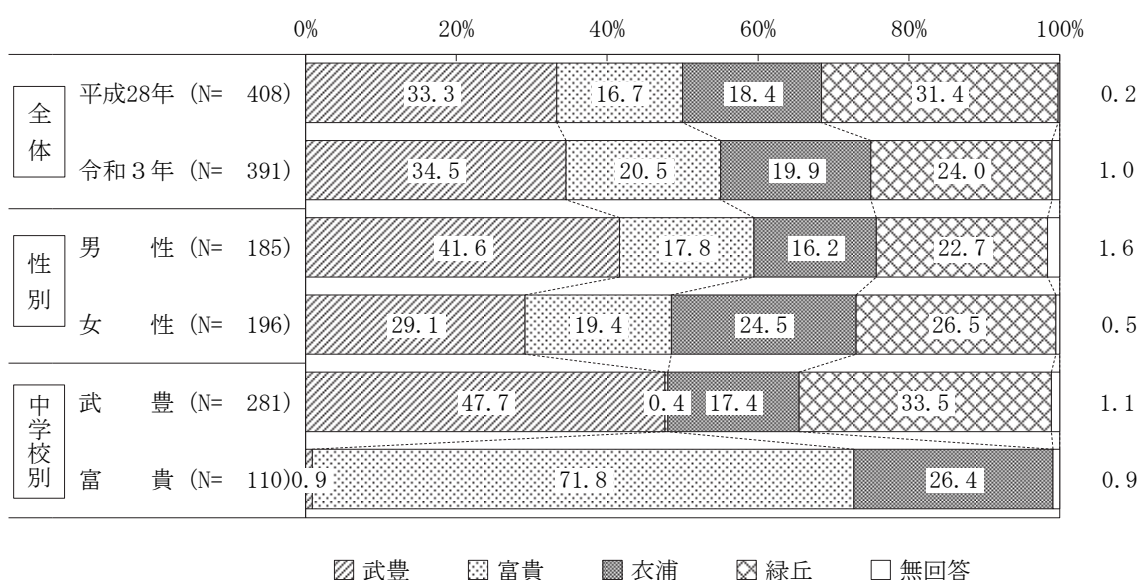
(2) 居住区（小学校区別）〔問1〕

回答者の小学校区は、「武豊」が34.6%と最も高く、「緑丘」が24.0%、「富貴」が20.5%、「衣浦」が19.9%となっています。

性別に見ると、男性は「武豊」が41.6%と最も高くなっています。女性は全体の割合に比べると衣浦の割合が高くなっています。

中学校別に見ると、「衣浦」小学校区は武豊中学校と富貴中学校に分かれています。武豊中学校は、「武豊」が47.7%、「緑丘」が33.5%、「衣浦」が17.4%の順となっています。富貴中学校は、「富貴」が71.8%、「衣浦」が26.4%となっています。

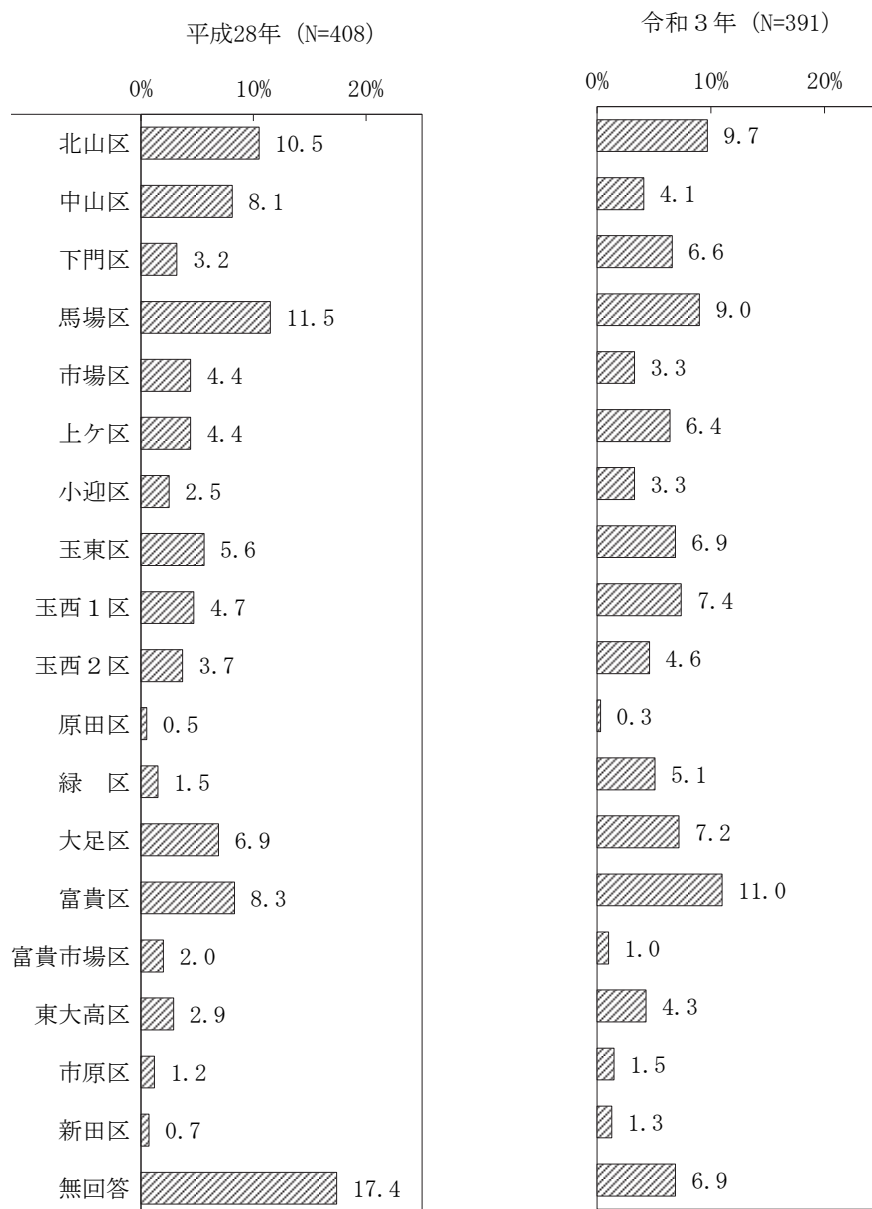
図表2-2 居住区（小学校区別）



(3) 居住地区（自治区別）〔問2〕

自治区別に見ると、全体では「富貴区」が11.0%で最も高く、「北山区」（9.7%）、「馬場区」（9.0%）、「玉西1区」（7.4%）、「大足区」（7.2%）の順となっています。平成28年に比べると、「下門区」「緑区」が3ポイント以上高くなり、「中山区」が4.0ポイント低下しています。

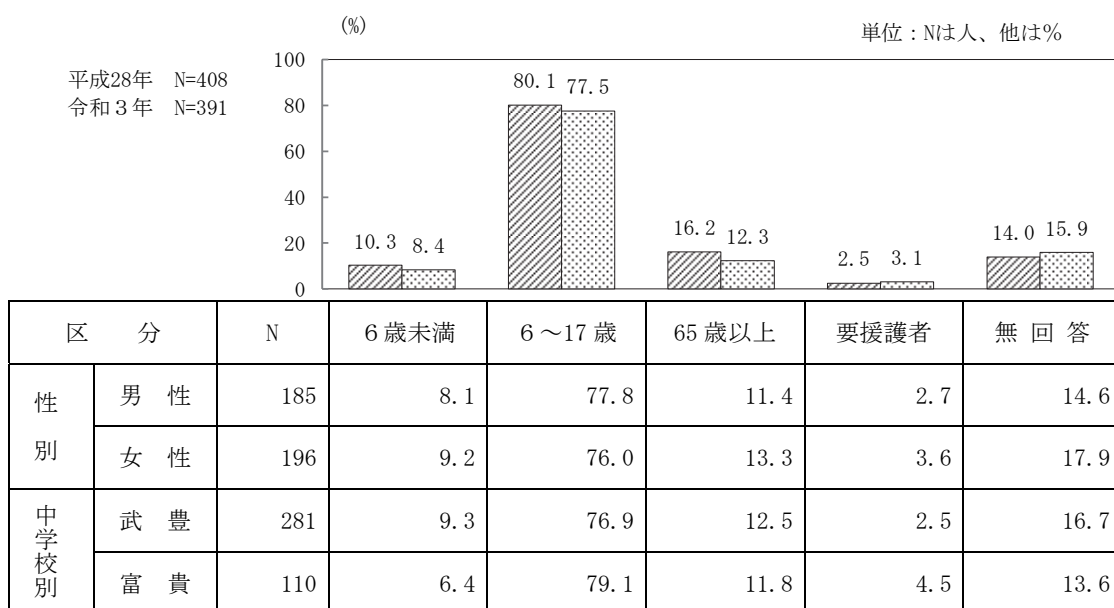
図表2-3 居住地区（自治区別）



(4) 同居者（子どものいる世帯、高齢者や要援護者のいる世帯）[問3]

一緒に暮らしている家族に、子ども、高齢者、要援護者がいるかをたずねたところ、「6歳未満の子」が8.4%、「6歳以上17歳の子」が77.5%、「65歳以上の方」が12.3%、「体が不自由な方や日常生活で支えが必要な方（要援護者）」が3.1%となっています。平成28年と比べると、「6歳未満の子」「6歳以上17歳の子」「65歳以上の方」がわずかに低下し、「要援護者」がわずかに高くなっています。

図表2-4 同居者（子どものいる世帯・高齢者や要援護者のいる世帯、複数回答）

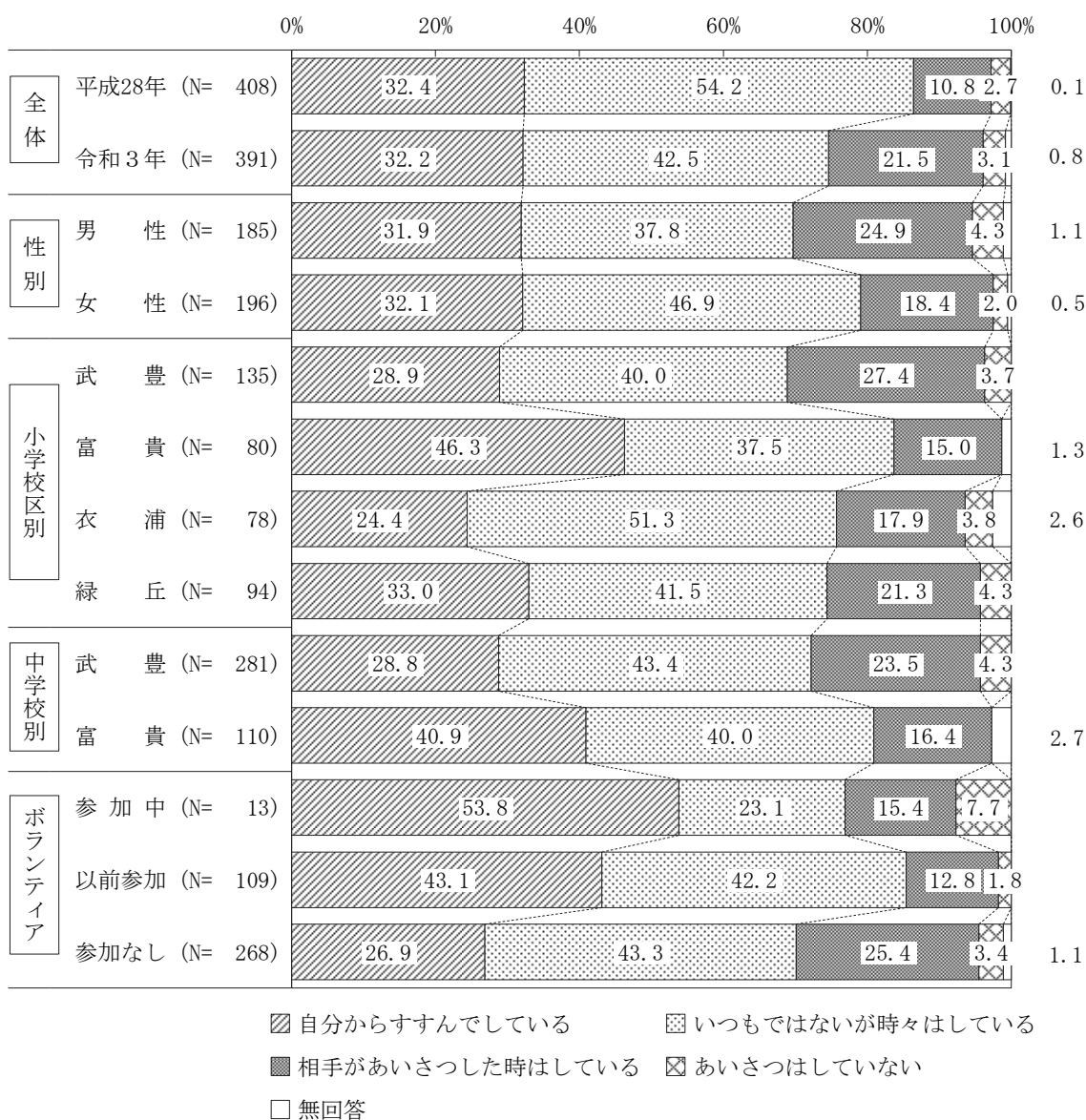


(5) あいさつ [問4]

近所の人にあいさつをしているかたずねたところ、「いつもではないが時々はしている」が42.5%と最も高く、次いで「自分からすすんでしている」の32.2%となっています。平成28年と比べると、「いつもではないが時々はしている」が11.7ポイント低下し、「相手があいさつした時はしている」が10.7ポイント高くなっています。

属性別に見ると、「自分からすすんでしている」は、小学校区別の富貴、中学校別の富貴、ボランティア活動状況別の「参加中」「以前参加」が高く、40%を上回っています。

図表2-5 あいさつ

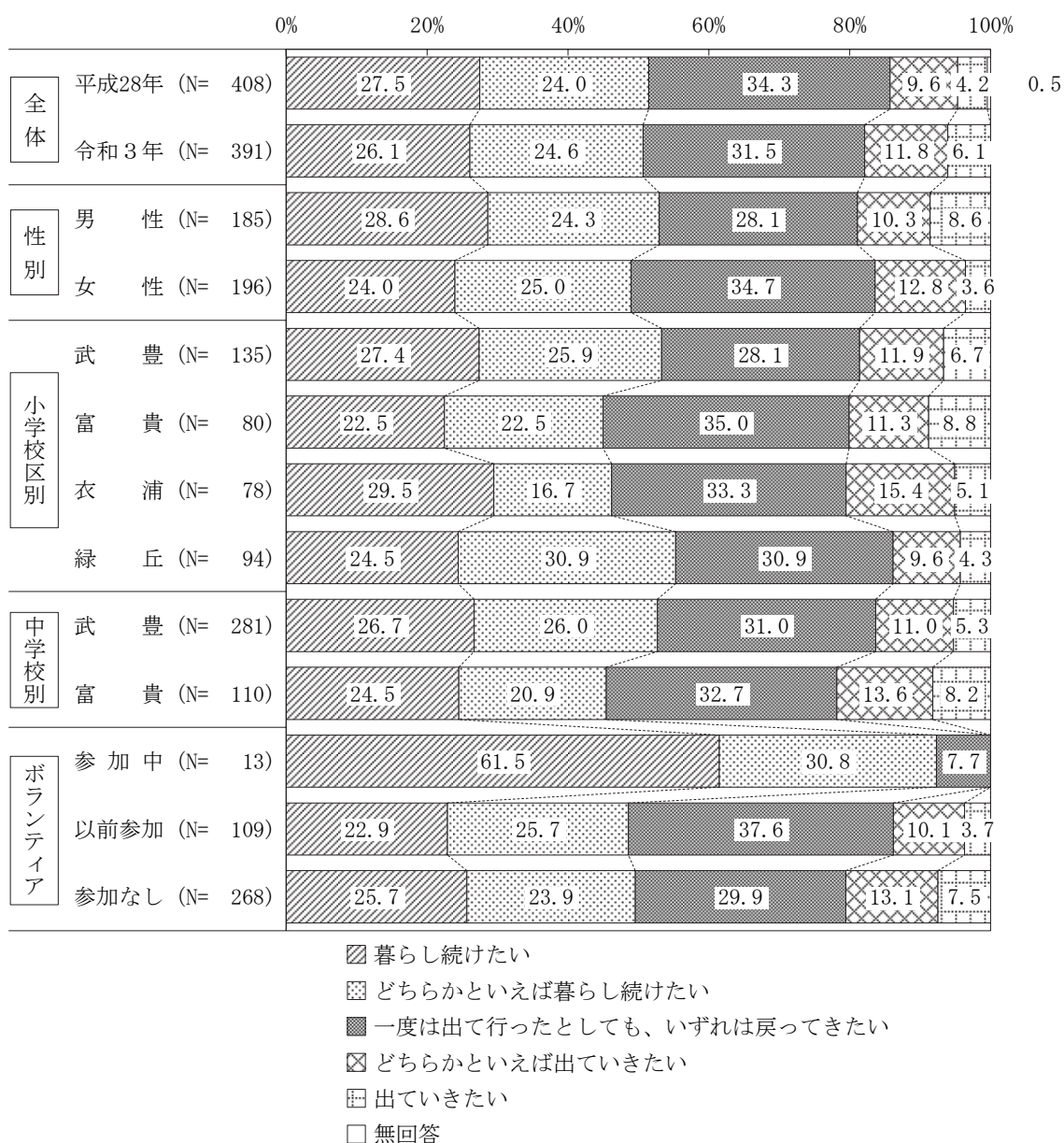


(6) 今後も武豊町に暮らし続けたいか [問5]

今後も武豊町に暮らし続けたいかたずねたところ、「一度は出て行ったとしても、いずれは戻ってきたい」が31.5%で最も高く、「暮らし続けたい」(26.1%)、「どちらかといえば暮らし続けたい」(24.6%)の順となっています。平成28年と比べると、「暮らし続けたい」「一度は出て行ったとしても、いずれは戻ってきたい」がわずかに低下し、「どちらかといえば出ていきたい」と「出ていきたい」を合わせた<出ていきたい>が4.1ポイント高くなっています。

<出ていきたい>が高いのは、性別では男性、小学校区別では衣浦、中学校別では富貴、ボランティア活動の状況別では「参加なし」となっています。

図表2-6 今後も武豊町に暮らし続けたいか



(注) 平成28年は「暮らし続けたい」を「住み続けたい」に読み替える。

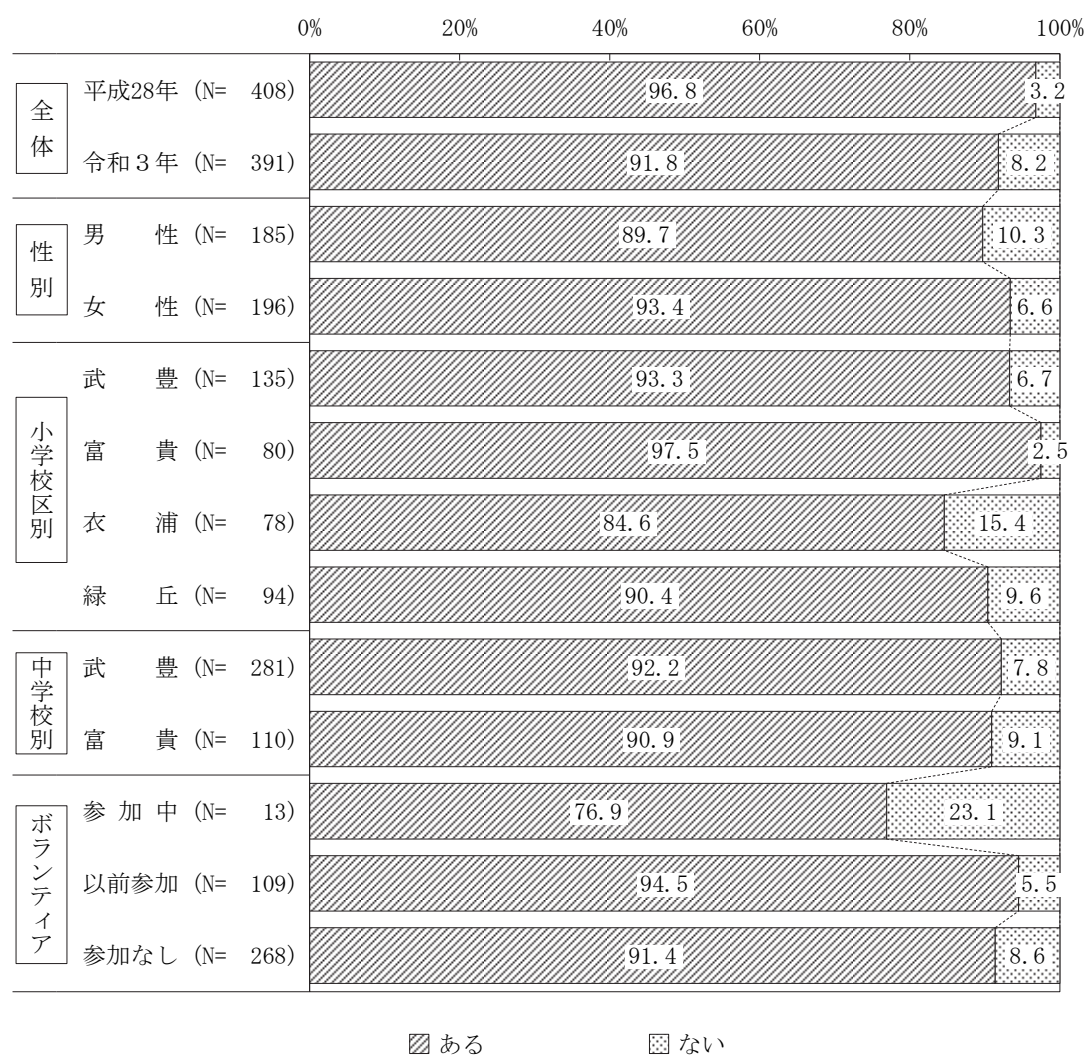
2 福祉教育について

(1) 福祉を学んだ経験 [問6]

福祉を学んだ経験についてたずねたところ、全体では「ある」が91.8%を占めています。「ない」は8.2%、32人です。平成28年と比べると、「ある」が5.0ポイント低下し、「ない」が5.0ポイント高くなっています。

「ない」が高いのは、性別では男性、小学校区別では衣浦、ボランティア活動の参加状況別では「参加中」が10%を上回っています。

図表2-7 福祉を学んだ経験

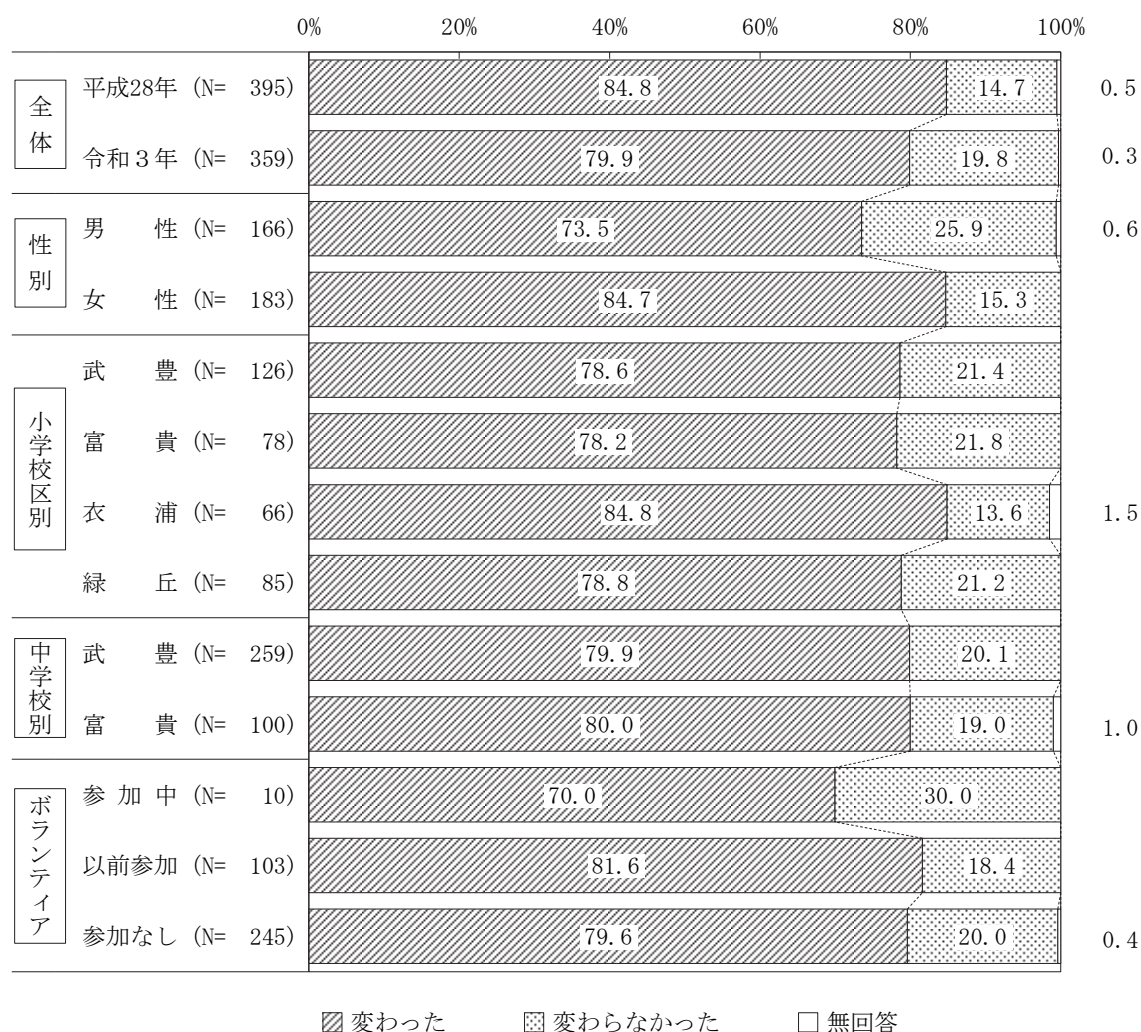


(2) 福祉意識の変化 [問7]

前問で福祉を学んだ経験が「ある」と答えた人に福祉について学んだ後の意識の変化についてたずねたところ、「変わった」が79.9%を占めています。「変わらなかった」は19.8%です。平成28年に比べると、「変わった」が4.9ポイント低下し、「変わらなかった」が5.1ポイント高くなっています。

「変わった」は、性別では女性、小学校区別では衣浦、ボランティア活動の参加状況別では「以前参加」が高くなっています。

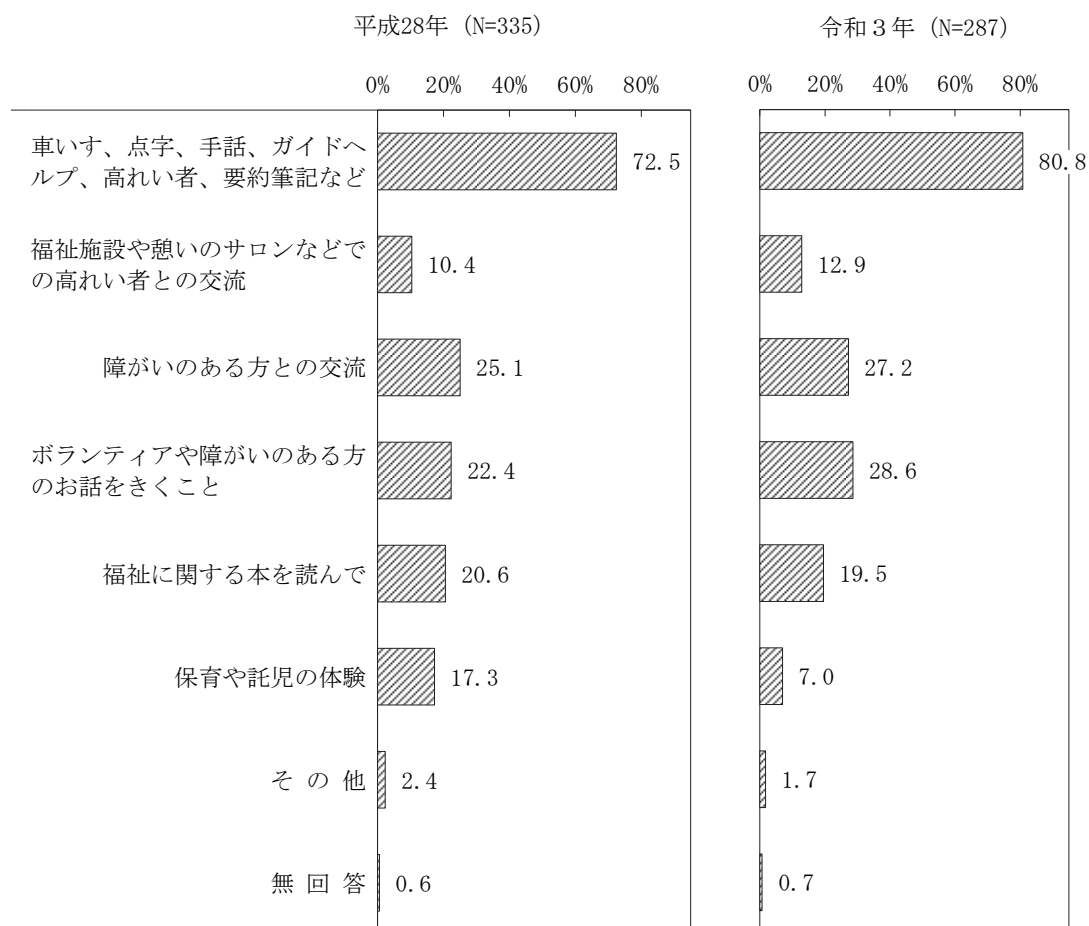
図表2-8 福祉意識の変化



(3) 意識を変えた体験【問8】

前問で、福祉について学んだ後の意識が「変わった」と答えた人に、どのような授業や体験が意識を変えたかたずねたところ、「車いす、点字、手話、ガイドヘルプ、高れい者、要約筆記など（の体験）」が80.8%と最も高く、次いで「ボランティアや障がいのある方のお話をきくこと」（28.6%）、「障がいのある方との交流」（27.2%）、「福祉に関する本を読んで」（19.5%）、「福祉施設や憩いのサロンなどでの高れい者との交流」（12.9%）、「保育や託児の体験」（7.0%）の順となっています。平成28年と比べると、「車いす、点字、手話、ガイドヘルプ、高れい者、要約筆記など」「ボランティアや障がいのある方のお話をきくこと」が6ポイント以上高くなり、「保育や託児の体験」が10.3ポイント低下しています（図表2-9）。

図表2-9 意識を変えた体験（複数回答）



性別に見ると、男女とも「車いす、点字、手話、ガイドヘルプ、高れい者、要約筆記など」が最も高くなっています。男性は女性に比べて「障がいのある方との交流」「ボランティアや障がいのある方のお話をきくこと」が3ポイント以上高く、そのほかはすべて女性が男性を上回っています。

小学校区別に見ると、いずれも「車いす、点字、手話、ガイドヘルプ、高れい者、要約筆記など」が最も高くなっています。そのほか、武豊、衣浦の「障がいのある方との交流」、武豊、緑丘の「ボランティアや障がいのある方のお話をきくこと」が30%以上となっています。

中学校別では、いずれも「車いす、点字、手話、ガイドヘルプ、高れい者、要約筆記など」が最も高くなっています。そのほか、武豊の「障がいのある方との交流」「ボランティアや障がいのある方のお話をきくこと」が30%以上です。

ボランティア活動の状況別に見ると、いずれも「車いす、点字、手話、ガイドヘルプ、高れい者、要約筆記など」が最も高くなっています。そのほか、「参加中」の「ボランティアや障がいのある方のお話をきくこと」が71.4%と高くなっています(図表2-10)。

「その他」として、「調べ学習」「自助具の制作」「災害と福祉の関係のこと」「家族が松葉づえだったとき」「よくわからない」が記載されていました。

図表2-10 意識を変えた体験(属性別、複数回答)

単位：Nは人、他は%

区 分		N	車いす、点字、手話、ガイドヘルプ、高れい者、要約筆記など	福祉施設や憩いのサロンなどでの高れい者との交流	障がいのある方との交流	ボランティアや障がいのある方のお話をきくこと	福祉に関する本を読んで	保育や託児の体験	その他	無回答
性 別	男 性	122	76.2	9.8	29.5	30.3	15.6	4.1	2.5	0.8
	女 性	155	84.5	15.5	26.5	26.5	21.3	9.0	0.6	0.6
小 学 校 区 別	武 豊	99	78.8	13.1	35.4	35.4	17.2	5.1	1.0	2.0
	富 貴	61	80.3	8.2	19.7	19.7	23.0	9.8	3.3	-
	衣 浦	56	87.5	25.0	32.1	19.6	28.6	3.6	1.8	-
	緑 丘	67	79.1	7.5	17.9	32.8	13.4	10.4	1.5	-
中 学 校 別	武 豊	207	78.7	14.0	30.4	32.4	18.8	6.3	1.4	1.0
	富 貴	80	86.3	10.0	18.8	18.8	21.3	8.8	2.5	-
ボ ラ ン テ ィ ア	参 加 中	7	85.7	28.6	57.1	71.4	14.3	-	-	-
	以 前 参 加	84	82.1	15.5	29.8	29.8	20.2	10.7	-	1.2
	参 加 な し	195	80.0	11.3	24.6	26.7	19.5	5.6	2.6	0.5

(4) 「福祉」のイメージ [問9]

「あなたがイメージする『福祉』とは次のうちどれですか」という設問に対しては、「高れい者や障がいのある方などを自分から手助けすること」が40.9%で最も高く、次いで「年れいや障がいにかかわらず、地域のみなどと支え合うこと」(36.3%)となっています。平成28年と比べて大きな変化は見られません。

性別に見ると、女性は男性に比べて「年れいや障がいにかかわらず、地域のみなどと支え合うこと」が5.3ポイント高く、男性は「わからない」「自分が行うことではなく、国や県、または町役場が行うこと」が3ポイント以上高くなっています。

小学校区別では、富貴の「高れい者や障がいのある方などを自分から手助けすること」が26.3%と他校区より低く、「年れいや障がいにかかわらず、地域のみなどと支え合うこと」

図表2-11 「福祉」のイメージ



5.5

- ▨ 高れい者や障がいのある方などを自分から手助けすること
- ▩ 自分が行うことではなく、国や県、または町役場が行うこと
- 年れいや障がいにかかわらず、地域のみなどと支え合うこと
- ▤ わからない
- ▦ その他
- 無回答

こと」が高くなっています。

中学校別では、富貴の「高れい者や障がいのある方などを自分から手助けすること」が26.3%と他校区より低く、「年れいや障がいにかかわらず、地域のみなどと支え合うこと」が高くなっています。

ボランティア活動の状況別に見ると、「参加中」の「わからない」「無回答」の割合が高いことが特徴としてあげられます（図表2-11）。

「その他」として、図表2-12の内容が記載されていました。

図表2-12 「福祉」のイメージ（その他）

- ・支え合い助け合うこと。
- ・市や町が手助けしながら地域で助け合う。
- ・相手と自分がうれしいならそれが福祉だが、その他の人が気付いているなら福祉ではないと考える。
- ・普段のくらしの幸せ。
- ・障がいを持っている人や高齢者の方と決めるのではなく、みんなが過ごしやすい町にしておくこと。

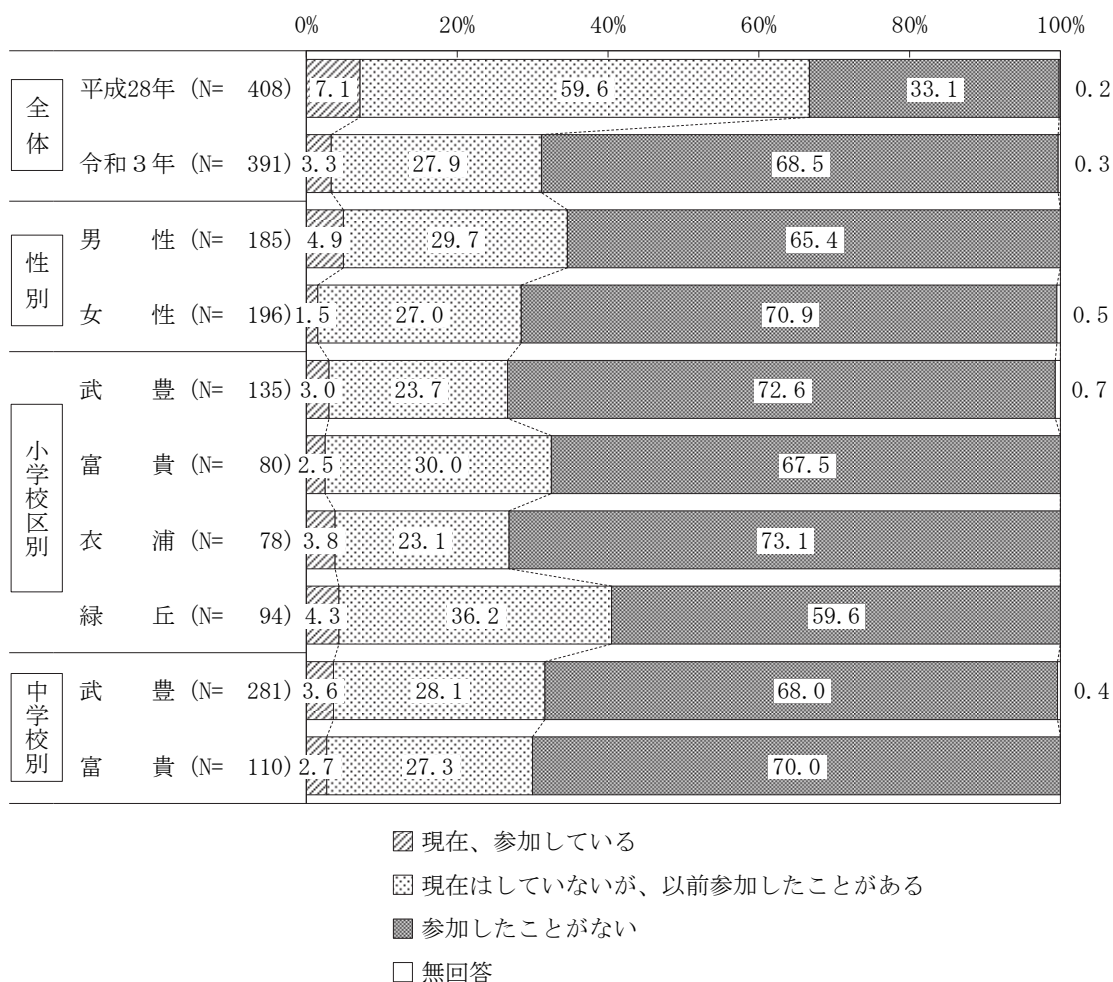
3 ボランティア活動について

(1) ボランティア活動の参加状況 [問10]

ボランティア活動の参加状況は、「参加したことがない」が68.5%を占めています。「現在はしていないが、以前参加したことがある」は27.9%、「現在、参加している」は3.3%となっています。平成28年と比べると、「現在、参加している」が3.8ポイント、「現在はしていないが、以前参加したことがある」が31.7ポイント低下し、「参加したことがない」が35.4ポイント上昇しています。これは、新型コロナウイルス感染症の影響により、さまざまな取組・活動が中止となったことが大きな要因と考えられます。

「参加したことがない」は、性別の女性、小学校区別の武豊・衣浦、中学校別の富貴で70%以上となっています。

図表2-13 ボランティア活動の参加状況

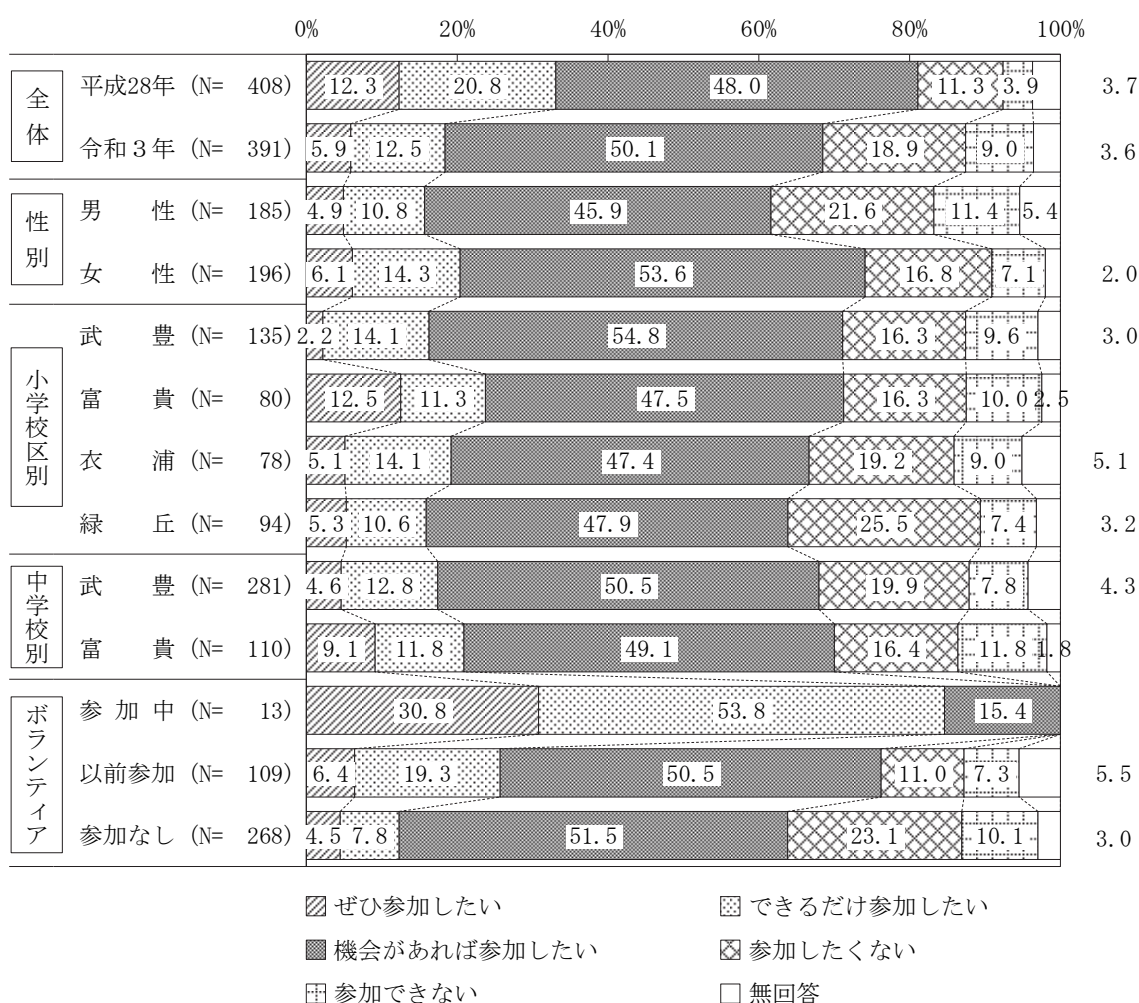


(2) ボランティア活動への参加意向【問11】

ボランティア活動への参加意向は、全体では「機会があれば参加したい」が50.1%を占め、これに「ぜひ参加したい」(5.9%)、「できるだけ参加したい」(12.5%)を加えた<参加意向>は68.5%です。「参加したくない」は18.9%、「参加できない」は9.0%となっています。平成28年と比べると、<参加意向>は12.6ポイント低下し、「参加したくない」が7.6ポイント、「参加できない」が5.1ポイント高くなっています。

<参加意向>が高いのは、性別では女性、小学校区別では武豊、富貴、中学校別では富貴、ボランティア活動状況別では「参加中」「以前参加」で70%以上です。

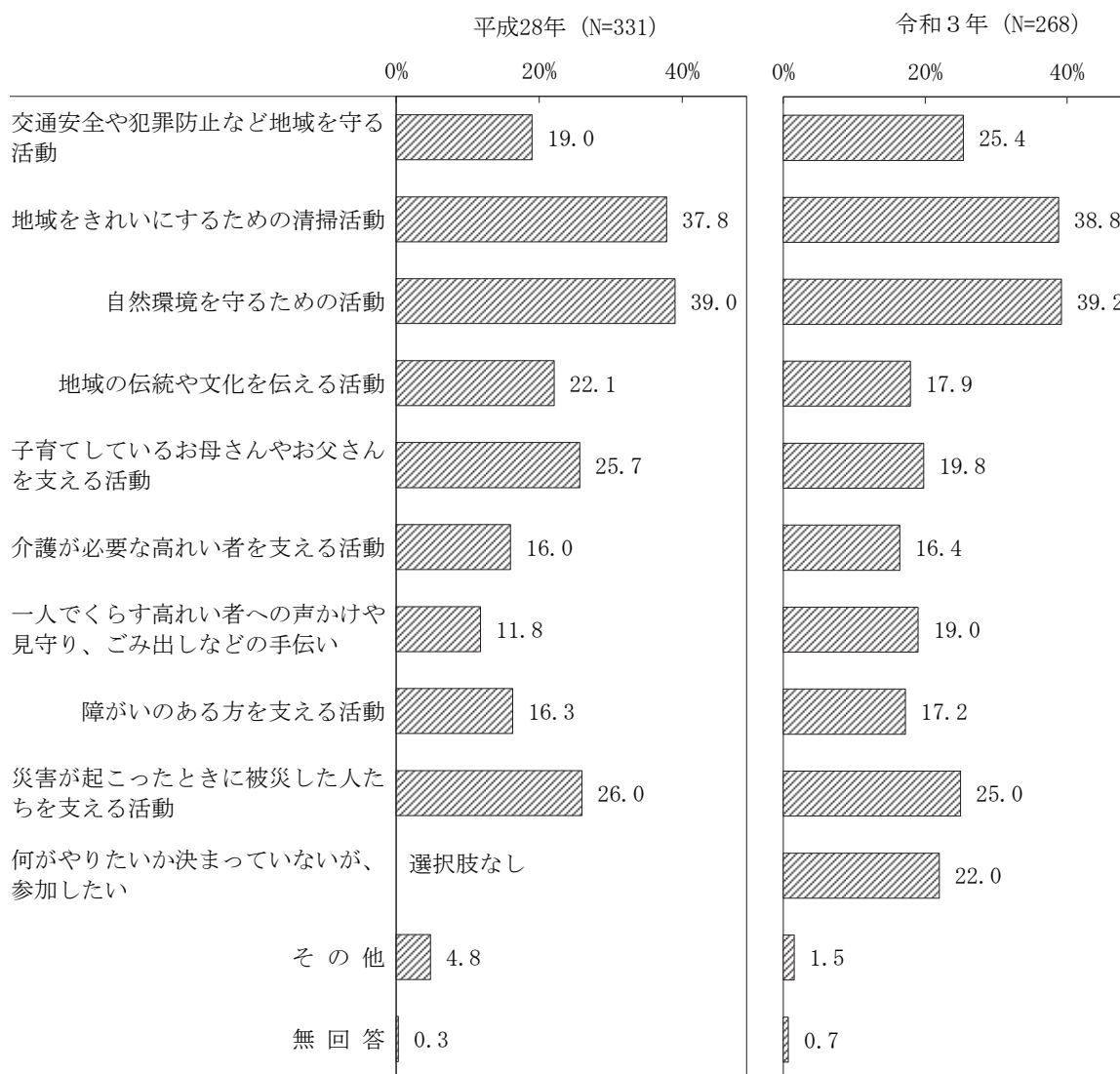
図表2-14 ボランティア活動への参加意向



(3) 参加したいボランティア活動【問12】

前問で「ぜひ参加したい」「できるだけ参加したい」または「機会があれば参加したい」と答えた人に、参加したいボランティア活動をたずねたところ、「自然環境を守るための活動」「地域をきれいにするための清掃活動」の2項目が40%近くとなっています。「交通安全や犯罪防止など地域を守る活動」「災害が起こったときに被災した人たちを支える活動」、新たに設けた選択肢「何がやりたいか決まっていないが、参加したい」も20%を上回っています。平成28年と比べると、「交通安全や犯罪防止など地域を守る活動」「一人でくらす高れい者への声かけや見守り、ごみ出しなどの手伝い」が6ポイント以上高くなり、「子育てしているお母さんやお父さんを支える活動」「地域の伝統や文化を伝える活動」が4ポイント以上低下しています（図表2-15）。

図表2-15 参加したいボランティア活動（複数回答）



性別に見ると、男女ともに「地域をきれいにするための清掃活動」「自然環境を守るための活動」の2項目が40%前後と高くなっています。全般的に男性より女性の割合が高くなっています。

小学校区別では、上記2項目に加え、富貴の「災害が起こったときに被災した人たちを支える活動」、衣浦の「交通安全や犯罪防止など地域を守る活動」も30%を上回っています。

中学校別では上記2項目に加え、富貴の「交通安全や犯罪防止など地域を守る活動」「災害が起こったときに被災した人たちを支える活動」も30%以上となっています。

ボランティア活動の状況別に見ると、上記2項目が上位を占めています。全般的に「参加中」の割合が高くなっています（図表2-16）。

「その他」として、「保育園」「幼い子の見守り」「殺処分反対運動」「みんなが安心して暮らせる町づくり」が記載されていました。

図表2-16 参加したいボランティア活動（属性別、複数回答）

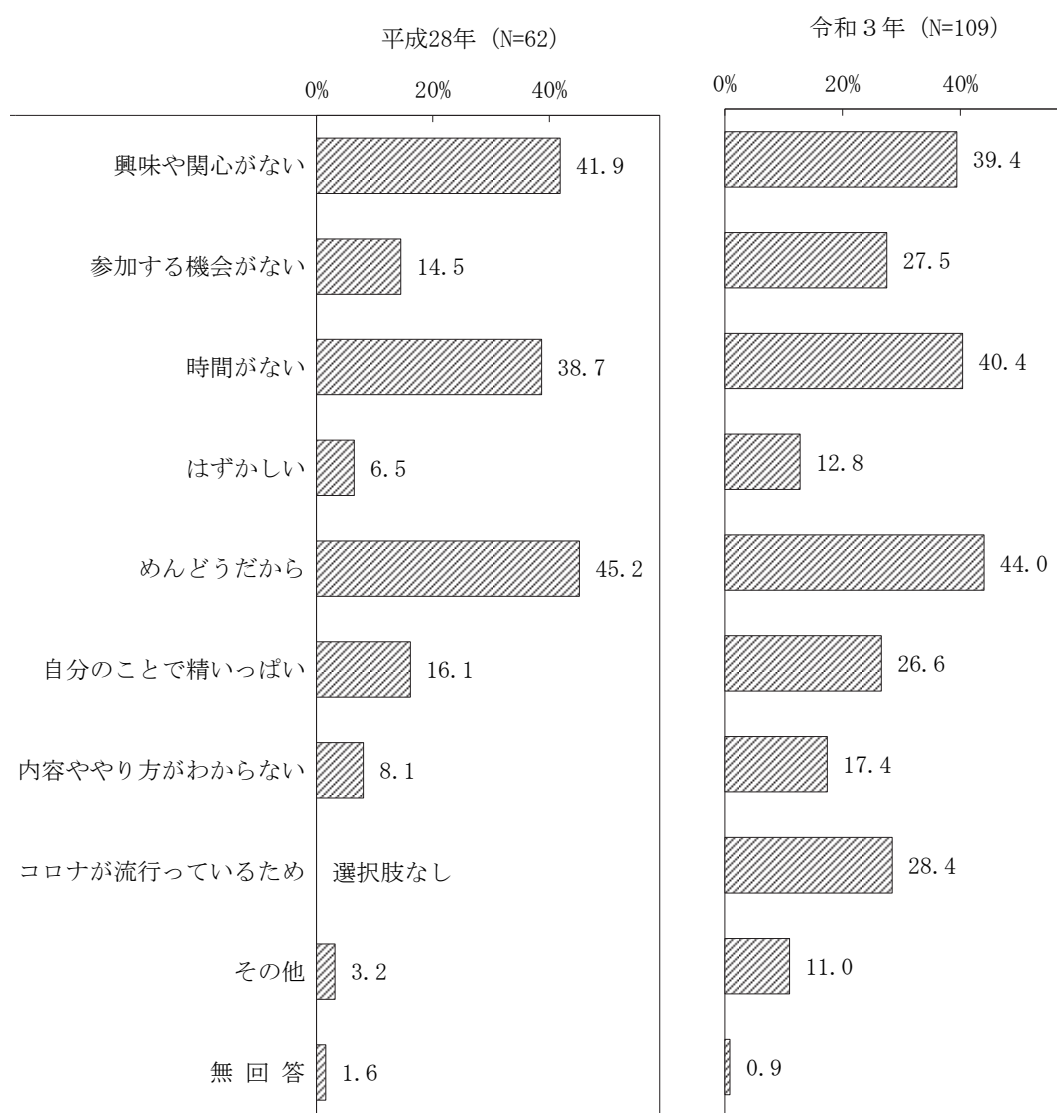
単位：Nは人、他は%

区 分		N	交通安全や犯罪防止など地域を守る活動	地域をきれいにするための清掃活動	自然環境を守るための活動	地域の伝統や文化を伝える活動	子育てしているお母さんやお父さんを支える活動	介護が必要な高れい者を支える活動	見守り、ごみ出しなどの手伝い	一人でくらす高れい者への声かけや	障がいのある方を支える活動	災害が起こったときに被災した人たちを支える活動	加したい	何がやりたいか決まっていなくても、参加したい	その他	無回答
性別	男 性	114	23.7	36.8	40.4	17.5	12.3	14.0	15.8	13.2	18.4	19.3	0.9	-		
	女 性	145	25.5	42.1	39.3	17.9	24.1	18.6	20.7	19.3	29.0	24.1	1.4	1.4		
小学校区別	武 豊	96	27.1	41.7	33.3	18.8	17.7	17.7	18.8	17.7	26.0	20.8	1.0	-		
	富 貴	57	26.3	35.1	42.1	24.6	26.3	19.3	28.1	28.1	36.8	21.1	3.5	-		
	衣 浦	52	34.6	32.7	40.4	15.4	15.4	7.7	9.6	13.5	17.3	23.1	-	1.9		
	緑 丘	60	15.0	45.0	46.7	13.3	21.7	18.3	20.0	6.7	20.0	23.3	1.7	1.7		
中学校別	武 豊	191	23.0	40.8	38.7	16.2	18.8	15.7	17.3	14.7	22.5	22.5	1.0	0.5		
	富 貴	77	31.2	33.8	40.3	22.1	22.1	18.2	23.4	23.4	31.2	20.8	2.6	1.3		
ボランティア	参加中	13	30.8	38.5	69.2	38.5	7.7	30.8	23.1	15.4	23.1	15.4	-	-		
	以前参加	83	25.3	50.6	42.2	19.3	25.3	18.1	24.1	19.3	26.5	20.5	1.2	1.2		
	参加なし	171	25.1	33.3	35.1	15.2	18.1	14.6	16.4	16.4	24.6	23.4	1.8	0.6		

(4) ボランティア活動に参加しない理由 [問13]

(2)で「参加したくない」または「参加できない」と答えた人に理由をたずねたところ、「めんどうだから」が44.0%と最も高く、「時間がない」(40.4%)、「興味や関心がない」(39.4%)も40%前後の比較的高い割合となっています。平成28年と比べると、「参加する機会がない」「自分のことで精いっぱい」「内容ややり方がわからない」が9ポイント以上高くなっています。また、新たに設けた選択肢「コロナが流行っているため」は28.4%となっています(図表2-17)。

図表2-17 ボランティア活動に参加しない理由(複数回答)



性別に見ると、全体と同様に、「めんどうだから」「時間がない」「興味や関心がない」の3項目が上位を占めています。

小学校区別に見ると、衣浦以外は上記3項目が上位を占めています。衣浦は「めんどうだから」は低く、「コロナが流行っているため」が上位に来ています。

中学校別に見ると、上記3項目に加え、武豊の「参加する機会がない」、富貴の「コロナが流行っているため」が30%を上回っています（図表2-18）。

「その他」として、図表2-19の内容が記載されていました。

図表2-18 ボランティア活動に参加しない理由（属性別、複数回答）

単位：Nは人、他は%

区 分		N	興味や関心がない	参加する機会がない	時間がない	はずかしい	めんどうだから	自分のことで精いっぱい	内容ややり方がわからない	コロナが流行っているため	その他	無回答
性別	男性	61	41.0	24.6	39.3	11.5	42.6	26.2	11.5	27.9	14.8	1.6
	女性	47	38.3	31.9	42.6	14.9	46.8	27.7	25.5	29.8	4.3	-
小学校区別	武豊	35	42.9	40.0	48.6	20.0	48.6	34.3	22.9	34.3	8.6	-
	富貴	21	33.3	9.5	38.1	14.3	52.4	23.8	9.5	28.6	14.3	-
	衣浦	22	40.9	22.7	36.4	9.1	22.7	13.6	18.2	27.3	13.6	4.5
	緑丘	31	38.7	29.0	35.5	6.5	48.4	29.0	16.1	22.6	9.7	-
中学校別	武豊	78	41.0	32.1	41.0	12.8	44.9	28.2	20.5	26.9	11.5	-
	富貴	31	35.5	16.1	38.7	12.9	41.9	22.6	9.7	32.3	9.7	3.2

図表2-19 ボランティア活動に参加しない理由（その他）

- ・習い事や家の用事で行けないから。
- ・意味がない。
- ・やっているスポーツが忙しいから
- ・おもしろい企画がないから。
- ・コロナもあるし、サッカーで忙しいから。
- ・1人行動ができない。
- ・背が低いのでバカにされそう。
- ・緊急事態宣言、密になるため。
- ・自分の時間を削られるのはいやだ。
- ・休日に習い事がある。
- ・今は部活や勉強を頑張りたい。

資料（調査票）

1 一般調査（20歳以上）用

第3次武豊町地域福祉計画策定にあたってのアンケート調査 ～調査へのご協力とお願い～

皆様には、日頃から町政に関しご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、武豊町では平成23年度より地域福祉の推進を目的とする武豊町地域福祉計画を策定しておりますが、地域福祉のさらなる推進を図るため令和3・4年度において、第3次武豊町地域福祉計画の策定をすることといたしました。

このアンケート調査は、計画の策定にあたり、町民の皆様にご意見をいただき、貴重な資料として使っていただくために実施いたします。

なお、調査対象の方は武豊町在住の20歳以上の方（令和3年10月1日現在）の中から、無作為に抽出した2,000人の方となっております。回答は無記名で行い、全て統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはありません。

大変お忙しい中お手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和3年10月

武豊町長 粉山芳輝

■ご記入の前に

- ・回答はできるかぎりご本人にお願いしますが、ご家族や一緒にお住まいの方にもご協力いただきますようお願いいたします。
- ・番号を選ぶ回答の際は、あてはまる項目の番号を、指定の数だけ○をつけてください。
- ・記述式の回答の際は、楷書で明確にご記入ください。
- ・調査票記入日現在の内容でご回答ください。

■調査票の返送について

- ・ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**10月29日（金）**までにご投函くださるようお願いいたします。

（返信用封筒には、住所氏名などを記入する必要はありません。切手不要。）

■調査についてのお問い合わせ

武豊町役場 健康福祉部 福祉課（社会福祉担当）
Tel 0569-72-1111（内線322～324）

地域福祉計画とは？

高齢者や子ども、障がいのある方など、町民のみなさんが自分らしい生活を送ることができるよう、行政、民間の福祉サービス事業者を含め、同じ地域に暮らすみなさんが支え合い、力を合わせて自分達が住んでいるまちを暮らしやすくす



あなたご自身についておたずねします

問1 あなたの性別はどちらですか。 <ひとつだけ○>

※戸籍上の区分にとらわれず、ご自身の主観によりご記入ください。

1. 男性 2. 女性

問2 あなたの年齢は何歳ですか。 <ひとつだけ○>

1. 20～29歳 2. 30～39歳 3. 40～49歳
4. 50～59歳 5. 60～69歳 6. 70～79歳
7. 80歳以上

問3 あなたのお住まいの小学校区はどちらですか。 <ひとつだけ○>

1. 武豊小学校区 2. 富貴小学校区
3. 衣浦小学校区 4. 緑丘小学校区

※校区がわからない方は、字名をご記入ください 武豊町_____

問4 あなたのお住まいの区（自治区）はどちらですか。 <ひとつだけ○>

1. 北山区 2. 中山区 3. 下門区 4. 馬場区
5. 市場区 6. 上ヶ区 7. 小迎区 8. 玉東区
9. 玉西1区 10. 玉西2区 11. 原田区 12. 緑区
13. 大足区 14. 富貴区 15. 富貴市場区 16. 東大高区
17. 市原区 18. 新田区

※区がわからない方は、字名をご記入ください 武豊町_____

問5 あなたは武豊町に住んで、通算何年になりますか。 <ひとつだけ○>

1. 2年未満 2. 2年以上5年未満
3. 5年以上10年未満 4. 10年以上20年未満
5. 20年以上30年未満 6. 30年以上

問6 あなたの家族構成はどのようになっていますか。 <ひとつだけ○>

1. 単身世帯（ひとり暮らし） 2. 夫婦のみ
3. 二世帯世帯（親と子） 4. 三世帯世帯（親と子と孫）
5. その他（ ）

問7 あなたの家族（一緒に暮らしている方、あなた自身を含む）に次の方は含まれていますか。 <あてはまるすべてに○>

- | | |
|------------|----------------|
| 1. 6歳未満の子 | 2. 6歳以上18歳未満の子 |
| 3. 65歳以上の方 | 4. 障がいのある方 |
| 5. 介護が必要な方 | |

問8 あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点としてご記入ください）。 <ひとつだけ○>

とても不幸	とても幸せ
0点-----1点-----2点-----3点-----4点-----5点-----6点-----7点-----8点-----9点-----10点	

問9 あなたは今後も武豊町に暮らし続けたいですか。 <ひとつだけ○>

- | |
|----------------------------|
| 1. 暮らし続けたい |
| 2. どちらかといえば暮らし続けたい |
| 3. 一度は出て行ったとしても、いずれは戻ってきたい |
| 4. どちらかといえば出ていきたい |
| 5. 出ていきたい |

地域意識についておたずねします

問10 ご近所の方と、どのようなお付き合いをしていますか。 <ひとつだけ○>

- | |
|---|
| 1. 互いに相談したり日用品の貸し借りをするなど、生活面で協力しあっている人がいる |
| 2. 日常的に立ち話をする程度の付き合いはしている |
| 3. あいさつ程度の最小限の付き合いしかしていない |
| 4. 付き合いは全くしていない |

問11 あなたは区（自治区）の行事や活動（祭礼、盆踊り、運動会、老人クラブ、自主防災会など）にどの程度参加していますか。 <ひとつだけ○>

- | | |
|---------------|----------|
| 1. 積極的に参加している | (⇒ 問13へ) |
| 2. ときどき参加している | (⇒ 問13へ) |
| 3. あまり参加していない | (⇒ 問12へ) |
| 4. 参加していない | (⇒ 問12へ) |

問15 問14で「1. 近所に住む人として、できる範囲で支援したい」または「2. 支援したいが、何をすればよいかわからない」と回答した方におたずねします。自分にもできると思う支援はありますか。 <あてはまるすべてに○>

1. 声かけ・話し相手（家に閉じこもりがちで、周囲との付き合いが少ない方に）
2. 散歩・買い物・病院などへの付き添い（一人で外出が困難な方に）
3. 掃除・洗濯・ごみ出し・食事作り・買い物（身の回りのことをするのが困難な方に）
4. 子どもの一時預かり・保育園などの送迎（共働き家庭、ひとり親家庭など小さな子どもがいる方に）
5. その他（ ）

福祉サービスについておたずねします

問16 介護や子育て、その他生活上の困りごとがあった場合、どこに相談しますか。ただし、家族や親族は除きます。 <あてはまるすべてに○>

1. 友人・知人
2. 近所の人
3. 区長(常会長・組長)などの区役員
4. 職場の同僚
5. 民生委員児童委員
6. 役場
7. 社会福祉協議会(地域福祉サービスセンター、まるっとここ相談窓口)
8. ボランティアセンター
9. 地域包括支援センター
10. 居宅介護支援事業所(ケアマネ)
11. 病院
12. 保健センター
13. 子育て世代包括支援センター
14. 子育て支援センター
15. ファミリー・サポート・センター
16. 保育園・幼稚園
17. 学校
18. 障害相談支援事業所
19. 相談する人がいない
20. その他（ ）

問17 あなた自身やあなたの家族が福祉サービスを必要とした時、すぐに利用しますか。 <ひとつだけ○>

1. すぐ利用する (⇒ 問19へ)
2. ためらいはあるが利用する (⇒ 問18へ)
3. 利用しない (⇒ 問18へ)
4. わからない (⇒ 問19へ)

問18 問17で「2. ためらいはあるが利用する」または「3. 利用しない」と回答した方はその理由をお選びください。 <あてはまるすべてに○>

1. 家族・親族への気兼ねがあって利用しにくい
2. 隣近所の目が気になって利用しにくい
3. 他人の世話になりたくない
4. 経済的な不安がある
5. 家族で対応できる
6. その他 ()

ボランティア活動などについておたずねします

問19 武豊町ボランティアセンターをご存知ですか。 <ひとつだけ○>

1. どんな活動をしているかよく知っている
2. 名称だけ知っている
3. 知らない

「武豊町ボランティアセンター」とは、ボランティア活動を円滑に行うために設置されている機関です。武豊町思いやりセンター内に設置され、ボランティア団体の支援、活動のコーディネート、情報の発信などを行っています。

問20 ボランティア活動などにどのくらいの頻度で参加していますか。
<ひとつだけ○>

1. 週4回以上
2. 週2～3回
3. 週1回
4. 月1～3回
5. 年に数回
6. 参加していない

問21 今後ボランティア活動などに参加したいと思いませんか。 <ひとつだけ○>

1. ぜひ参加したい (⇒ 問22へ)
2. できるだけ参加したい (⇒ 問22へ)
3. 機会があれば参加したい (⇒ 問22へ)
4. 参加したくない (⇒ 問23へ)
5. 参加できない (⇒ 問23へ)

問22 問21で「1. ぜひ参加したい」、「2. できるだけ参加したい」または「3. 機会があれば参加したい」と回答した方におたずねします。今後、参加したいボランティア活動はどれですか。 <あてはまるすべてに○>

1. 交通安全や犯罪防止など地域の安全を守る活動
2. 地域の環境を美化する活動
3. 環境保全・自然保護などの活動
4. 地域の伝統や文化を伝える活動
5. 子どもを育てている親を支援する活動
6. 介護が必要な高齢者を支援する活動
7. 一人で暮らす高齢者への声掛けや見守り、ごみ出しなどを支援する活動
8. 障がいのある方を支援する活動
9. 災害時の救援・支援活動
10. 何がやりたいか決まっていないが、参加したい
11. その他 ()

問23 問21で「4. 参加したくない」または「5. 参加できない」と回答した方はその理由をお選びください。 <あてはまるすべてに○>

1. 興味や関心がない
2. 参加する機会がない
3. 時間がない
4. 恥ずかしい
5. 面倒だから
6. 体力・体調的に難しい
7. 自分のことで精いっぱい
8. コロナ禍のため
9. 活動の内容や方法がわからない
10. その他 ()

問24 今後どのような条件が整えば、ボランティア活動に参加してみたいと思いますか。 <3つまで○>

1. 自分にあった時間や活動内容であること
2. 自分の仕事や特技を活用できること
3. 友人や家族と一緒にできること
4. 活動への参加の仕方が分かりやすいこと
5. 団体の活動内容に関する情報が充実すること
6. わずかでも報酬があること
7. 活動に対する財政的な支援があること
8. 自身の能力向上につながる事
9. 他者と交流する機会があること
10. 条件が整っても参加したいと思わない

問25 あなた自身やあなたの家族が住み慣れた地域で安心して生活するために、どのような手助けやサービスがあると、とても助かると思われますか。〈あてはまるすべてに○〉

- | | |
|-------------------------------|-----------------|
| 1. 話し相手や相談相手 | 2. 安否確認の見守り・声かけ |
| 3. 通院や買い物などの送迎、外出の手助け | |
| 4. 調理や掃除、ごみ出し、買い物などのちょっとした手伝い | |
| 5. ちょっとした子守り | 6. 災害時の避難の手助け |
| 7. 気軽にいける自由な居場所の提供 | 8. 特に手助けは必要ない |
| 9. その他 () | |

役場は社会福祉協議会に色々な社会福祉事業を委託しています
そこで社会福祉協議会についておたずねします

問26 武豊町社会福祉協議会をご存知ですか。 〈ひとつだけ○〉

- | | |
|-------------------------------|----------|
| 1. どんな活動をしているか大体知っている | (⇒ 問27へ) |
| 2. どんな活動をしているか少し知っている | (⇒ 問27へ) |
| 3. 聞いたことはあるが、どんな活動をしているかは知らない | (⇒ 問28へ) |
| 4. 聞いたこともない | (⇒ 問28へ) |

問27 問26で「1. どんな活動をしているか大体知っている」、「2. どんな活動をしているか少し知っている」と回答した方におたずねします。武豊町社会福祉協議会の事業で知っているものはどれですか。 〈あてはまるすべてに○〉

- | | |
|--|----------------------|
| 1. 共同募金(赤い羽根・年末助け合い募金) | |
| 2. 支え合い体制づくり事業 | 3. 生活支援体制整備事業 |
| 4. 生活支援サービス事業 | 5. 福祉団体等活動支援事業 |
| 6. 当事者等支援事業 | 7. 福祉教育推進事業 |
| 8. 車いす・福祉車両等貸出事業 | 9. 緊急・災害時支援体制推進事業 |
| 10. 広報事業(たけとよのふくし発行等) | 11. ボランティアセンターの運営 |
| 12. 地域福祉サービスセンター事業(福祉の総合相談支援事業、まるっとここ相談窓口) | |
| 13. 障がい相談支援センター事業 | 14. 日常生活自立支援事業 |
| 15. 資金貸付事業 | 16. フードバンク活用食料支援事業 |
| 17. 介護予防事業(憩いのサロン等) | 18. 介護予防ケアマネジメント事業 |
| 19. 認知症総合支援事業 | 20. 家庭介護者等支援事業 |
| 21. 介護保険の居宅介護支援事業 | 22. 訪問介護(高齢、障がい、子育て) |
| 23. 多賀授産所の運営(生活介護、就労継続支援B型等事業) | |
| 24. その他 () | |

2 中学生調査用

地域福祉に関する中学生意識調査

あなたのご意見をお聞かせください



記入にあたってのお願い

- ・設問は、全部で13問あります。
- ・回答は設問の指示にしたがい、『番号に○印をつける』か、()の中に自由に記入してください。
- ・『番号に○印をつける』場合、設問によっては○印をつける数が異なりますので、間違えないよう注意してください。
- ・性別欄については、戸籍上の区分にとらわれず、ご自身の主観により記入してください。

中学校	1 年	男 ・ 女
-----	-----	-------

あなたご自身についておたずねします

問1 あなたのお住まいの小学校区はどちらですか。 <ひとつだけ○>

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 武豊小学校区 | 2. 富貴小学校区 |
| 3. 衣浦小学校区 | 4. 緑丘小学校区 |
- ※校区がわからない方は、字名をご記入ください → 武豊町_____

問2 あなたのお住まいの区（自治区）はどちらですか。 <ひとつだけ○>

- | | | | |
|---------|----------|-----------|----------|
| 1. 北山区 | 2. 中山区 | 3. 下門区 | 4. 馬場区 |
| 5. 市場区 | 6. 上ヶ区 | 7. 小迎区 | 8. 玉東区 |
| 9. 玉西1区 | 10. 玉西2区 | 11. 原田区 | 12. 緑区 |
| 13. 大足区 | 14. 富貴区 | 15. 富貴市場区 | 16. 東大高区 |
| 17. 市原区 | 18. 新田区 | | |
- ※区がわからない方は、字名をご記入ください → 武豊町_____

問3 一緒にくらしている家族にあなた以外に次の方はいますか。

<あてはまるすべてに○>

1. 6歳未満の子
2. 6歳以上18歳未満の子
3. 65歳以上の方
4. 体が不自由な方や日常生活で支えが必要な方

問4 あなたは近所の人にあいさつをしていますか。 <ひとつだけ○>

1. 自分からすすんでしている
2. いつもではないが時々はしている
3. 相手があいさつした時はしている
4. あいさつはしていない

問5 あなたは今後も武豊町に暮らし続けたいですか。 <ひとつだけ○>

1. 暮らし続けたい
2. どちらかといえば暮らし続けたい
3. 一度は出て行ったとしても、いずれは戻^{もと}ってきたい
4. どちらかといえば出ていきたい
5. 出ていきたい

福祉教育などについておたずねします

問6 あなたはこれまで「福祉」について授業や体験を通じて学んだことはありますか。 <ひとつだけ○>

1. ある (⇒ 問7へ)
2. ない (⇒ 問9へ)

問7 問6で「1. ある」に○をつけた方におたずねします。学んだ前と後で福祉についての意識が変わりましたか。 <ひとつだけ○>

1. 変わった (⇒ 問8へ)
2. 変わらなかった (⇒ 問9へ)

問8 問7で「1. 変わった」に○をつけた方におたずねします。どのような授業や体験が意識を変えましたか。 <あてはまるすべてに○>

1. 車いす、点字、手話、ガイドヘルプ、高れい者、要約筆記ようやくひっきなどの体験
2. 福祉施設しせつや憩いいこのサロンなどでの高れい者との交流
3. 障がいのある方との交流
4. ボランティアや障がいのある方のお話をきくこと
5. 福祉に関する本を読んで
6. 保育たくじや託児の体験
7. その他 ()

問9 あなたがイメージする「福祉」とは次のうちどれですか。あなたの考えに一番近いものを選んでください。 <ひとつだけ○>

1. 高れい者や障がいのある方などを自分から手助けすること
2. 自分が行うことではなく、国や県、または町役場が行うこと
3. 年れいや障がいにかかわらず、地域のみなどと一緒になって支え合うこと
4. わからない
5. その他 ()

ボランティア活動についておたずねします

問10 今までボランティア活動に参加したことはありますか。 <ひとつだけ○>

1. 現在、参加している
2. 現在はしていないが、以前参加したことがある
3. 参加したことがない

問11 今後ボランティア活動に参加したいと思いますか。 <ひとつだけ○>

- | | |
|----------------|----------|
| 1. ぜひ参加したい | (⇒ 問12へ) |
| 2. できるだけ参加したい | (⇒ 問12へ) |
| 3. 機会があれば参加したい | (⇒ 問12へ) |
| 4. 参加したくない | (⇒ 問13へ) |
| 5. 参加できない | (⇒ 問13へ) |

問12 問11で「1. ぜひ参加したい」、「2. できるだけ参加したい」または「3. 機会があれば参加したい」に○をつけた方におたずねします。今後、あなたが参加したいボランティア活動はどれですか。 <あてはまるすべてに○>

- | |
|------------------------------------|
| 1. 交通安全や犯罪防止など地域を守る活動 |
| 2. 地域をきれいにするための清掃活動 |
| 3. 自然環境を守るための活動 |
| 4. 地域の伝統や文化を伝える活動 |
| 5. 子育てしているお母さんやお父さんを支える活動 |
| 6. 介護が必要な高齢者を支える活動 |
| 7. 一人ですらす高齢者への声かけや見守り、ごみ出しなどを手伝う活動 |
| 8. 障がいのある方を支える活動 |
| 9. 災害が起こったときに被災した人たちを支える活動 |
| 10. 何がやりたいか決まっていないが、参加したい |
| 11. その他 () |

問13 問11で「4. 参加したくない」または「5. 参加できない」に○をつけた方におたずねします。参加したくない、参加できない理由は何ですか。
<あてはまるすべてに○>

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 興味や関心がない | 2. 参加する機会がない |
| 3. 時間がない | 4. はずかしい |
| 5. めんどうだから | 6. 自分のことで精いっぱい |
| 7. 内容ややり方がわからない | 8. コロナが流行っているため |
| 9. その他 () | |

ご協力ありがとうございました。

**第3次武豊町地域福祉計画策定にあたってのアンケート
調査結果報告書**

令和4年3月発行

発行者◆武豊町

〒470-2392 愛知県知多郡武豊町字長尾山2番地

電話 0569-72-1111（代） FAX 0569-74-0778

編集◆健康福祉部 福祉課